

令和6年度第2回野田市人権・男女共同参画推進審議会 次 第

日時：令和6年8月30日(金)

午前10 時30分開会

場所：野田市役所8階大会議室

1 開 会

2 会長挨拶

3 議 題

(1) 会議の公開等について

(2) 野田市人権・男女共同参画に関する市民意識調査の結果について(報告)

4 その他

5 閉 会

会議の公開等について

野田市人権・男女共同参画推進審議会における会議の公開等については、本来ならば7月4日に開催した第1回審議会において、委員の皆様に審議いただくところ、事務局からの提案という形で進めてしまい適正な審議ができませんでした。

委員名簿について、事前に委員の皆様にご意見をお伺いしたところ、次のとおり、選出区分と所属団体等の公表を行うことについて「特に支障等はない」とのご意見を確認いたしました。

1. 会議の公開等について

(1) 委員名簿について

氏名及び任期並びに条例で規定する委員の選出区分、市が推薦を依頼した所属団体等の名称を掲載した委員名簿を市ホームページにて公表する。

〈委員名簿の例〉

氏 名	任 期	選出区分	所属団体等	備考
〇〇 〇〇	令和6年4月 1日から 令和8年3月31日まで	□□□□□	△△△△△	
〇〇 〇〇	令和6年4月 1日から 令和8年3月31日まで	□□□□□	△△△△△	

(2) 会議録について

審議内容がわかる形で、発言者名を記載した会議録を行政資料コーナー及び市ホームページにて公表する。

(3) 会議資料について

会議の資料を行政資料コーナー及び市ホームページにて公表する。

2. 参考:これまでの会議における審議

(1)人権施策推進協議会

① 行政資料コーナーに配架の会議録

開催日：平成 23 年 12 月 26 日

審議内容：会議録に発言者名を掲載することを審議

→委員の賛成多数で決定

② 会議録、会議資料、委員名簿の公表

開催日：平成 28 年 8 月 24 日

審議内容：市ホームページに会議録、会議資料、委員名簿を公表すること、委員名簿は氏名のみ公表することを審議

→委員の賛成多数で決定

(2)男女共同参画審議会

① 行政資料コーナーに配架の会議録

開催日：平成 23 年 11 月 26 日

審議内容：会議録に発言者名を掲載することを審議

→委員の賛成多数で決定

② 会議録、会議資料、委員名簿の公表

開催日：平成 28 年 12 月 15 日

審議内容：市ホームページに会議録、会議資料、委員名簿を公表することを審議

→委員の賛成多数で決定

委員名簿の内容は、氏名及び任期並びに選出区分を記載した「A案」と、A案に所属団体等を追加した「B案」にて審議

→出席委員の多数決により「B案」に決定

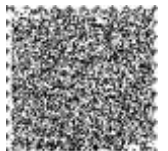
野田市人権・男女共同参画に関する
市民意識調査
報告書

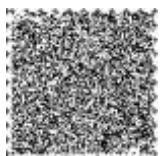
(案)

令和 6 年 9 月

野 田 市

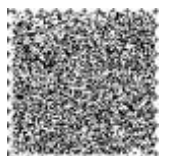
右のコードは、目の不自由な方のための
音声コードです。Uni-Voice アプリを使用
して読み取ると、記録されている情報を
音声で聞くことができます。



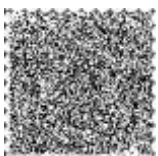


目 次

I 調査実施の概要	1
1 調査目的	3
2 実施方針	3
3 調査対象、方法等	3
4 調査結果の集計及び分析	4
 II 調査結果の分析	 5
1. 人権全般の考え方や意識について	7
（問 1）基本的人権について	7
（問 2）人権問題の認識について	8
（問 3）人権侵害について	9
（問 4）人権侵害の経験について①	10
（問 5）人権侵害の経験について②	11
（問 6）権利のみの主張について	12
（問 7）差別について	13
（問 8）差別の経験と内容	14
（問 9）関心がある人権問題①	15
（問 10）関心がある人権問題②	16
 2. 女性の人権について	 17
（問 11）女性に関する事柄での人権問題	17
（問 12）女性に対する暴力の経験について①	18
（問 13）女性に対する暴力の経験について②	19
（問 14）女性に対する暴力をなくすために必要なこと	21
（問 15）女性の人権を守るために必要なこと	22
 3. 男女共同参画について	 23
（問 16）あらゆる場面での男女の地位について	23
（問 17）固定的性別役割分担意識について	25
（問 18）男女の家事・育児時間に対する認識について	26
（問 19）政策方針決定過程における女性の参画について	27
（問 20）男女共同参画社会の実現に向けて必要なこと	28

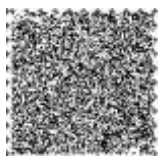


4. 子どもの人権について	29
(問 2 1) 子どもに関する事柄での人権問題	29
(問 2 2) 子どもの人権を守るために必要なこと	30
5. 高齢者の人権について	31
(問 2 3) 高齢者に関する事柄での人権問題	31
(問 2 4) 高齢者の人権を守るために必要なこと	32
6. 障がいのある人の人権について	33
(問 2 5) 障がいのある人に関する事柄での人権問題	33
(問 2 6) 障がいのある人の人権を守るために必要なこと	34
7. 同和問題について	35
(問 2 7) 同和問題（部落差別）の存在の認知度	35
(問 2 8) 同和問題（部落差別）に関する知識の提供者	36
(問 2 9) 親しい人が同和地区出身と分かった時	37
(問 3 0) 結婚相手が同和地区出身とわかった時	38
(問 3 1) 家族の結婚相手が同和地区出身と分かった時	39
(問 3 2) 同和問題の解決に向けて	40
8. 外国人の人権について	41
(問 3 3) 外国人に関する事柄での人権問題	41
(問 3 4) ヘイトスピーチに対する認知度	42
(問 3 5) ヘイトスピーチについての考え	43
(問 3 6) 外国人の人権を守るために必要なこと	44
9. 感染症に関する人権について	45
(問 3 7) エイズ患者・H I V感染者に関する事柄での人権問題	45
10. 刑を終えて出所した人の人権について	46
(問 3 8) 刑を終えて出所した人に関する事柄での人権問題	46
11. 犯罪被害者などの人権について	47
(問 3 9) 犯罪被害者などに関する事柄での人権問題	47
12. インターネットを利用した人権問題について	48
(問 4 0) インターネットに関する事柄での人権問題	48



1 3. 性的少数者の人権について	49
(問 4 1) 性的少数者に関する事柄での人権問題	49
(問 4 2) 親しい人が性的少数者と分かった時	50
(問 4 3) 性的少数者に関する人権を守るために必要なこと	51
1 4. 災害に起因する人権問題について	52
(問 4 4) 災害に起因する事柄での人権問題	52
1 5. 働く人の人権について	53
(問 4 5) 働く人の人権問題	53
1 6. 人権問題の解決のための方策について	55
(問 4 6) 人権問題に関する地域や情報を何から得たか	55
(問 4 7) 人権に関する取組への参加経験	56
(問 4 8) 人権を尊重するため心がけたい行動	57
Ⅲ 調査回答者の属性等	59
(問 4 9) 性別	61
(問 5 0) 年齢	61
(問 5 1) 職業	63
(問 5 2) 調査の答えやすさ①	64
(問 5 3) 調査の答えやすさ②	64
Ⅳ 自由意見	67
(問 5 4) 自由意見	69





I 調査実施の概要





I 調査実施の概要

1 調査目的

人権問題に関する市民の意識を把握し、啓発事業等の人権施策の一層効果的な推進を図るとともに、今後市が取り組むべき人権行政の在り方を検討する上での基礎資料とすること、男女共同参画に関する市民意識を把握することを目的とする。

2 実施方針

今回の調査は、平成 30 年9月に実施した調査に男女共同参画に関連する項目を追加していることから、人権・男女共同参画に関する市民意識調査とし、市民意識の経年変化を把握する必要があると思われるものについては、前回の調査結果と比較するものとする。

3 調査対象、方法等

(1) 調査地域

野田市全域

(2) 調査対象

令和 5 年 10 月 1 日時点で野田市在住人口 153,614 人のうち、満18歳以上の方 2,000人(住民基本台帳による無作為抽出)

(3) 調査方法

郵送による配付及び回収、並びにインターネットによる回答
(ハガキによる礼状兼催促状を1回送付)

(4) 調査期間

令和5年11月1日から令和5年12月28日まで

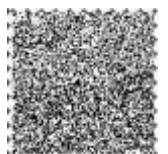
(5) 回収結果

標本数 2,000人

回収数 828 人

(男性 335 人、女性 443 人、回答したくない 15 人、未回答 35 人)

回収率 41.4%



(前回の調査結果との比較)

年度	標本数(人)	回収数(人)	回収率(%)
令和 5 年度	2,000	828 (男性 335、女性 443、回答したくない 15、 未回答 35)	41.4
平成 30 年度	2,000	903 (男性 403、女性 437、回答したくない 25、未回答 38)	45.2
平成 25 年度	2,200	1,040 (男性 459、女性 537、未回答 44)	47.3
平成 19 年度	2,000	961 (男性 432、女性 517、未回答 12)	48.1

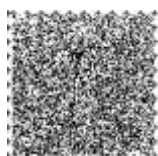
(6)集計について

構成比(%)は、小数点以下第 2 位を四捨五入し、小数点以下第 1 位までを表記している。

「n」は、質問に対する回答の総数を表している。

4 調査結果の集計及び分析

野田市福祉部人権・男女共同参画推進課



Ⅱ 調査結果の分析





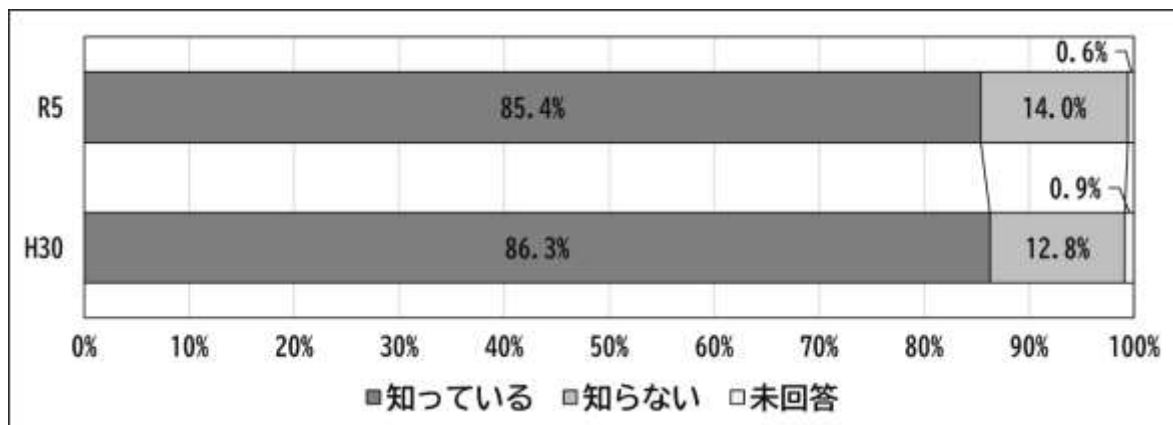
Ⅱ 調査結果の分析

1 人権全般の考え方や意識について

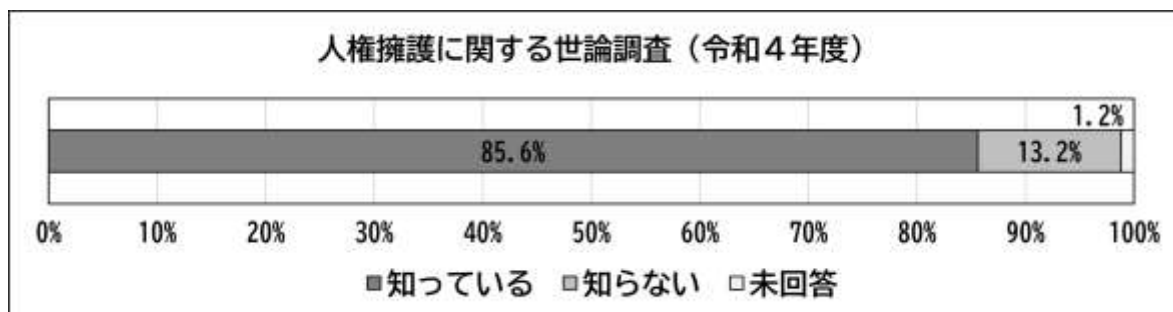
問.1

あなたは、基本的人権は侵すことのできない永久の権利として、日本国憲法で保障されていることを知っていますか。(1つ選択してください)

n=828



今回の調査では、「知っている」と答えた割合が 85.4%で最も多いが、前回調査と比べて 0.9%下回り、「知らない」と答えた割合が 14.0%となっています。基本的人権が日本国憲法において保証されていることを知っている人がわずかに減少しています。



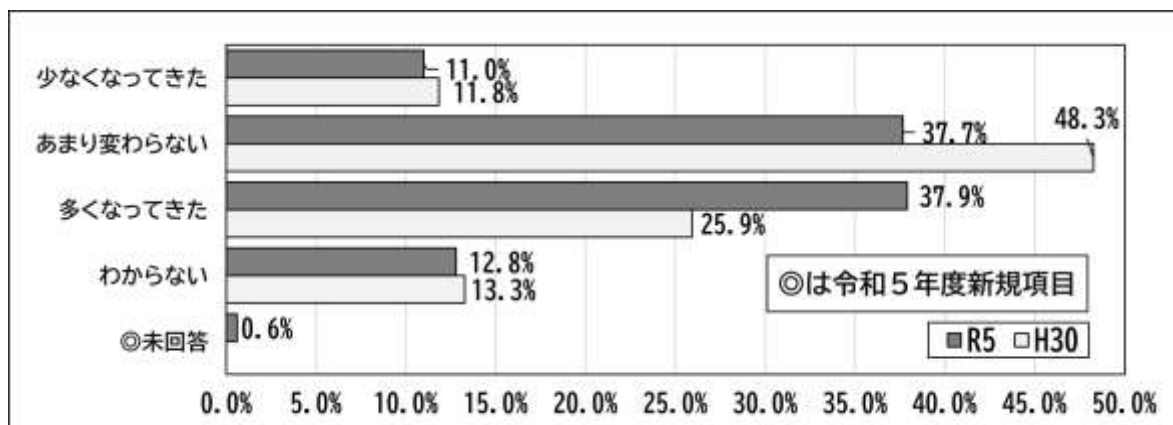
出典:内閣府 令和4年度人権擁護に関する世論調査
令和4年度に内閣府で実施した「人権擁護に関する世論調査」の結果では、同じ質問に「知っている」が 85.6%、「知らない」が 13.2%、未回答が 1.2%となっており、およそ今回の調査結果と一致しています。



問.2

新聞やテレビなどで「人権問題」とか「人権が侵害された」というニュースが報道されることがありますが、あなたは、この5～6年の間に、人権が侵害されるようなことについて、どのように変わってきていると感じますか。(1つ選択してください)

n=828



前回調査で最も高い 48.3%の「あまり変わらない」が、今回の調査では 37.7%と 10.6%減少し、「多くなってきた」が 37.9%と、前回調査の 25.9%に比べ 12%増加しています。

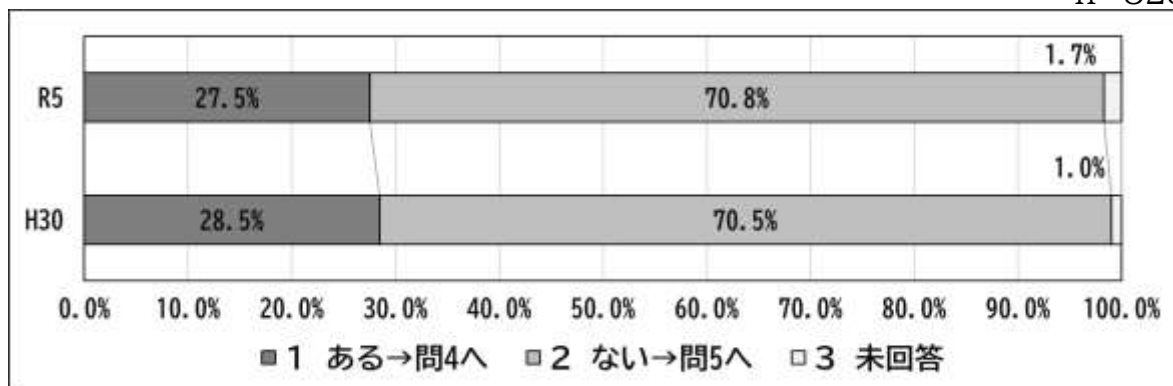
人権が侵害されるようなことが多くなってきたと考えている人が増加しています。



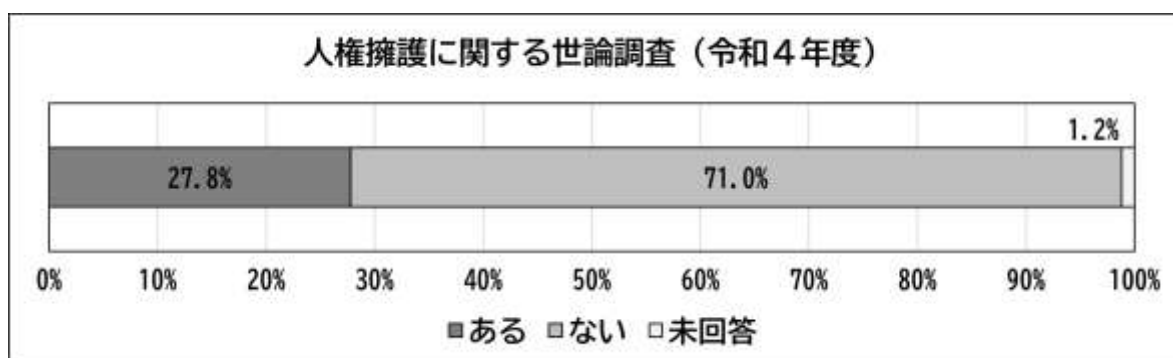
問.3

あなたは、今までに、ご自身の人権が侵害されたと感じたことがありますか。
(1つ選択してください)

n=828



今回の調査では、「ない」が 70.8%で前回調査の 70.5%より 0.3%上回りました。「ある」は前回より 1%下回りましたが、大きな変化はありませんでした。



出典：内閣府 令和4年度人権擁護に関する世論調査

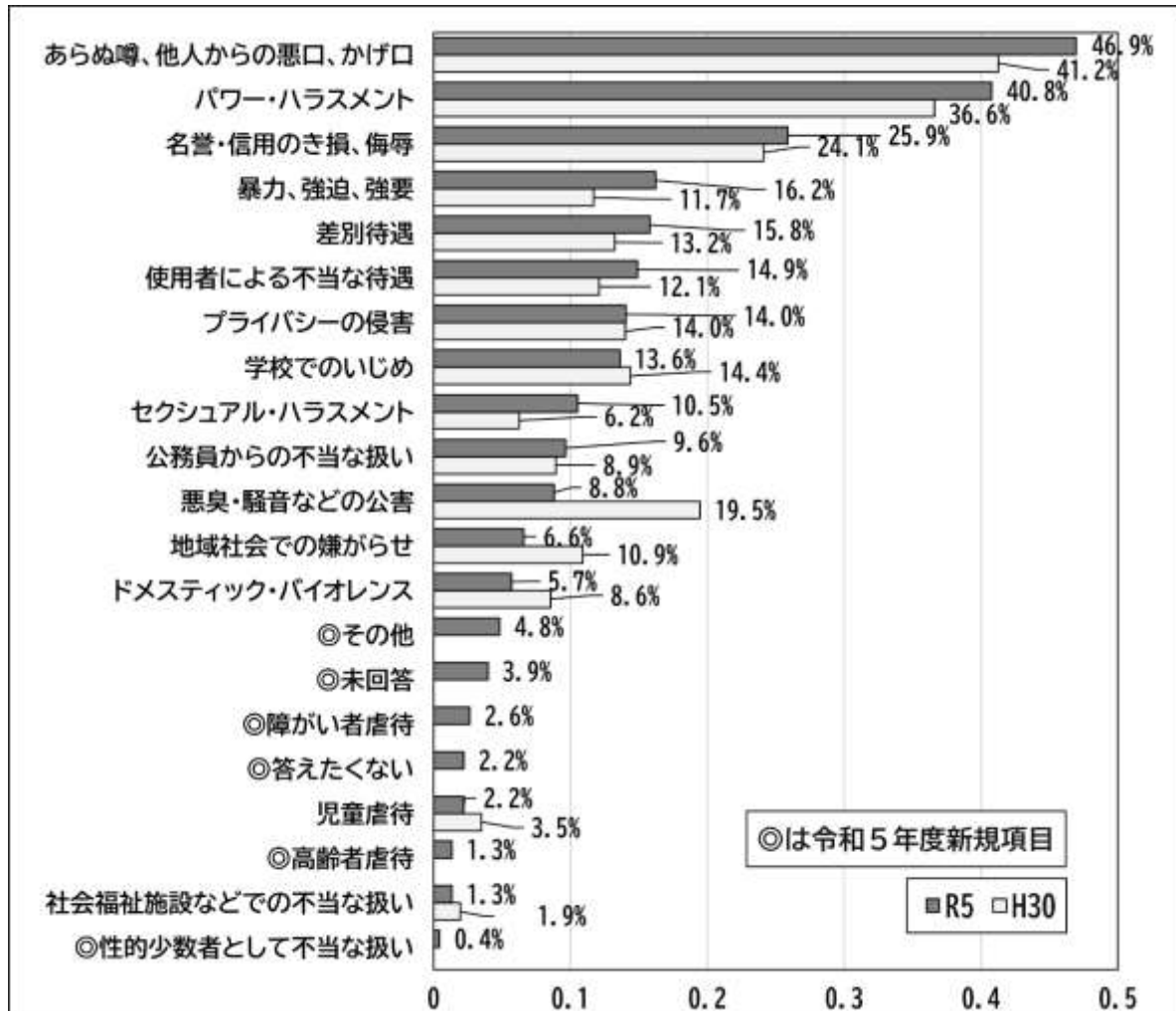
令和4年度に内閣府で実施した「人権擁護に関する世論調査」の結果では、同じ質問に「ある」が 27.8%、「ない」が 71.0%、未回答が 1.2%となっており、今回の調査結果と一致しています。



問.4

問.3で「ある」と回答した方に伺います。ご自身の人権が侵害されたと感じたのは、どのような行為でしたか。(あてはまるものをすべて選択してください)

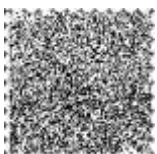
n=228



「あらぬ噂、他人からの悪口、かげ口」が46.9%で最も多く、前回調査結果の41.2%を5.7%上回っています。次に、「パワーハラスメント」が40.8%、と多く、前回調査結果を4.2%上回っています。また、ドメスティック・バイオレンスや児童虐待は減少しています。(注)障がい者虐待、高齢者虐待、性的少数者としての不当な扱い、答えたくない、その他、未回答は、令和5年度の新規項目のため、比較できません。

その他の意見

- ・ 場面に応じた不適切な言動
- ・ 人権に関わることでの決めつけ
- ・ カスタマーハラスメント
- ・ 近所の友達に無視されている。

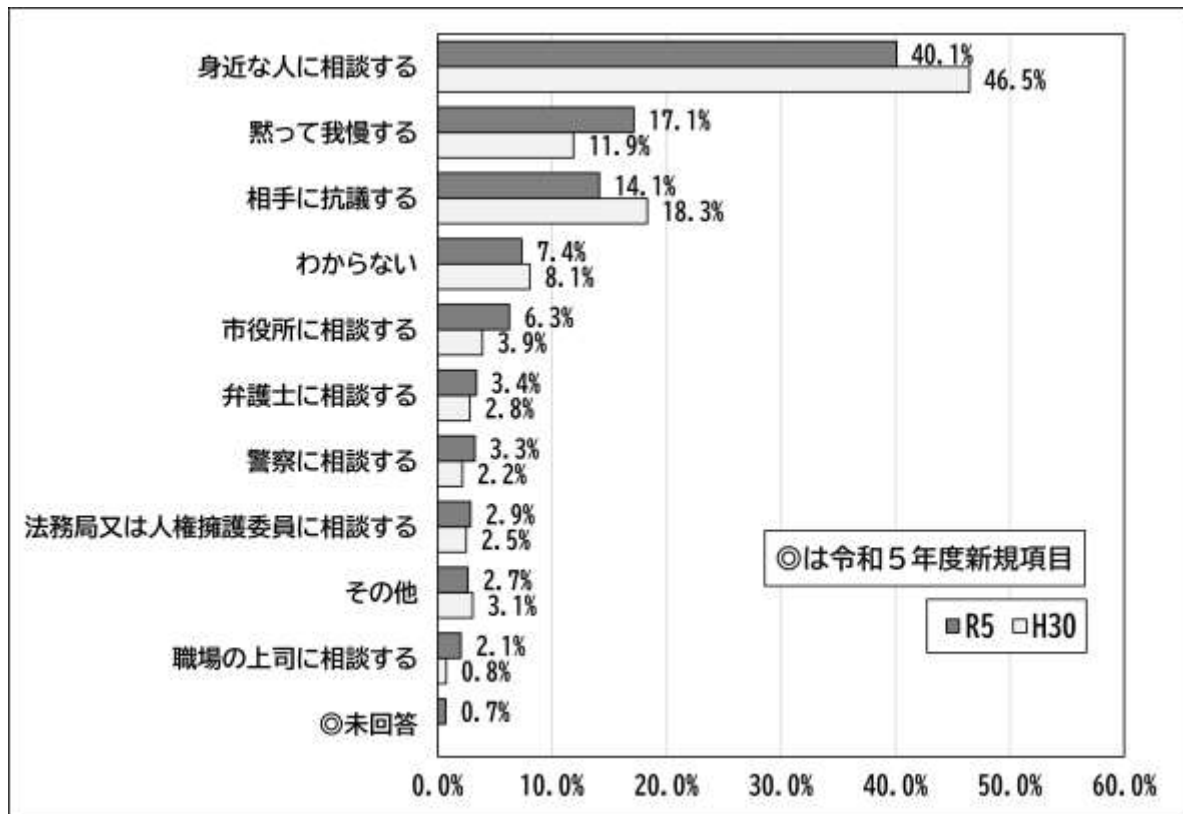


問.5

あなたは、差別されたり、人権を侵害されたりした場合に、どのように対応しましたか。問.3で「ない」と回答した方はどのように対応すると思いますか。

(1つ選択してください)

n=828



「身近な人に相談する」が40.1%で前回調査と同様に、最も多くの割合を占めました。次いで「黙って我慢する」が5.2%増え、「相手に抗議する」が4.2%減少しています。

その他の意見

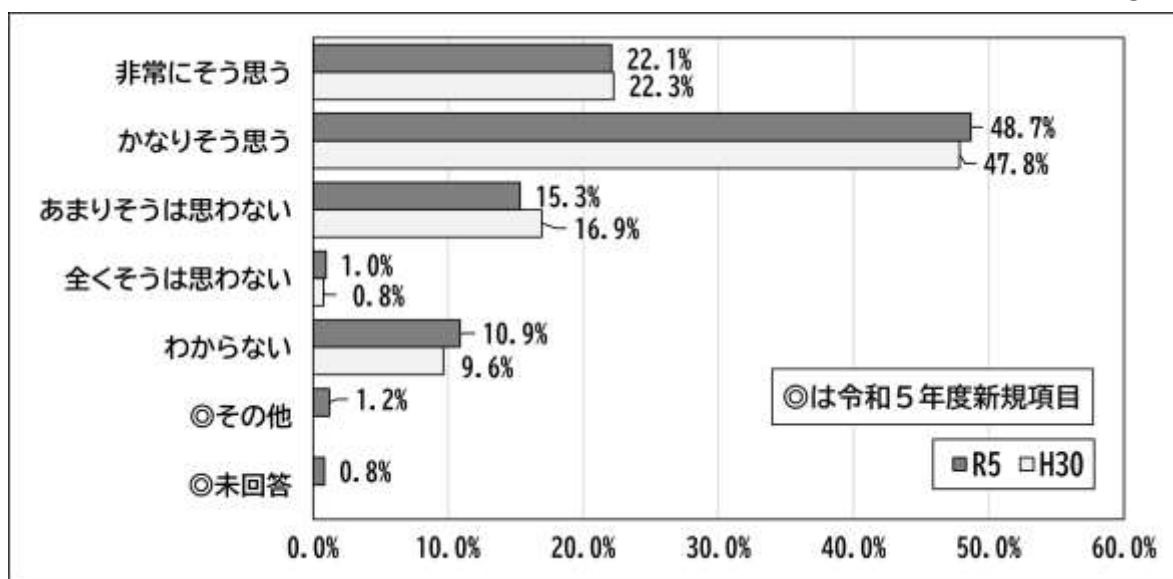
- ・ 環境を変える。相手から離れる。
- ・ ネットなどで調べる。
- ・ 退職
- ・ 人権侵害の内容により対応が異なると思う。
- ・ 事実を広める努力をする。
- ・ 無視
- ・ 労働基準監督署に相談したが、何もしてくれなかった。
- ・ 徹底的に相手を潰す。



問.6

「人権尊重が叫ばれる一方で、権利のみを主張して、他人の迷惑を考えない方が増えてきた」という意見について、あなたは、どう思いますか。(1つ選択してください)

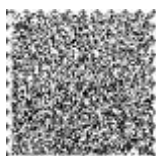
n=828



「非常にそう思う」「かなりそう思う」の合計が前回調査結果より 0.7%上回り 70.8%となり、反対に「あまりそうは思わない」「全くそうは思わない」の合計は、前回調査結果の 17.7%から 16.3%に 1.4%下回りました。

その他の意見

- ・ 一定数いるだろうと思う。
- ・ この意見に「そう思う」とは思えないが「他人の迷惑」と言っている人の意見にも耳をかたむけた方が公平だと思う。
- ・ 差別はダメだが、区別はあって然るべきだと思う。最近はその境目が曖昧になってきているのが問題だと思う。
- ・ 一元的なベクトルの元で語ることなく、双方向の理解が必要。且つ相互扶助が自然に溢れてくる社会を目指す姿勢。大真面目に語る事で消える。
- ・ 「不当な差別」は絶対にあってはならないものです。一方で「当事者にとって必要な区別」や「こじつけや言いがかりに近いようなもの」などについても、外野が「差別」として徹底的にたたく事例も散見され、それについては、本末転倒な気がしていて、危惧しています。

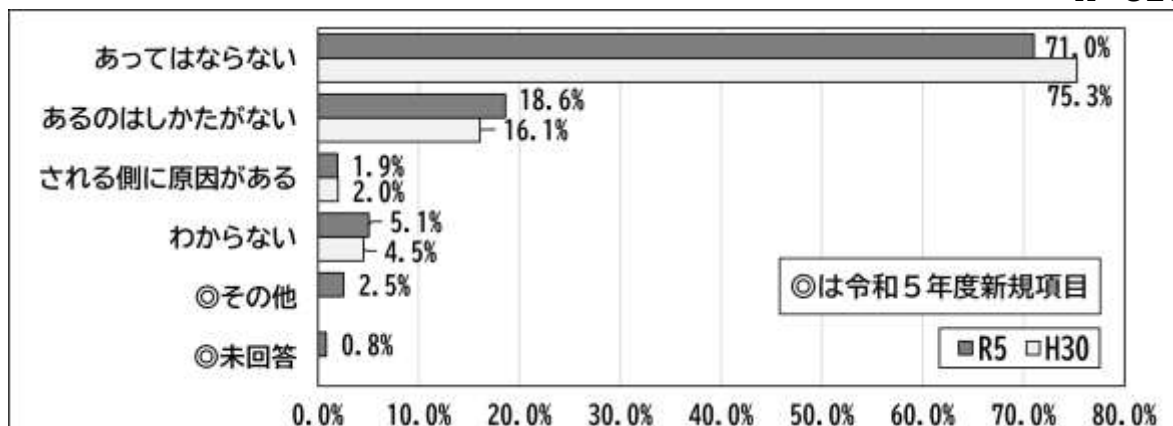


問.7

差別について、あなたのお考えに最も近いものはどれですか。

(1)あなたの差別についての考え

n=828



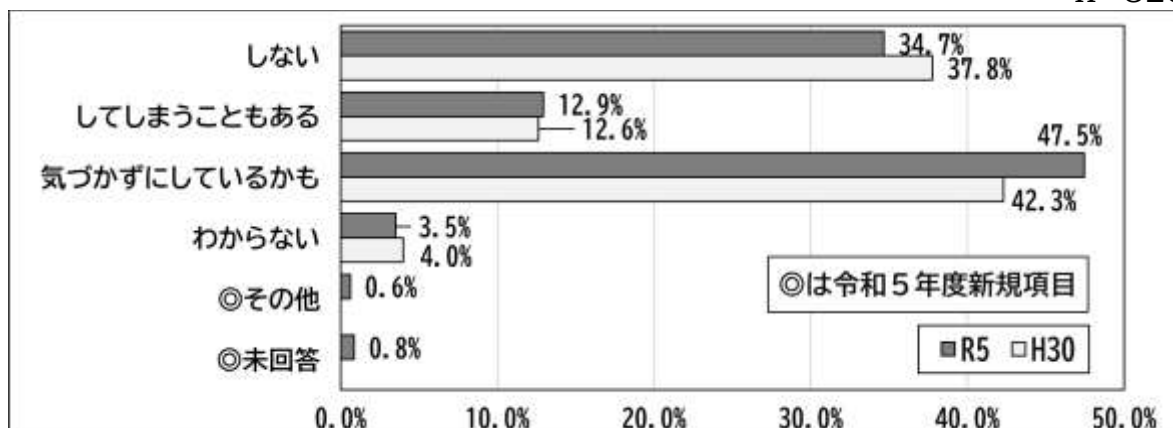
「あってはならない」が前回調査結果より 4.3%下回り 71.0%となり、反対に「あるのはしかたない」が前回調査結果より 2.5%上回り 18.6%となっています。

その他の意見

- ・ あってはならないが、絶対になくならない物
- ・ あってはならないが原因の究明が必要。
- ・ 差別と区別がごっちゃになっていることが多いと思う。

(2)あなたは差別をしますか。また、したことがありますか。

n=828



「しない」が前回調査結果より 3.1%下回り 34.7%となり、反対に「してしまうこともある」が前回調査結果より 0.3%上回り 12.9%となっています。

その他の意見

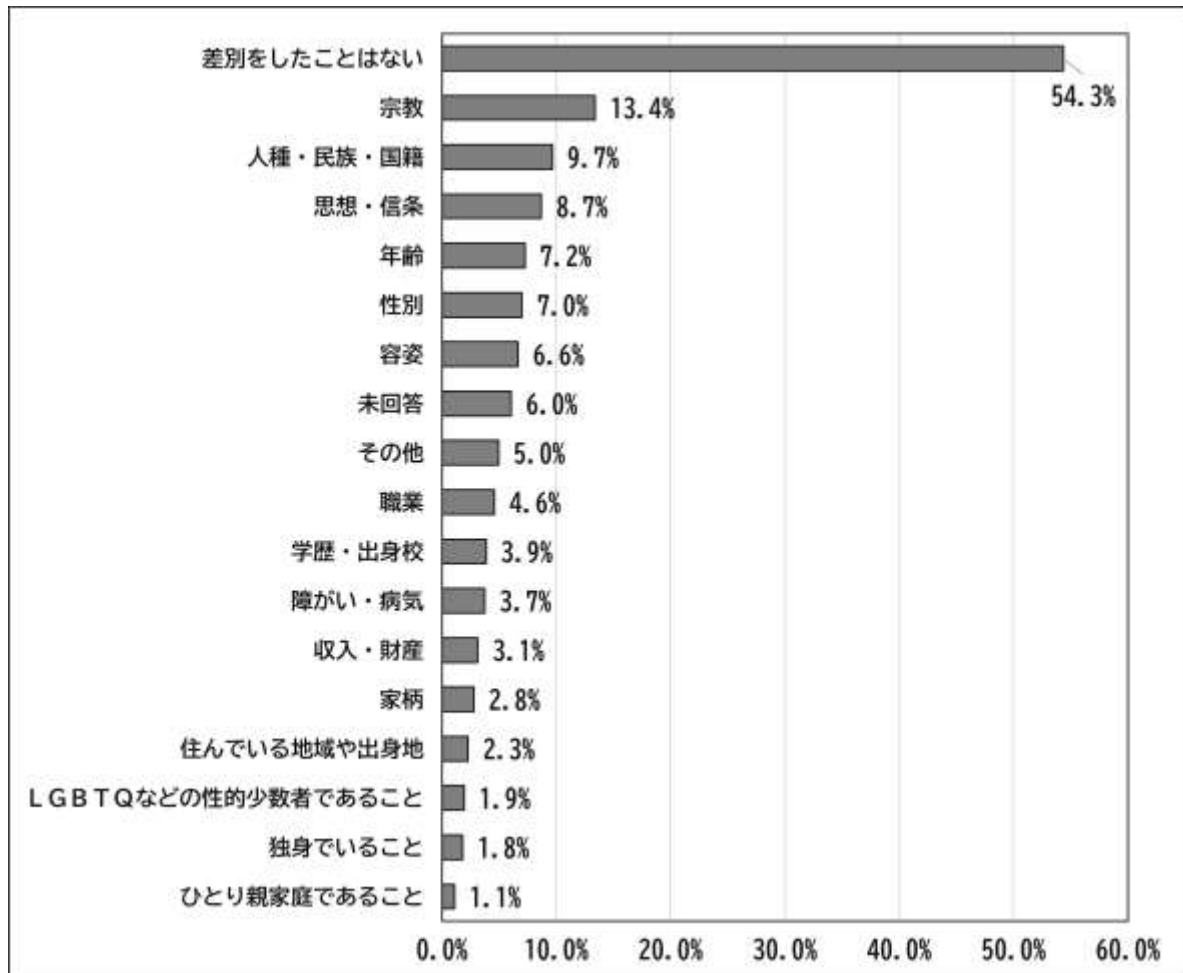
- ・ 自分ではしていなくても、相手のとり方にもよる。
- ・ 周りに流されてしまうこともある。



問.8【令和5年度新規質問事項】

あなたは、差別をしたことがありますか。また、差別をしたことがある方は、どのような差別をしたことがありますか。(あてはまるものをすべて選択してください)

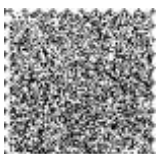
n=828



「差別をしたことはない」が 54.3%で過半数を占めています。差別したことのある方は「宗教」が13.4%、次いで「人種・民族・国籍」の9.7%となっています。

その他の意見

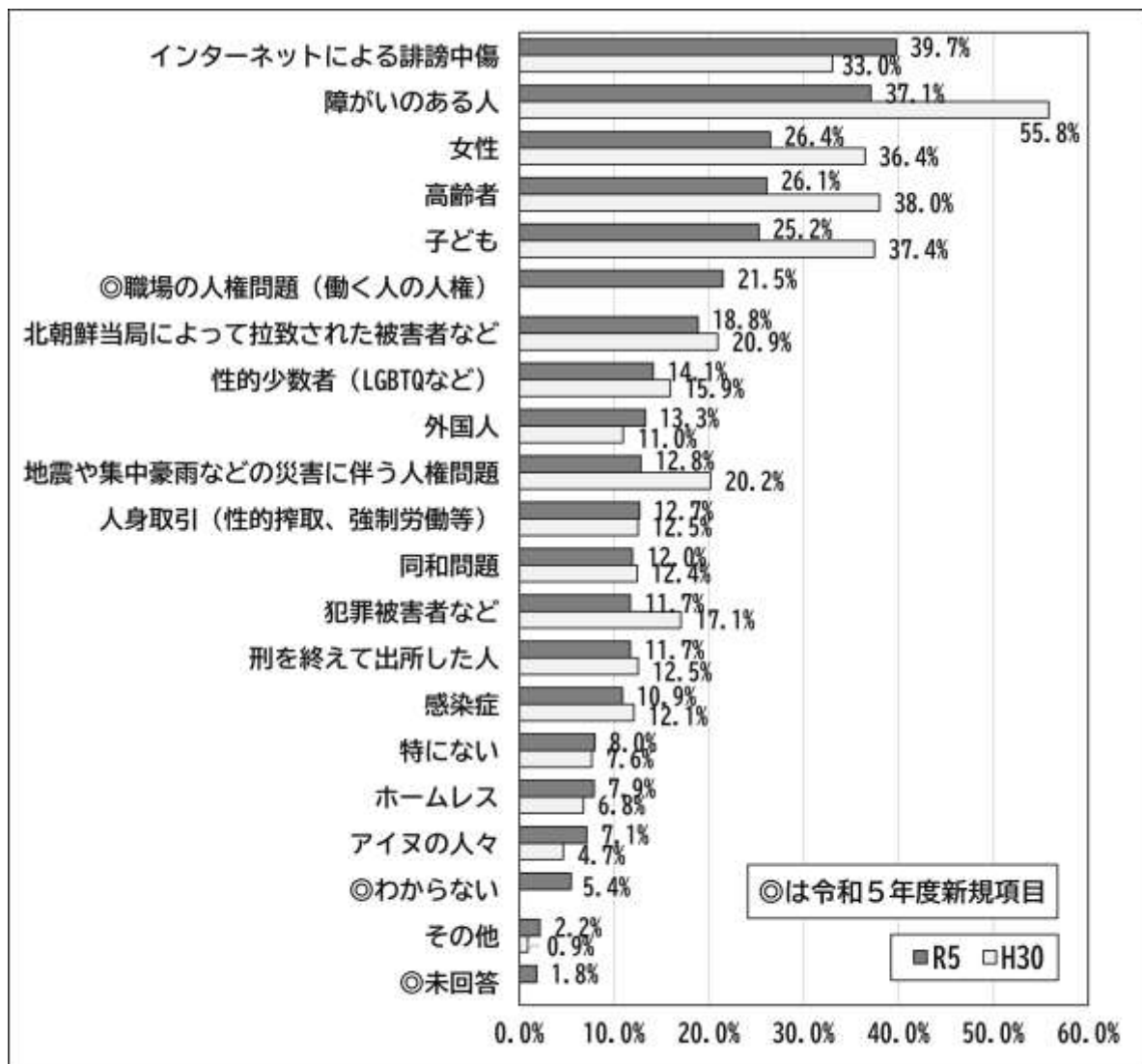
- ・ 性格があまりにも悪い人
- ・ 今の人は・・・と言う事がある
- ・ 常識のないひと
- ・ 見た目がこわい人
- ・ 仕事の能力
- ・ わからない



問.9

あなたが関心のある人権問題はどれですか。(あてはまるものをすべて選択してください)

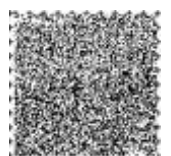
n=828



前回調査結果では「障がいのある人」が 55.8%で最も高い関心を占めていましたが、今回の調査結果では、18.7%下回り2番目になり、最も関心があったのは「インターネットによる誹謗中傷」の 39.7%で、前回調査結果より 6.7%上回っています。

その他の意見

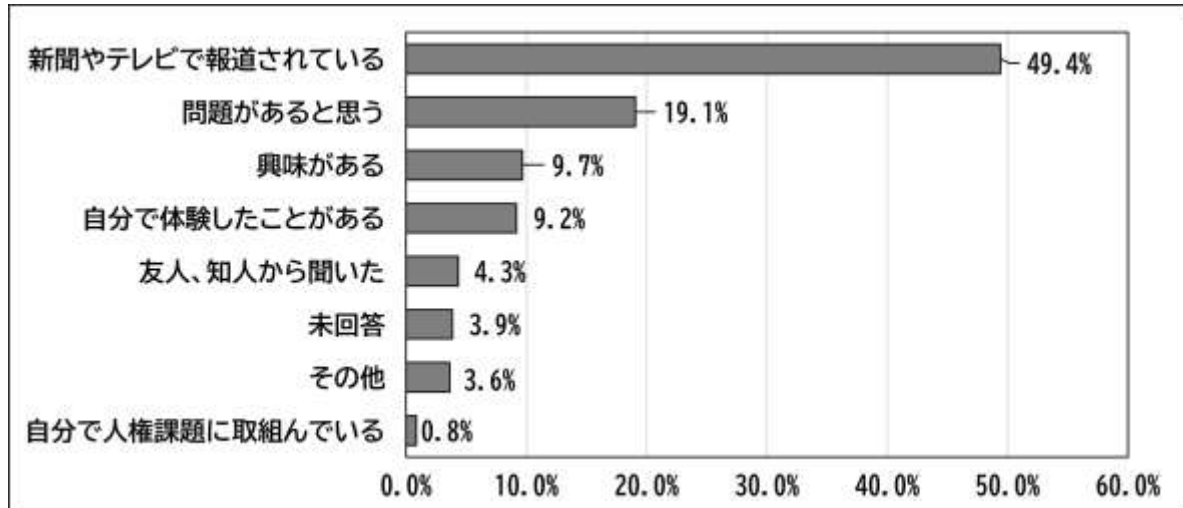
- ・ 生活保護者
- ・ 個々その場のよって対する人の人権だったり、障がい者であったり近所の陰口だったりその時々で違う。
- ・ すべて



問.10【令和5年度新規質問事項】

問.9で、あなたがまるを付けた人権問題を選んだ理由は、次のうちどれにあてはまりますか。(1つ選択してください)

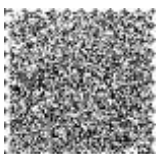
n=828



約半数の49.4%の方が、「新聞やテレビで報道されている」を理由としています。次いで「問題があると思う」が19.1%となっています。

その他の意見

- ・ 自分の子供が障がいを持っていて、まだまだ肩身の狭い生き方をしていると感じています。
- ・ 自分にとっておこりうる差別だから
- ・ 高齢者にもう少しでなるから
- ・ 知人にいるため
- ・ わからない



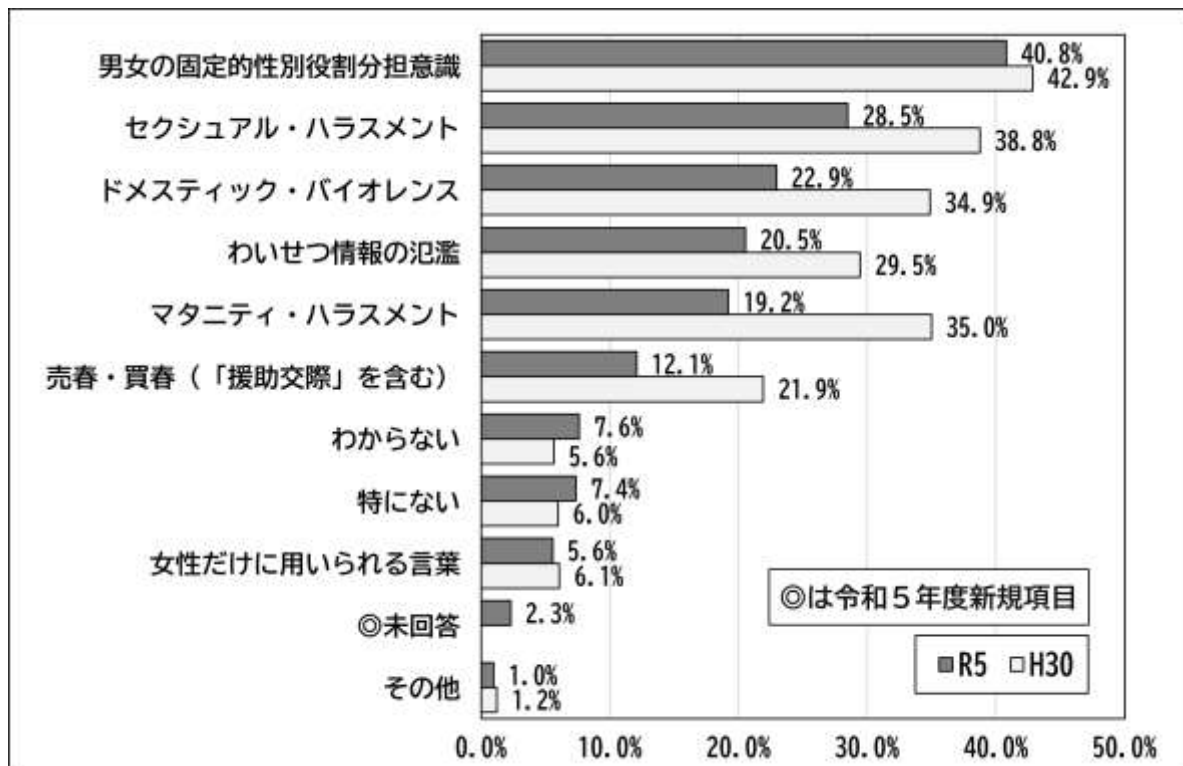
2 女性の人権について

問.11

あなたは、女性の人権に関することで、どのようなことが問題だと思いますか。

(3 つ以内で選択してください)

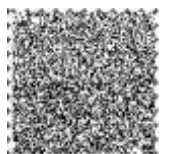
n=828



前回調査結果同様、男女の固定的性別役割分担意識の割合が最も高く、40.8%となっています。セクシュアル・ハラスメントの28.5%、ドメスティック・バイオレンス22.9%、わいせつ情報の氾濫20.5%、マタニティ・ハラスメント19.2%、売春・買春12.1%については、いずれも、前回調査より10～15%程度、減少しています。

その他の意見

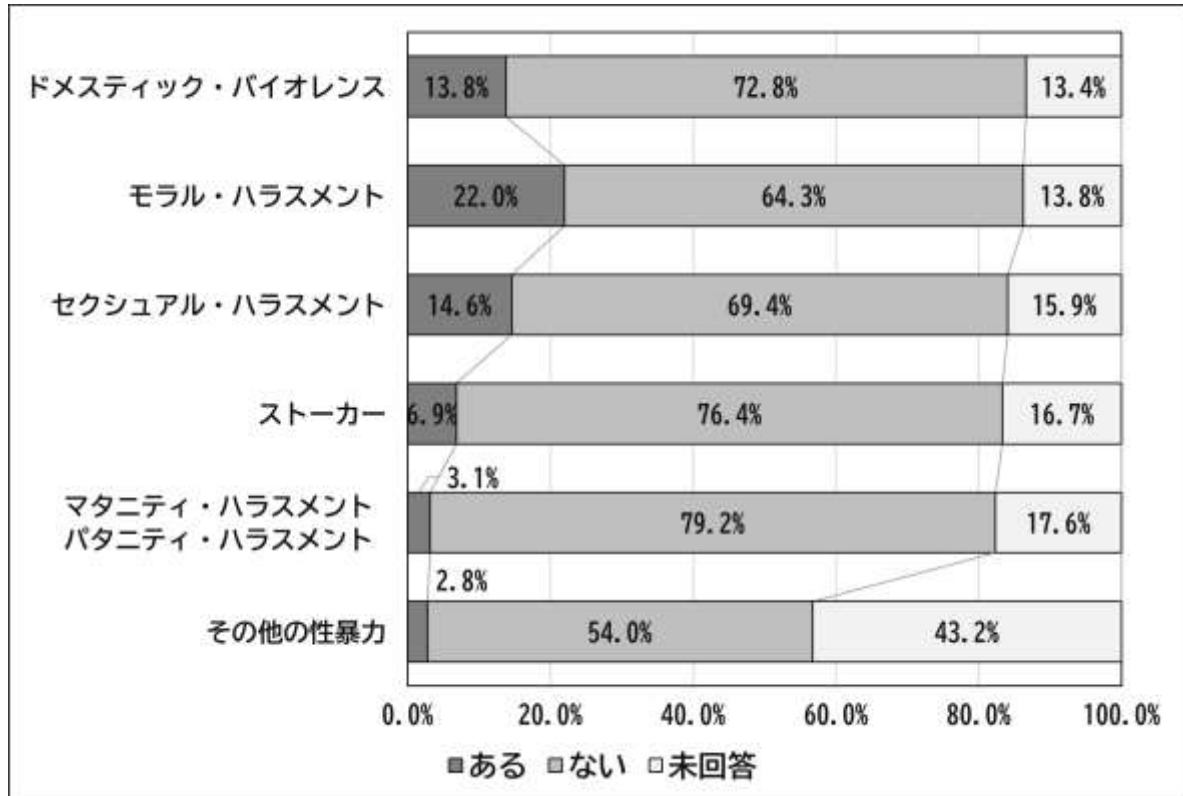
- ・ 女性の生き方に対して厳しい言葉をぶつける人が性別問わず多いこと。(例)働きながら子育てする母は素晴らしく、専業主婦は認められない。/子供を預けて働くのは子供がかわいそう、など。
- ・ 男女ともにこの人ならゆるされる、この人ならゆるされないということがあるからわからない。
- ・ 性的犯罪者の刑期の短さ
- ・ 育児をしながらの仕事は結局は、女性に負担がある。
- ・ 根底に女は劣った生き物という意識
- ・ この間はほとんどだと思う。



問.12【令和5年度新規質問事項】

あなたは、今までに次の行為を 1 度でも受けたことがありますか。または、あなたの周りに受けた方がおられますか。(それぞれの行で1つ選択してください)

n=828

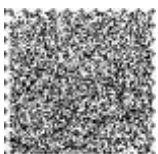


「モラル・ハラスメント」が最も高く、22.0%の方が「ある」と答えた一方で、「未回答」と回答した方も多くの割合を占めています。次いで「セクシュアル・ハラスメント」が 14.6%となっています。

また、どの暴力経験においても、13～18%の割合で、「未回答」が見られています。

その他の性暴力

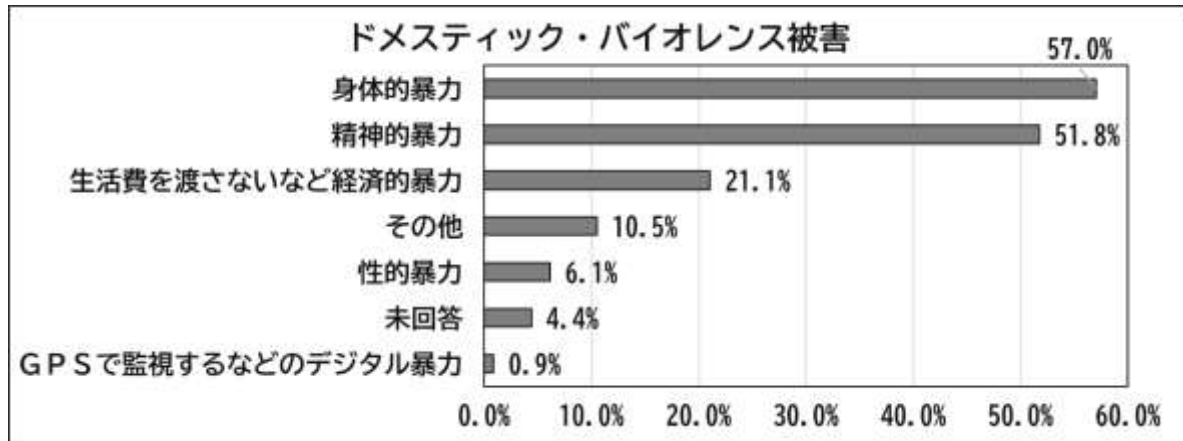
- ・ 高齢男性の女のくせに女だてらにどうせ女はなどの言動
- ・ 経済的な差別
- ・ 女性社員のためのリストラ
- ・ 体の一部の事や障がいがある事での差別



問.13【令和 5 年度新規質問事項】

問.12で「ある」と回答したかたに伺います。あなた、またはあなたの周りのかたが受けた次の行為の内容について教えてください。（それぞれの行について、あてはまるものをすべて選択してください）

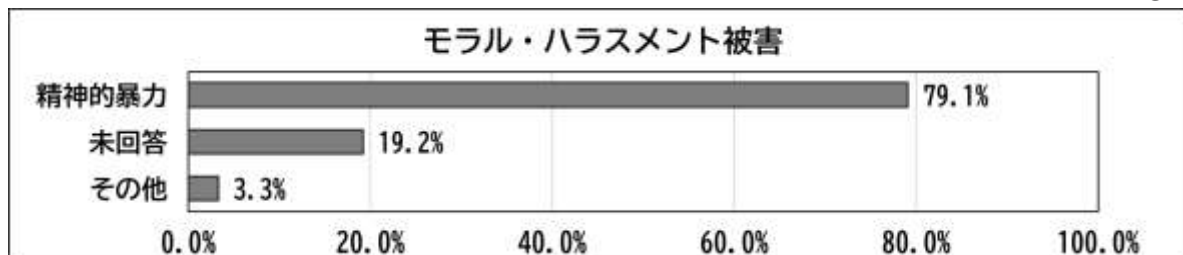
n=114



その他の被害

- ・ 意見なし

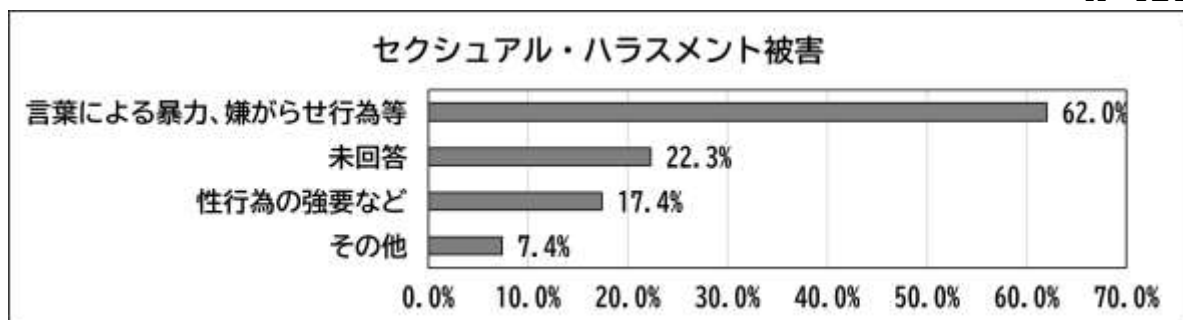
n=182



その他の被害

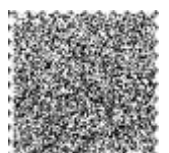
- ・ ガスライティング、退職をたてに業務の強要、電話でわいせつ行為を強要脅迫
- ・ 肉親からの性的虐待

n=121

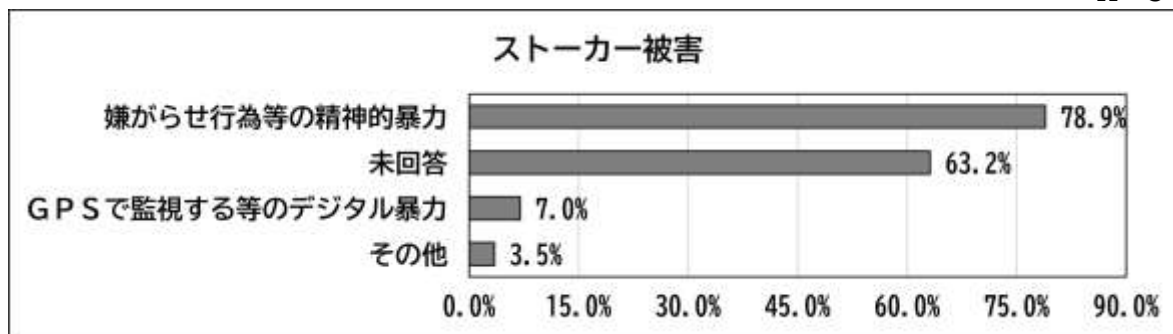


その他の被害

- ・ 写真を性的内容を想起させる加工をされた。
- ・ 会社の飲み会などでの下ネタや過度なスキンシップ
- ・ 何げなく体の一部を触ってくる。



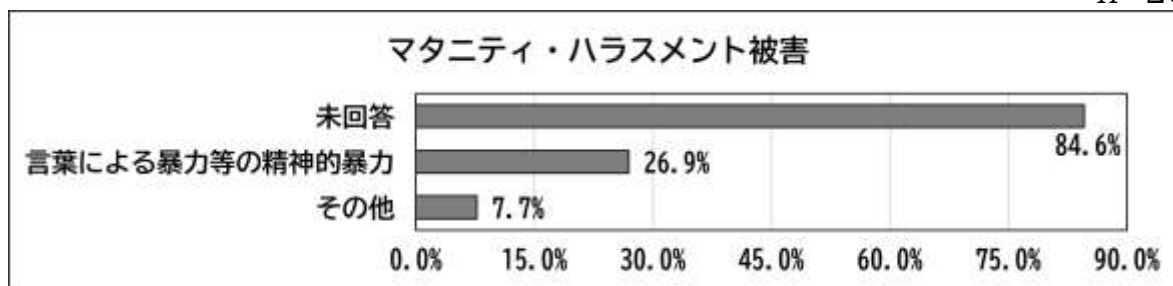
n=57



その他の被害

- ・ つきまとわれた。
- ・ 結婚の強要

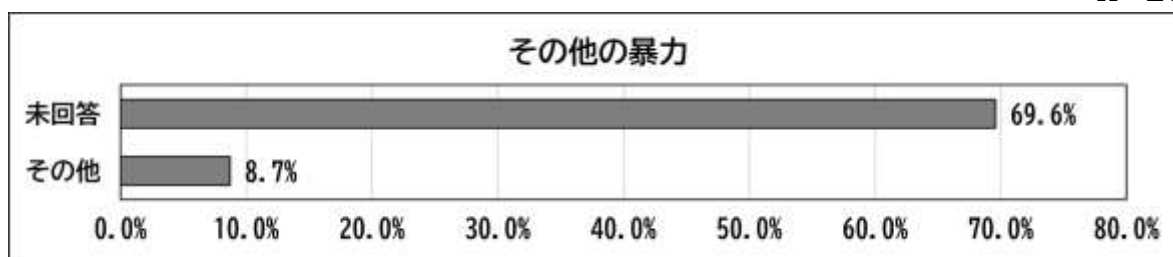
n=26



その他の被害

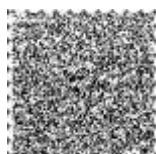
- ・ 育休明けの社員に能力以下の仕事しか任せないで、やる気を失わせている。
- ・ 生活費を渡さない、仕事をさせないなどの経済的暴力

n=23



その他の暴力

- ・ 少子化なのに、また妊娠したとか、つわりを仮病と言っている人を聞いたりした。
- ・ 妻だから家事をやるのは当然(当時は専業主婦だった)
- ・ 職場を追い出す(退職に追い込む)行為
- ・ なぜ男性の人権が軽視されるのか理解できない。

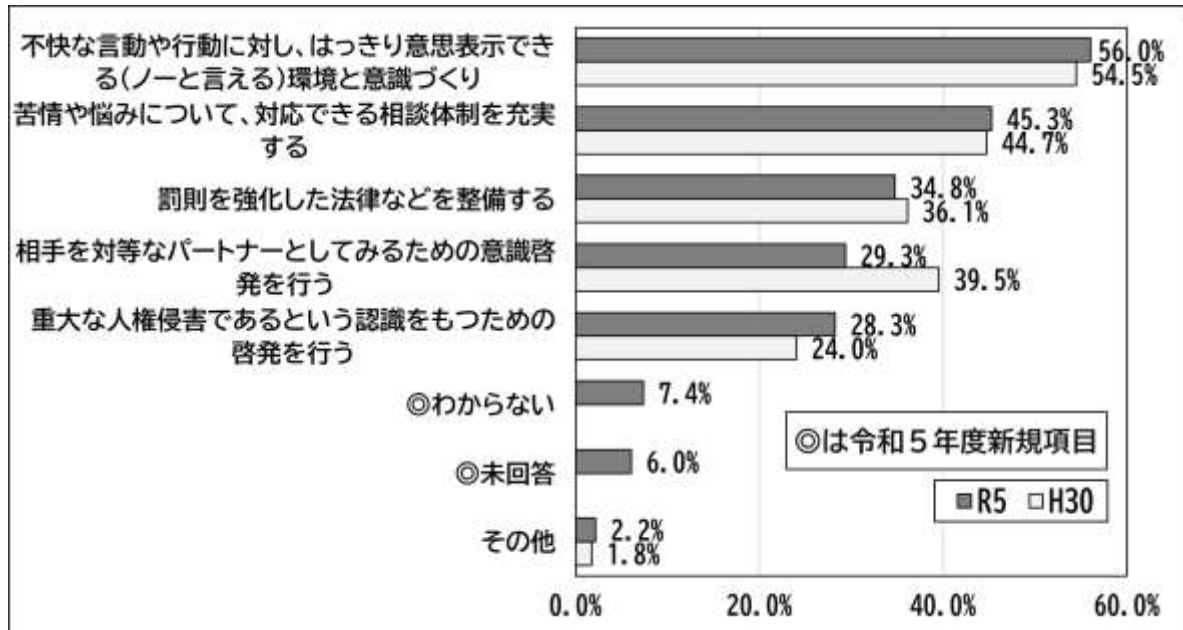


問.14

あなたは、どうすればこれらの行為をなくすことができますか。

(3 つ以内で選択してください)

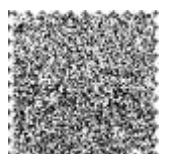
n=828



前回調査同様、「不快な言動や行動に対し、はっきり意思表示できる(ノーと言える)環境と意識づくり」と答えた割合が56.0%で最も多く、次いで「苦情や悩みについて、対応できる相談体制を充実する」が45.3%になっています。

その他の意見

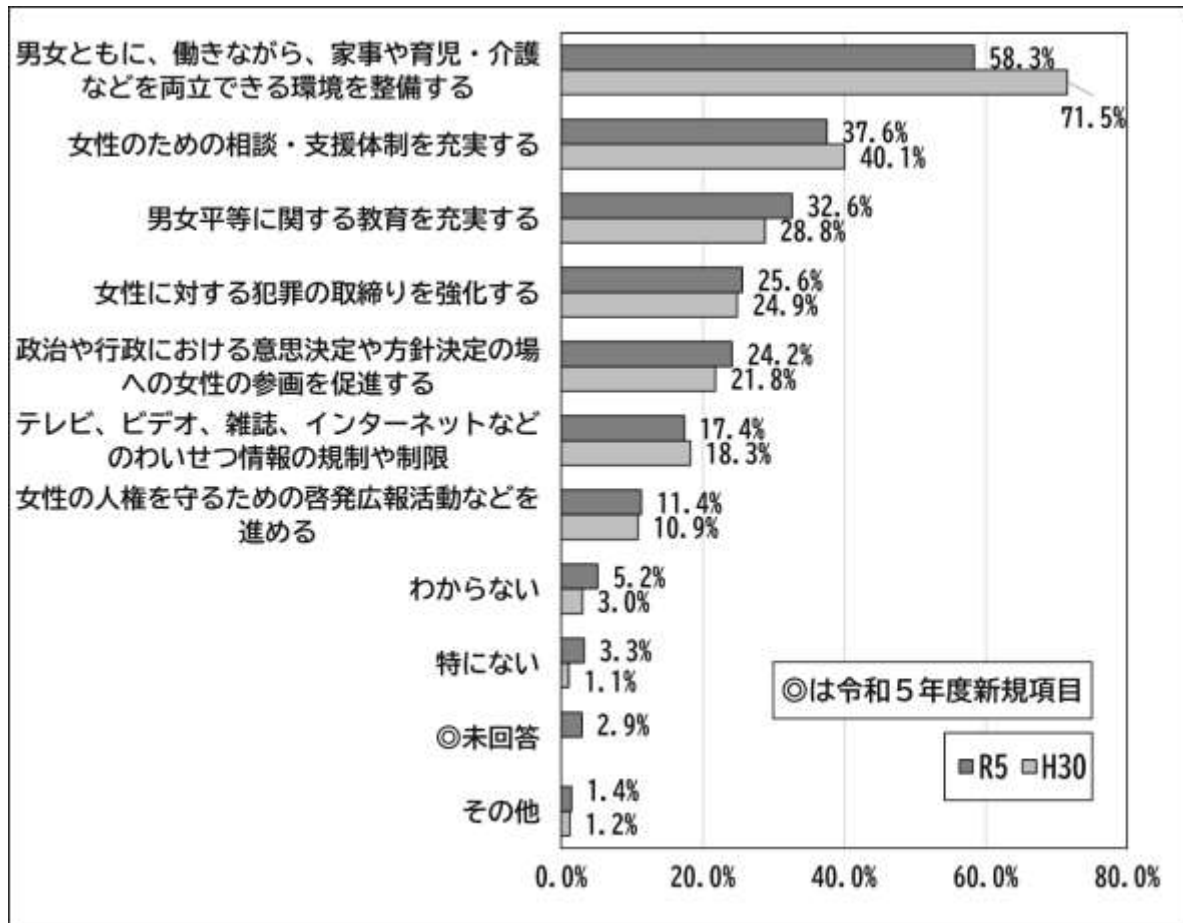
- ・ 冗談と言ってごまかさない。冗談と言えば許されると思わない意識づくり
- ・ 無理、子供を産んだ事のない人や男性には、絶対に妊娠している人の気持ちは、わからない。
- ・ ある程度の年齢になっていると改革は無理だと感じる。
- ・ ハラスメントを行う人、受ける人それぞれの生いたちから分析して、どうして「する」のか「される」のかを本人がきちんと理解できるような支援体制をつくる。
- ・ やっている本人に自覚がないので、なくすことは難しいのでは…。
- ・ 感情のコントロールが出来るようになる(した方が)



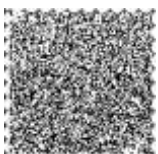
問.15

あなたは、女性の人権を守るためには、どのようなことが必要だと思いますか。
(3 つ以内で選択してください)

n=828



今回の調査結果では、「男女ともに、働きながら、家事や育児・介護などを両立できる環境を整備する」が 58.3%で最も高い割合を占めていますが、前回調査結果から 13.2%、次いで「女性のための相談・支援体制を充実する」が 37.6%で 2.5%、それぞれ下回っています。



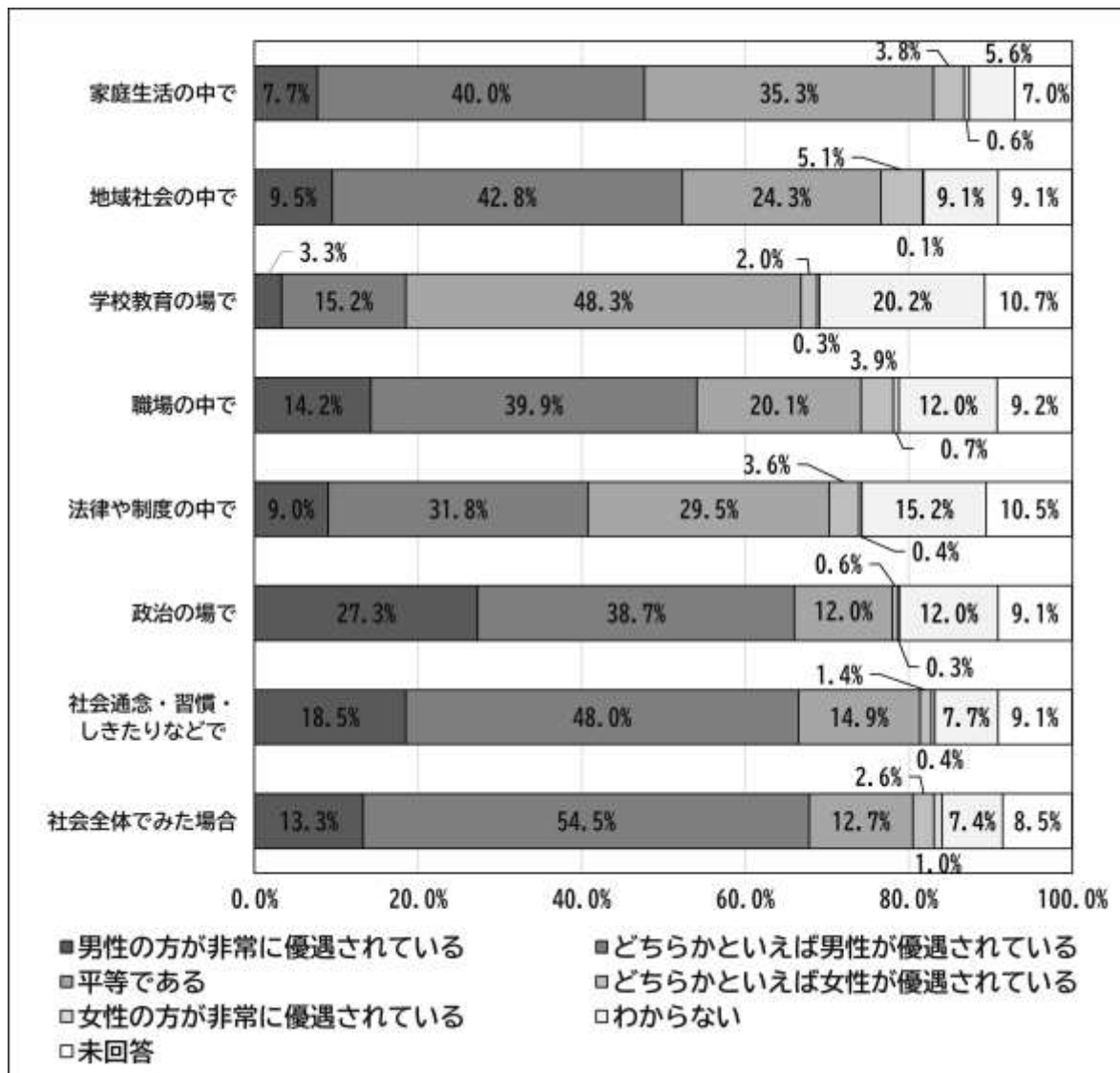
3 男女共同参画について

問.16【令和 5 年度新規質問事項】

あなたは、次の(1)から(8)の分野で男女の地位は平等になっていると思いますか。あなたのお考えに最も近いものをお答えください。

(それぞれの行で該当する番号1つを選択してください)

n=828

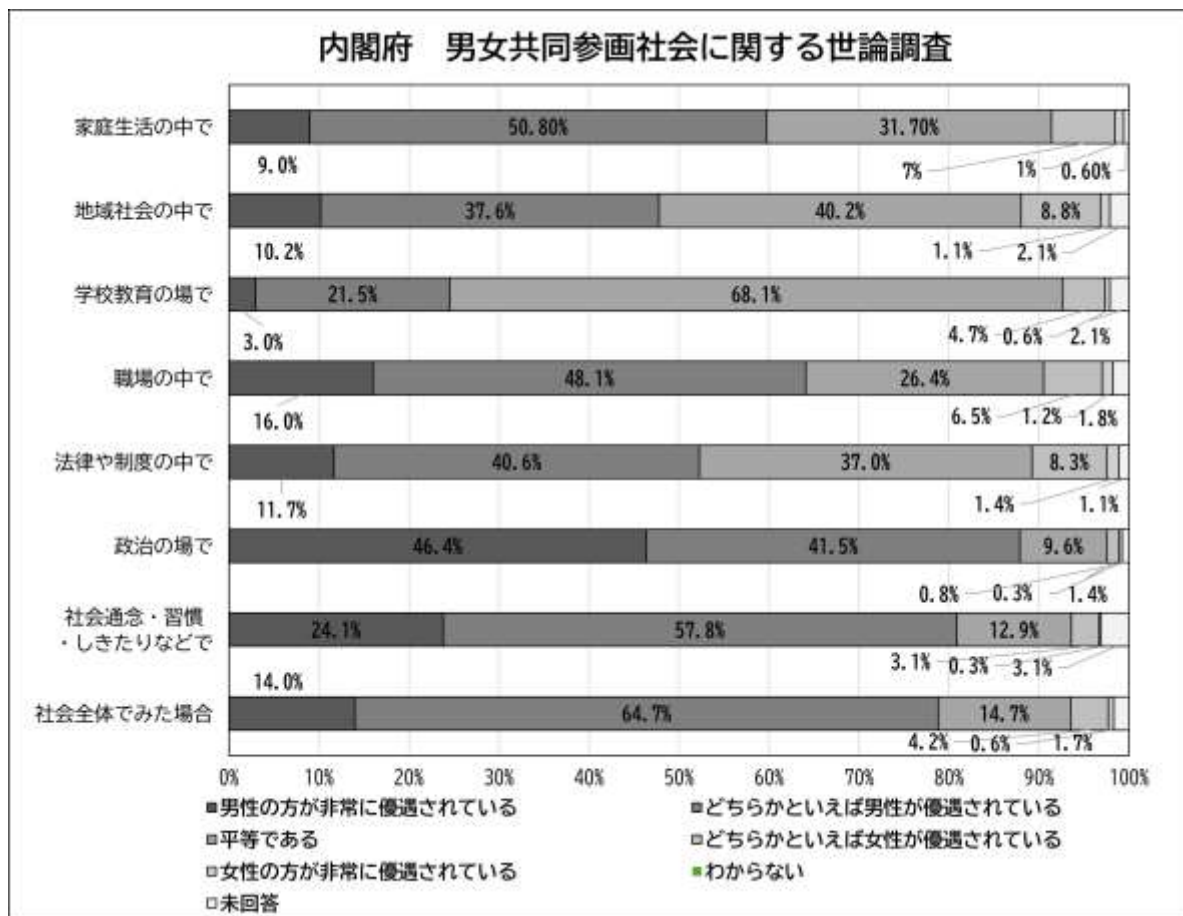


「男性の方が非常に優遇されている」「どちらかといえば男性が優遇されている」を合わせると、「地域社会の中で」52.3%、「職場の中で」54.1%、「政治の中で」66.0%、「社会通念・習慣・しきたりなどで」66.5%、「社会全体で見た場合」67.8%が非常に高い割合を占めています。

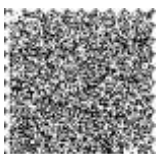
場面別にみると、学校の中では、「平等である」が 48.3%となっていますが、ほかの場面や社会全体では、「男性の方が非常に優遇されている」「どちらかといえば男性が優遇されている」の合計が 50%を超えている項目が多く、男性が優遇されていると感じている人の割合が高い状態にあります。



内閣府で行われた同様の調査(次表)においても、「男性の方が非常に優遇されている」「どちらかといえば男性が優遇されている」を合わせた割合が同様の傾向にあり、おおよそ今回の調査結果と一致しています。



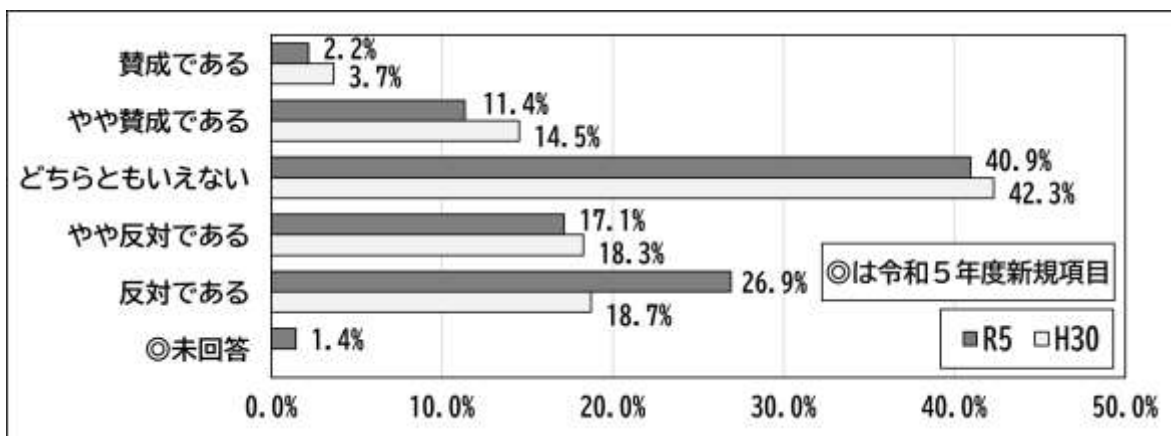
出典：内閣府 令和4年度男女共同参画社会に関する世論調査



問.17

あなたは「男は仕事、女は家庭」という考え方(固定的性別役割分担意識)について、どのように思いますか。(1つ選択してください)

n=828



今回の調査結果では、「どちらともいえない」が、前回同様最も高い割合で 40.9%となっています。固定的性別役割分担意識の考えに「反対である」「やや反対である」を合わせた割合が 44%であり、前回調査結果の 37%より7%上回っています。



問.18【令和5年度新規質問事項】

総務省の「令和3年社会生活基本調査」によると、6歳未満の子どもを持つ夫の家事・育児関連時間は、一日あたり1時間54分、妻は7時間28分であった。

5年前(平成28年)の、夫1時間23分、妻7時間34分と比べて、男女差は縮小しているが依然として一定の差がある。

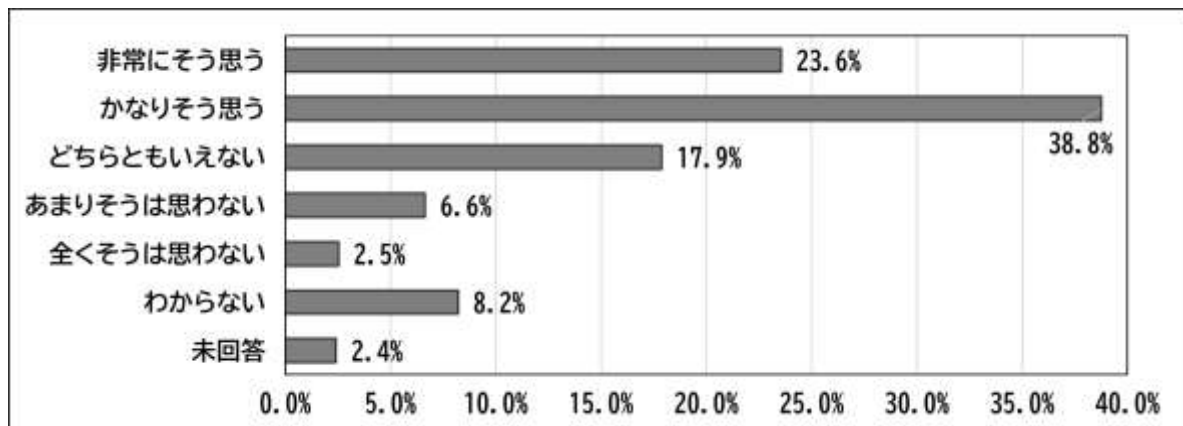
6歳未満の子供を持つ夫・妻の家事関連時間の推移(2001年～2021年)
一週全体、夫婦と子供の世帯

	夫					妻				
	2001年	2006年	2011年	2016年	2021年	2001年	2006年	2011年	2016年	2021年
家事関連	0.48	1.00	1.07	1.23	1.54	7.41	7.27	7.41	7.34	7.28
家事	0.07	0.10	0.12	0.17	0.30	3.53	3.35	3.35	3.07	2.58
介護・看護	0.01	0.01	0.00	0.01	0.01	0.03	0.03	0.03	0.06	0.03
育児	0.25	0.33	0.39	0.49	1.05	3.03	3.09	3.22	3.45	3.54
買い物	0.15	0.16	0.16	0.16	0.18	0.42	0.40	0.41	0.36	0.33

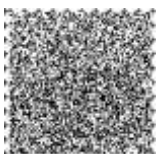
出典 総務省 令和3年度社会生活基本調査

あなたは、この結果を見て、あなたの周りやあなた自身と比較すると、どう思いますか。
(1つ選択してください)

n=828



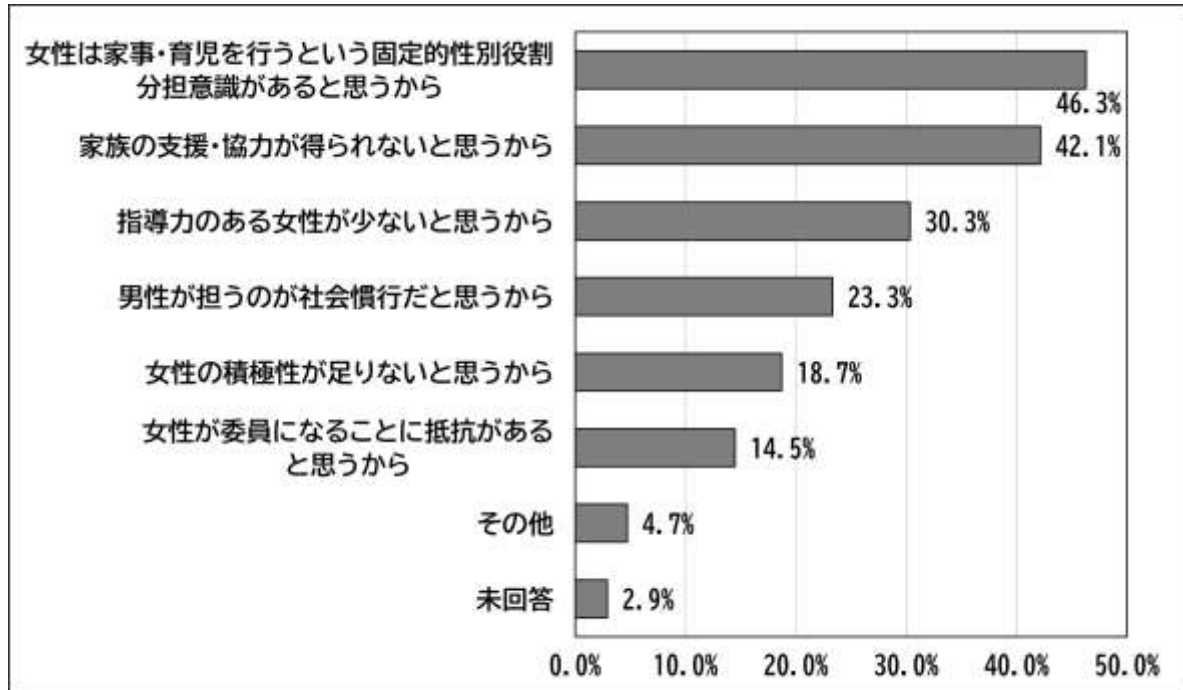
今回の調査結果では、「かなりそう思う」が 38.8%で最も高い割合を占めています。次いで「非常にそう思う」が 23.6%で、「非常にそう思う」と「かなりそう思う」の合計が 62.4%で、男女の家事育児時間には一定の差があると考える割合が多くみられます。



問.19【令和5年度新規質問事項】

議会や審議会等の政策方針決定過程において、男性委員より女性委員が少ない状況にあります。それはなぜだと思いますか。（あてはまるものをすべて選択してください）

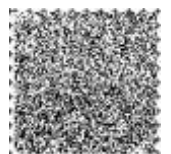
n=828



「女性は家事・育児を行うという固定的性別役割分担意識があると思うから」が 46.3%で、最も高い割合となりました。次いで、「家族の支援・協力が得られないと思うから」が 42.1%となっています。

その他の意見

- ・ 男性比率が圧倒的に多い組織の中で女性が地位を築くこと、組織に居続けることの負担が女性にとっては大きく、それを成せる気質や能力のある女性が限られてくるから。性差や人それぞれの気質の違いなどを受け入れる意識が互いに足りないし、違う者が平等に活躍できる職場環境制度も整っていないと思う。
- ・ 古い考えの方がいるからでは？
- ・ 男性が女性を認めていないから。
- ・ 既存の男性議員の意識に問題がある。
- ・ 議会や審議会が女性が参加したいと思える体制や仕組みになっていないから。
- ・ 女性を前に出しておけばいいと考えているだけ。実際には女性に何も任せていない。
- ・ そもそも女性議員が少ない。

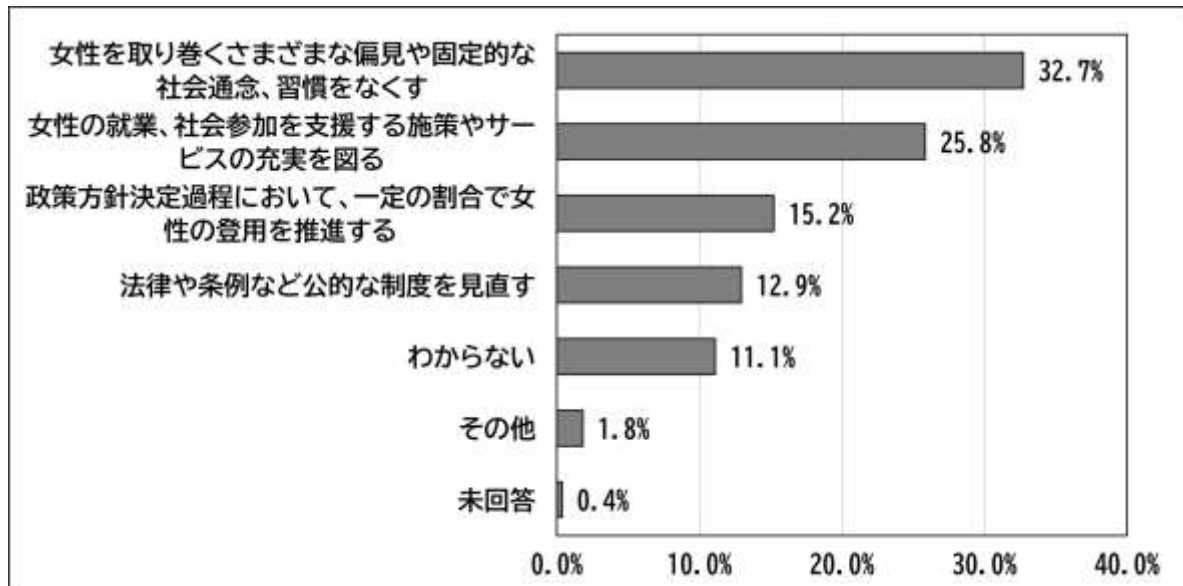


問.20【令和5年度新規質問事項】

男女共同参画社会を実現していくためには、何が最も重要だと思いますか。

(1つ選択してください)

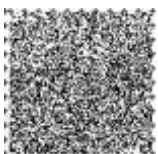
n=828



「女性を取り巻くさまざまな偏見や固定的な社会通念、習慣をなくす」が 32.7%で最も高い割合でした。次いで、「女性の就業、社会参加を支援する施策やサービスの充実を図る」が 25.8%でした。

その他の意見

- ・ 各個人での性質がいろいろと違うためです。
- ・ 現在の男性上司の意識改革
- ・ 女性の意識の向上
- ・ 教育である。子どもの時から適切な教育が要。



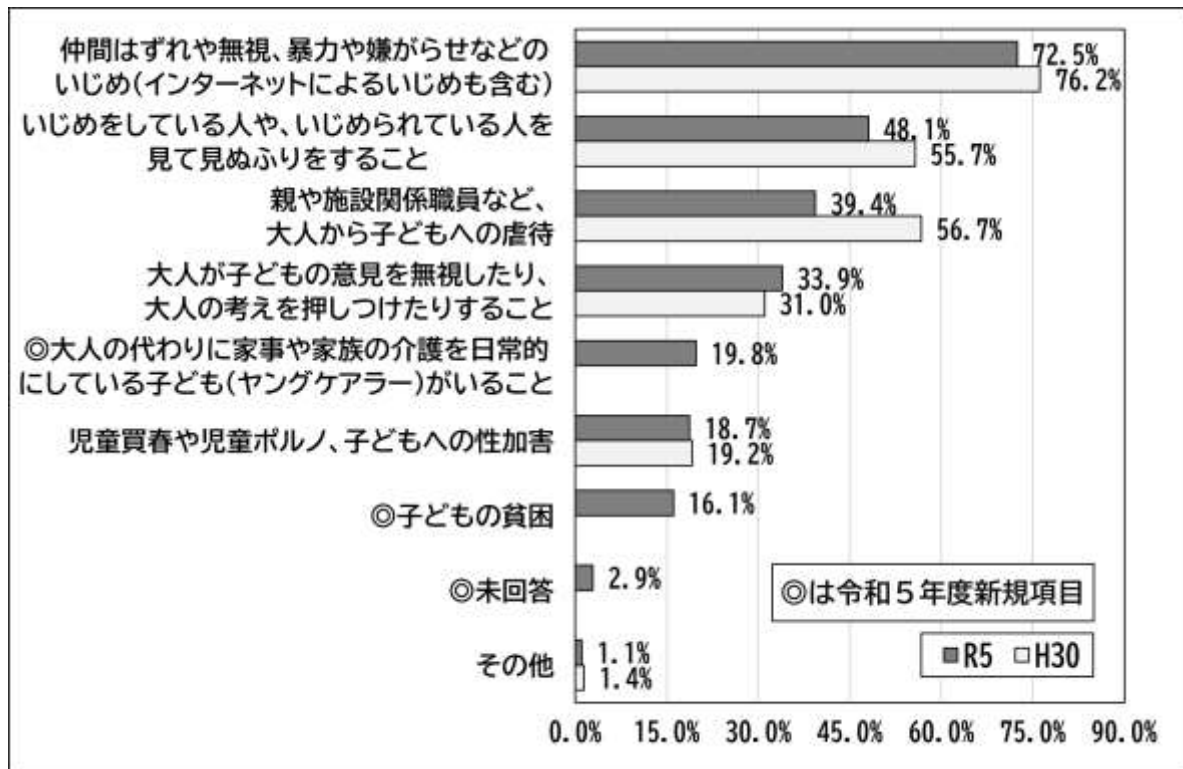
4 子どもの人権について

問.21

あなたは、子どもの人権に関することで、どのようなことが問題だと思いますか。

(3 つ以内で選択してください)

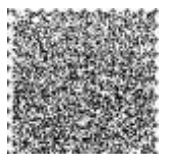
n=828



前回調査結果内容と同様に、「仲間はずれや無視、暴力や嫌がらせなどのいじめ(インターネットによるいじめも含む)」が 72.5%で最も高い割合でした。今回追加された「大人の代わりに家事や家族の介護を日常的にしている子ども(ヤングケアラー)がいること」は 19.8%で、全体の 5 番目でした。

その他の意見

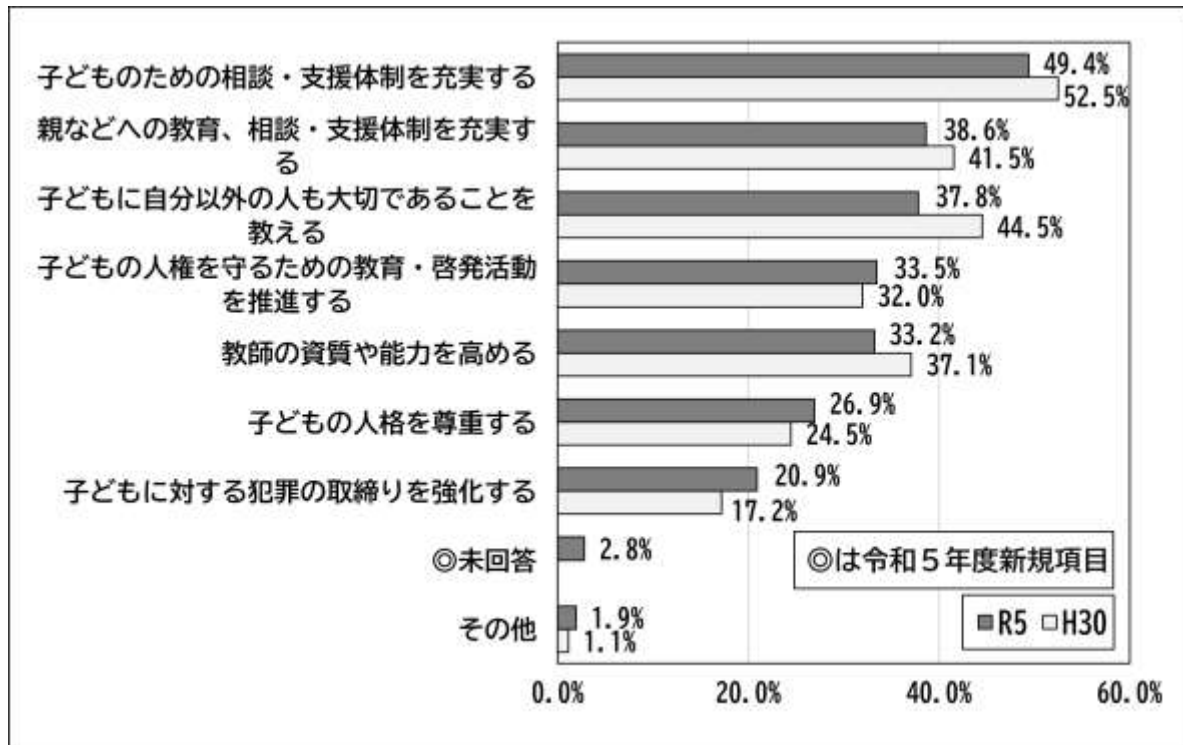
- ・ 国の方向が教育に反映されていないと思います。
- ・ 人は人で自分は自分で判断が不十分だからです。
- ・ 子どもの教育する教師にも問題である。



問.22

あなたは、子どもの人権を守るためには、どのようなことが必要だと思いますか。
(3 つ以内で選択してください)

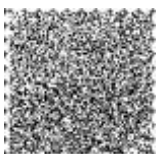
n=828



前回調査結果内容と大きな変化はありませんが、「子どもの人権を守るための教育・啓発活動を推進する」が1.5%、「子どもの人格を尊重する」が2.4%、「子どもに対する犯罪の取締りを強化する」が3.7%上回っています。

その他の意見

- ・ 教師の待遇改善(給与、休暇など)
- ・ 学校内のカメラ設置
- ・ 道徳の時間を作り、その内で、子供達への教育も必要と思う。最近は親に問題あり...を多く感じる。
- ・ こどもはなかなか相談できなかつたり、自分の言葉で伝えられなかつたりする。ましてや知らない人に自分で電話して...とか内気な子にはハードルが高い。できれば親身になってくれる先生がいればよいが、先生も日々忙しいのでゆっくり話を聞くのは大変だと思う。もう少しクラスの人数を減らしサポートティーチャーなど多くの大人の目があるとよいと思う。
- ・ 全問に該当する



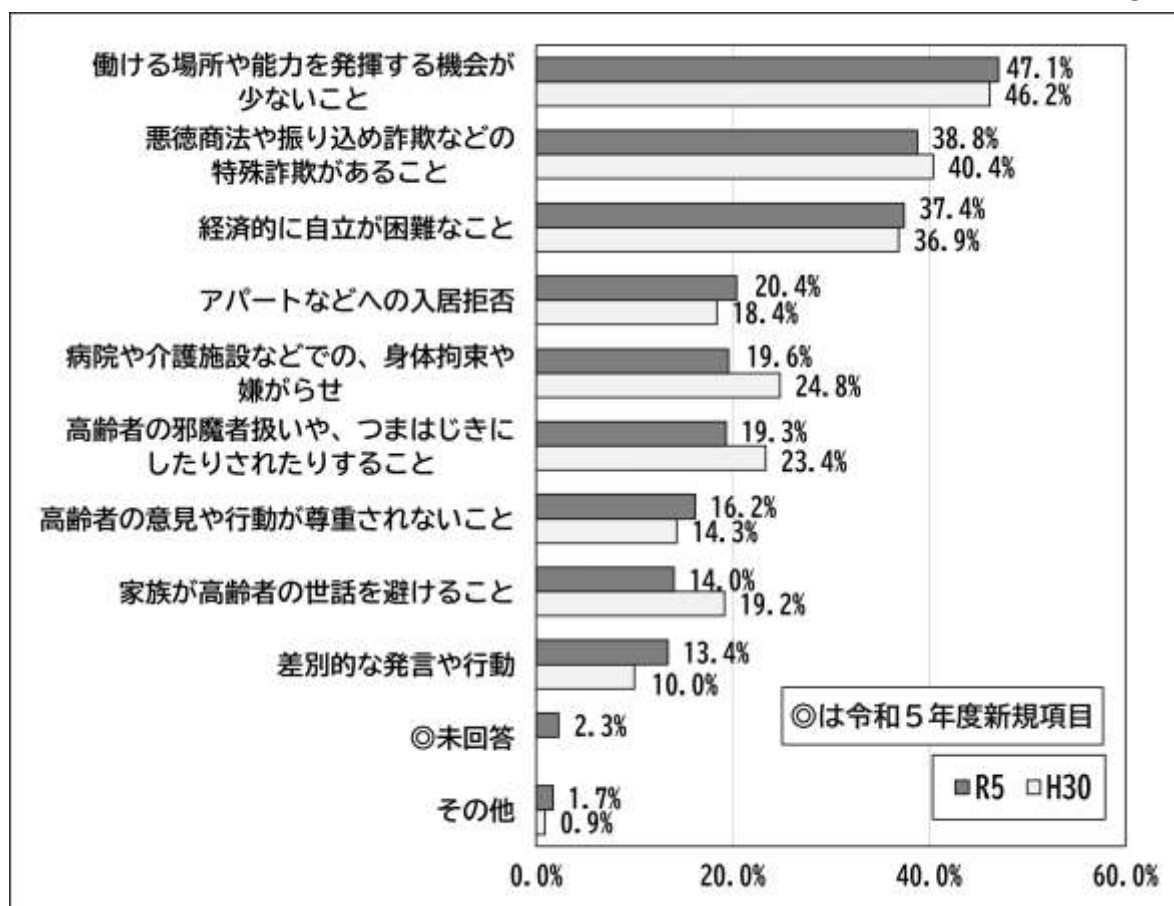
5 高齢者の人権について

問.23

あなたは、高齢者の人権に関することで、どのようなことが問題だと思いますか。

(3 つ以内で選択してください)

n=828



「働ける場所や能力を発揮する機会が少ないこと」が 47.1%で、前回調査結果より 0.9% 上回っていますが、「悪徳商法や振り込め詐欺などの特殊詐欺があること」が 38.8%で 1.6% 下回っています。

その他の意見

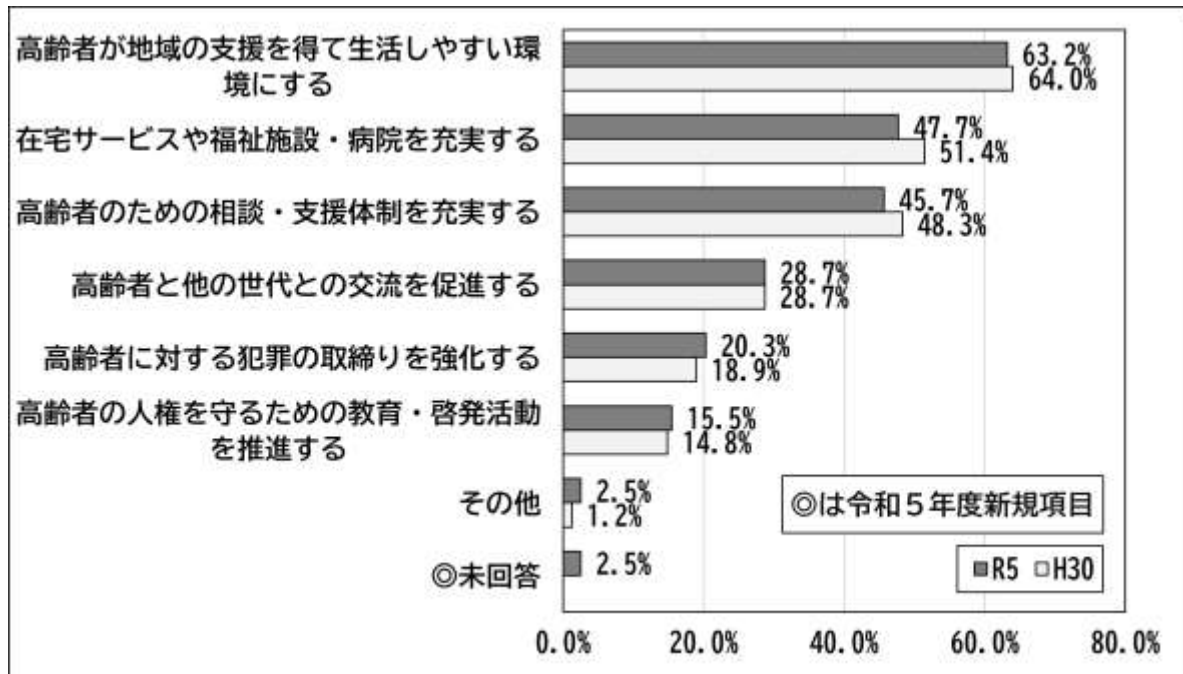
- ・ 昔は年金は、年よりの小遣いでしたが、今は生活費、国民年金は、生活保護費より少なく生活がきびしすぎる。時代に合わせた年金を・・・と思う(積立額です)



問.24

あなたは、高齢者の人権を守るためには、どのようなことが必要だと思いますか。
(3 つ以内で選択してください)

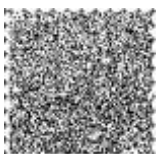
n=828



今回の調査結果では、「高齢者が地域の支援を得て生活しやすい環境にする」が63.2%で最も高い割合を占めていますが、前回調査結果を0.8%下回っています。次いで在宅サービスや福祉施設・病院を充実する」が47.7%でしたが、前回調査結果よりも3.7%下回っています。

その他の意見

- ・ 気力も衰えている方へ自分が必要とされている喜びやアイデンティティを確立させてあげたいです。そういう環境作りを。
- ・ 年金の手取額が少ない。
- ・ 高齢になっても肉体労働ではなく、いきいきと働ける場所がある事。介護や警備員等でなく。
- ・ 若い世代の人達のかえりかたを教育。だれにも人権はあるという事など。
- ・ 高齢者＝老人何と言ってもダメ等高齢者と言っても幅広い年齢があると思う。まだ若い者には負けないという気持ち考え方もわかる。もっと話し合いみとめあっても・・・と考える。

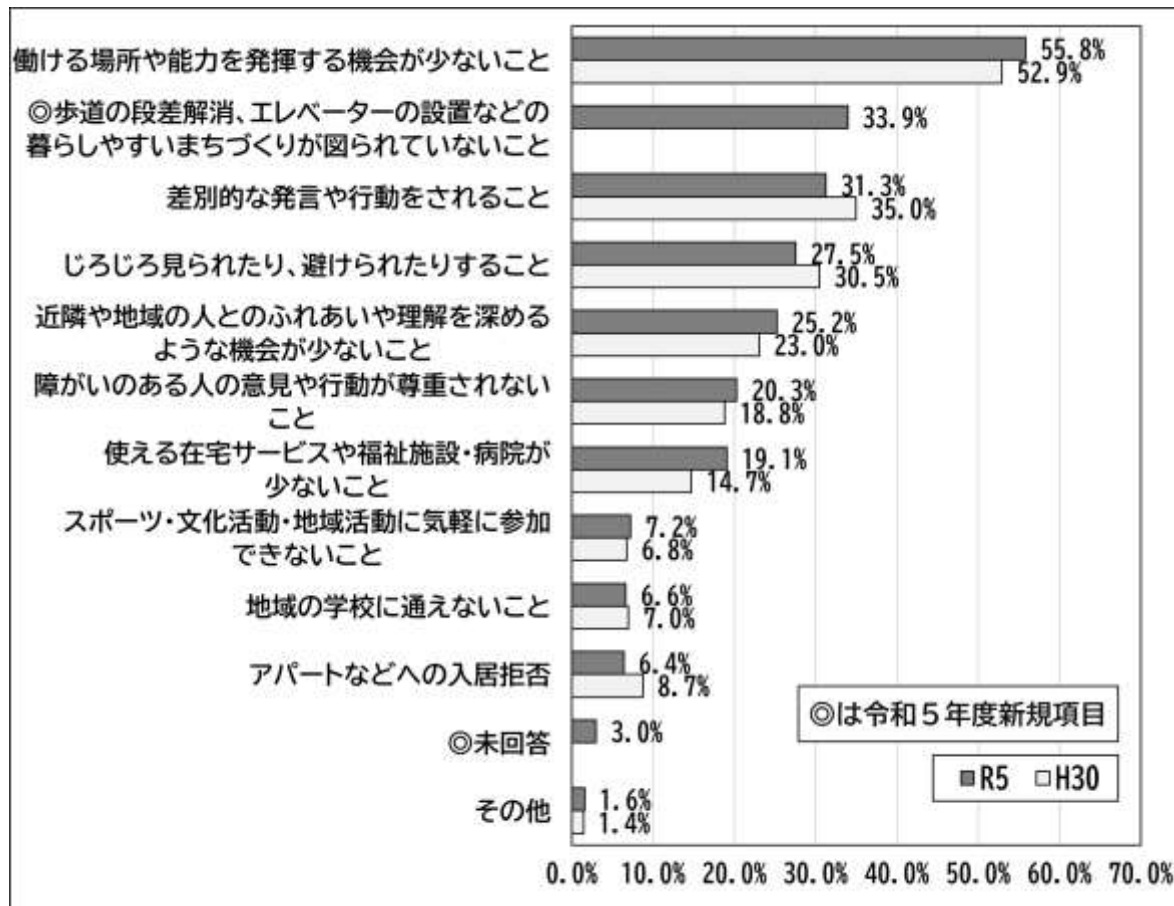


6 障がいのある人の人権について

問.25

あなたは、障がいのある人の人権に関することで、どのようなことが問題だと思いますか。
(3 つ以内で選択してください)

n=828



今回の調査結果では、「働ける場所や能力を発揮する機会が少ないことが」が 55.8% で最も高い割合を占め、前回調査結果を 2.9% 上回りました。次いで今回新たに追加した「歩道の段差解消、エレベーターの設置などの暮らしやすいまちづくりが図られていないこと」が 33.9% となりました。

その他の意見

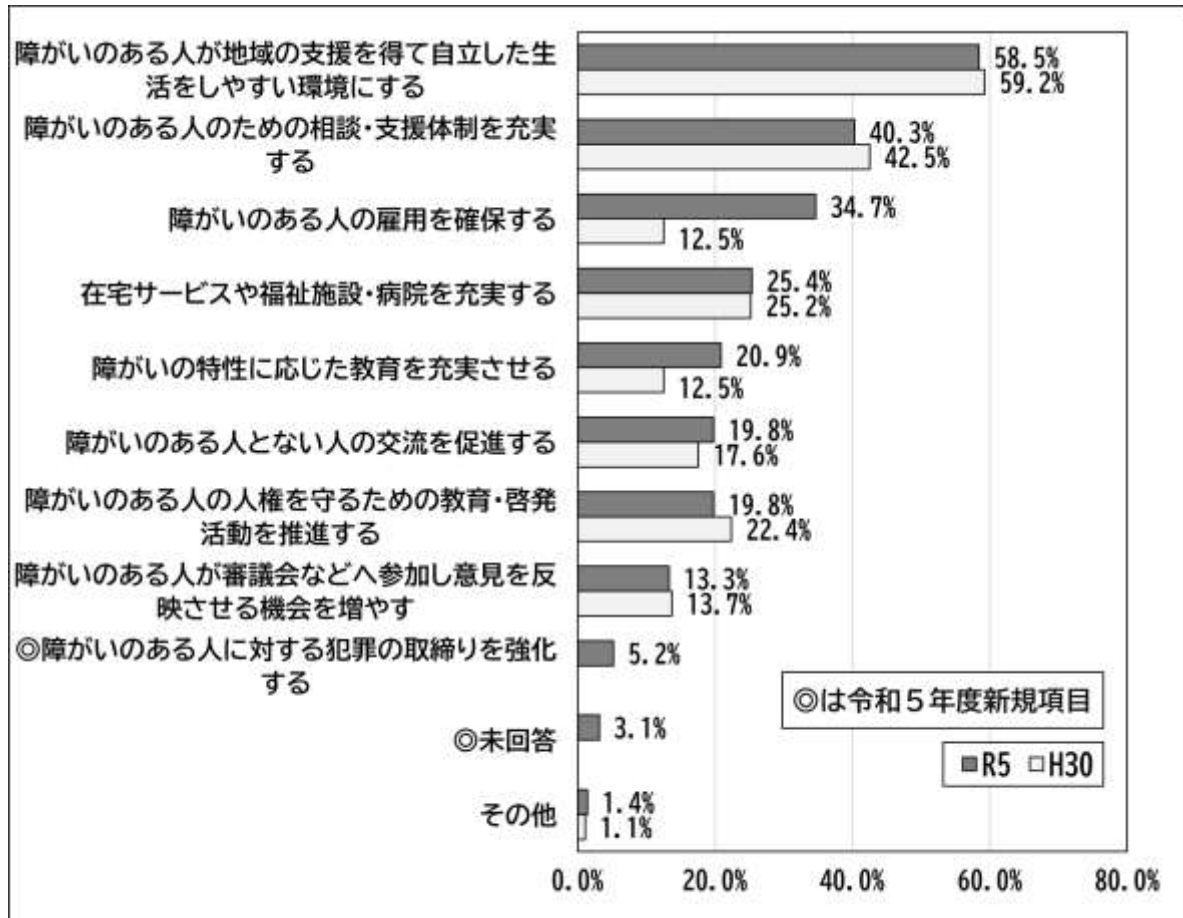
- ・ どんな障がいの人がいるのか社会全体的に知らない。なかなか知り得ないこと。知らないから、見た時びっくりしてしまったり、色々なことを想定した制度や町づくりをしづらいのでは。
- ・ 障がいによって違う。
- ・ 障がいだからと言って、色々な事であたり前にゆうぐうすれば、障がいでもない人も、よわい人はゆうぐうされる国であつたらと思います。



問.26

あなたは、障がいのある人の人権を守るためには、どのようなことが必要だと思いますか。
(3 つ以内で選択してください)

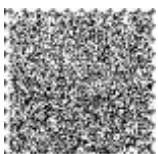
n=828



今回の調査結果では、「障がいのある人が地域の支援を得て自立した生活をしやすい環境にする」が58.5%で、前回調査結果を0.7%下回っていましたが、全体では最も高い割合を占めています。新たに追加した「障がいのある人に対する犯罪の取締りを強化する」は「未回答」「その他」を除き最も低い割合でした。

その他の意見

- ・ どんな障がいの方がいて、これから生まれる/自分の身に起こりうるのか？皆が情報にアクセスして網羅しやすくなると良いと思う。
- ・ 障がいの種類、度数に対して企業はきめ細かくシステム化、マニュアル化を進め、健常者と分け隔てなく働ける環境作りを。
- ・ 全問に該当する。
- ・ 割引サービスの充実

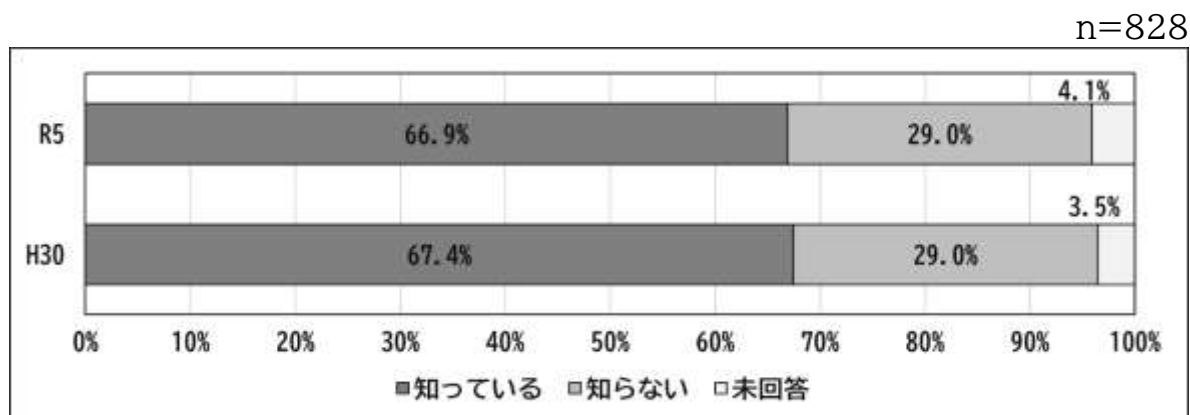


7 同和問題について

問.27

あなたは、日本社会の歴史的過程で形作られた身分差別により、同和地区と呼ばれる地域の出身であることなどを理由に、日常生活の上で差別を受けたりするなどしている、日本固有の人権問題である部落差別(同和問題)を知っていますか。

(1つ選択してください)



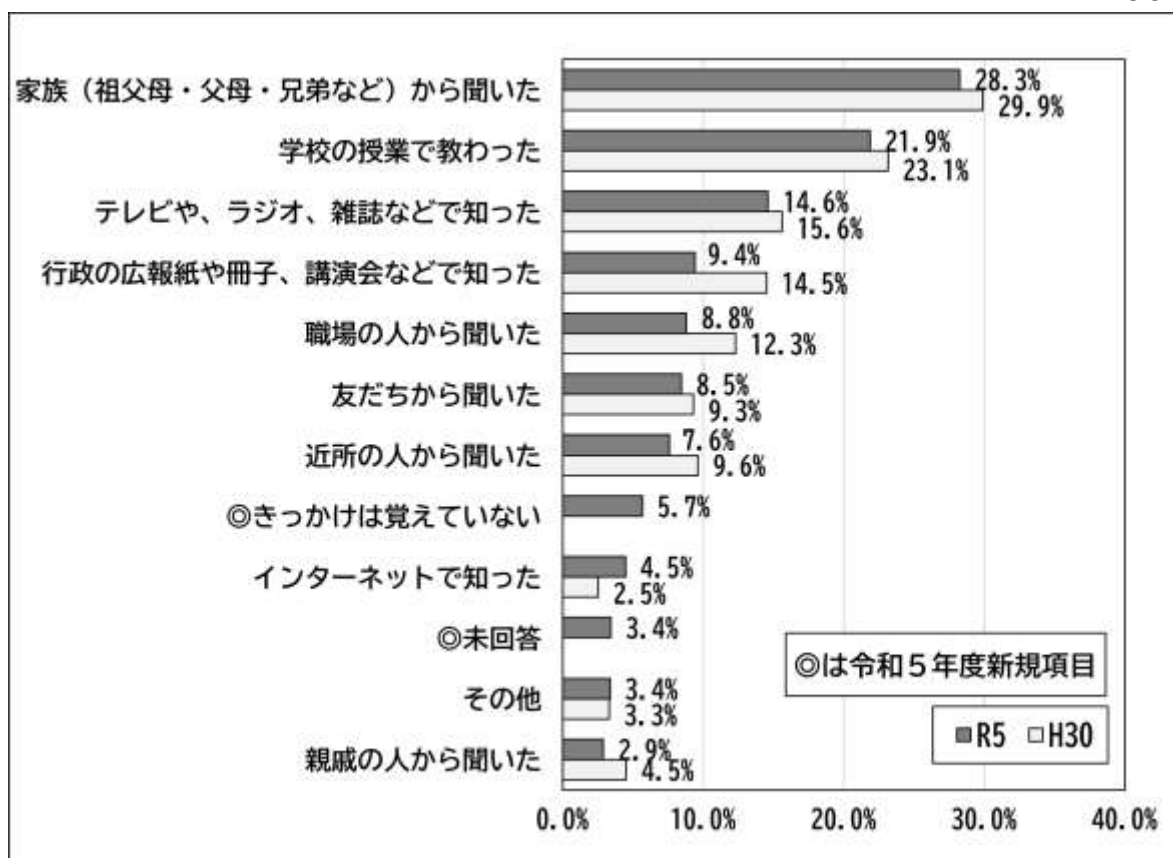
今回の調査結果では、「知っている」が66.9%で、前回調査結果を0.5%下回り、「知らない」が29.0%となっています。前回調査結果との比較では、大きな変化は見られませんでした。



問.28

問.27で「知っている」と回答した方は、それをどのようなきっかけで知りましたか。
(あてはまるものをすべて選択してください)

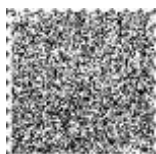
n=554



今回の調査結果では、「家族(祖父母、父母、兄弟など)から聞いた」が 28.3%で最も高い割合を占めています。全般的に前回調査結果を下回る中で「インターネットで知った」が2%上回りました。

その他の意見

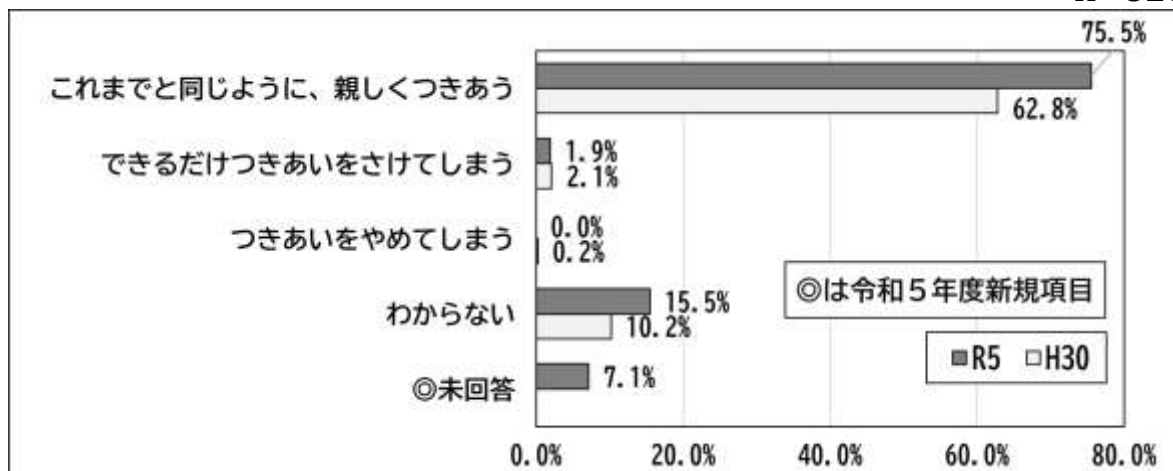
- ・ 埼玉の高等学校ビデオ授業で同和地区がある事をサラッと知りましたが、未だ、熟知しておらず、深く気に留めて生活していないので、人間性重視
- ・ 小説、破戒、橋のない川
- ・ 新潟にいる時に子供の学校行事で映画があるときそわれ何がなんだか分からずに見て帰り後に同和である事を夫から教えられ、初めて知った。
- ・ 保護者会の役員会
- ・ 本人から
- ・ 同和問題に関する業務を担当したことがある。



問. 29

あなたは、親しくつきあっている隣近所の人や友だちなどが、同和地区と呼ばれる地域の出身であるとわかった場合、どうすると思いますか。(1つ選択してください)

n=828



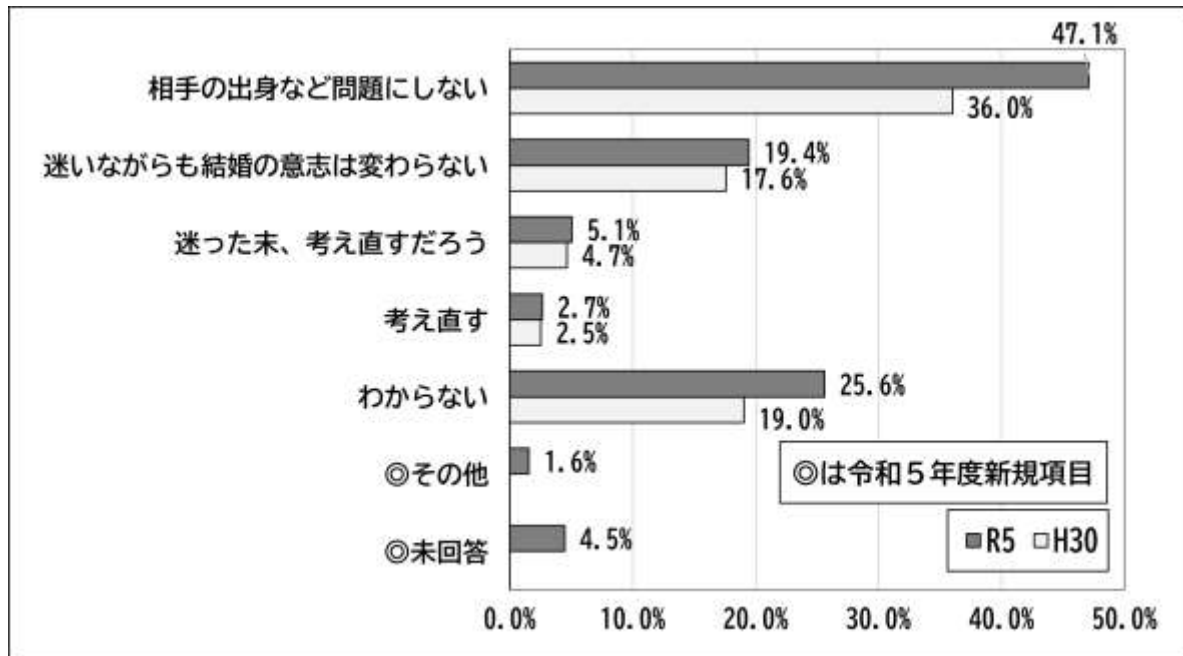
今回の調査結果では、「これまでと同じように、親しくつきあう」が 75.5%と最も高い割合を占め、次いで「できるだけつきあいをさけてしまう」が 1.9%、「つきあいをやめてしまう」は 0.0%となっています。なお「わからない」が 5.3%上回り 15.5%となっています。



問.30

もし仮に、あなたの結婚しようとする相手が同和地区と呼ばれる地域の出身であるとわかった時、あなたはどのように思いますか。(あてはまるものをすべて選択してください)

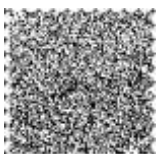
n=828



今回の調査結果では、「相手の出身など問題にしない」が 47.1%で半数近くを占めており、前回調査結果を 11.1%上回りました。次いで「わからない」が前回調査結果を 6.6%上回り、25.6%になっています。

その他の意見

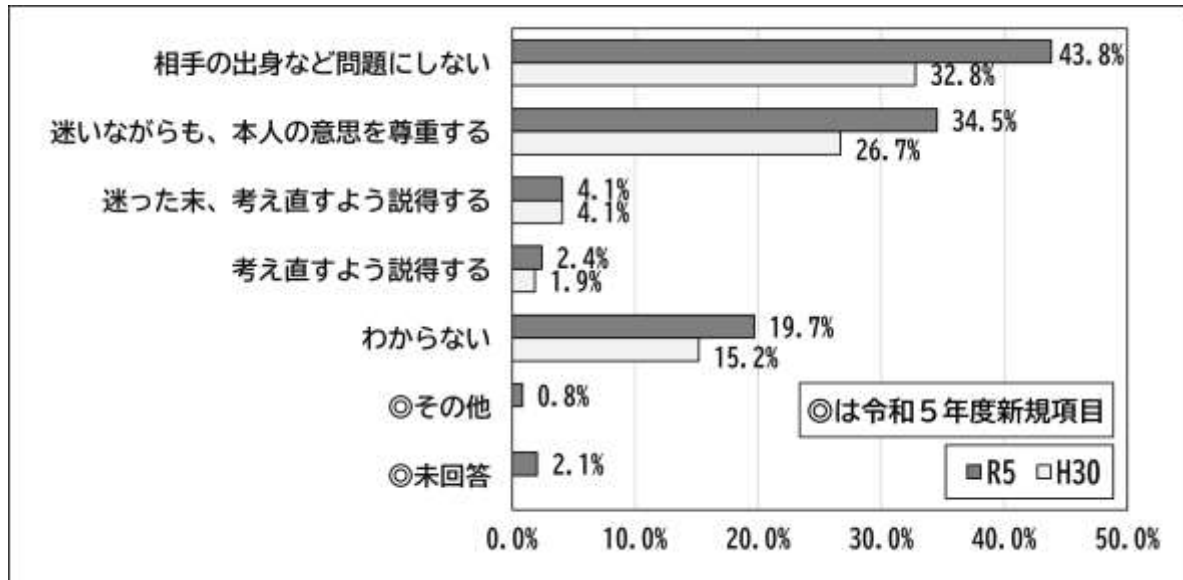
- ・ どれくらい好きかで変化
- ・ 自分自身の心は変わらなくても、自分以外の人の事(子等)も思慮すると思う。
- ・ 相手の出身など問題にしない、という気持ち。この問題について学び将来家族になるので親と相談し、皆で将来起こりうる問題や不安点についてもしっかり話し、皆で強い意志を持てるのか、1番大事な事を共通認識を持てるかを確認し、考える。きっとキレイ事では済まない問題点がたくさんあると思うので。
- ・ 古くからの家のため同和地区に関係なくある程度の家柄は家族や親せき等のことを考え悩むと思う。
- ・ そういう人権の問題ではなく、性格の問題だと思います。



問.31

もし仮に、あなたの家族(子ども、孫、きょうだい)の結婚しようとする相手が同和地区と呼ばれる地域の出身であるとわかった時に、あなたはどのような態度を取ると思いますか。(あてはまるものをすべて選択してください)

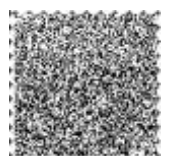
n=828



今回の調査結果では、「相手の出身など問題にしない」が 43.8%で最も高い割合を占め、前回調査結果を 11.0%、「迷いながらも、本人の意思を尊重する」が 7.8%、それぞれ上回っています。

その他の意見

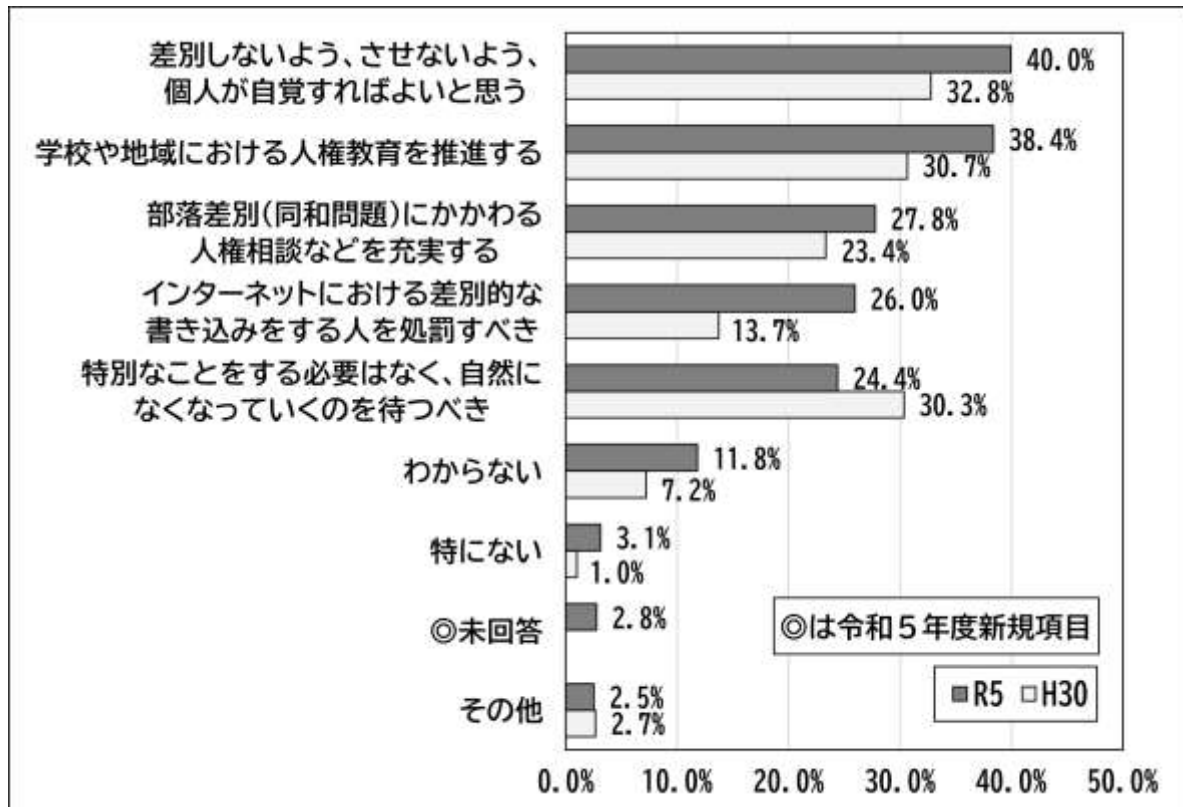
- ・ 今現在の同和とは、どんな事か内容がわからないので、なんとも言えない。今、現在、同和出身の人もみんなが、平等の立場であれば何も問題は無いと思います。
- ・ 本人同士のこと以上、以下のことでちょっとわかりません。そのこと自体もわかりません。
- ・ 本当の問題点がわからない。あおっているのはだれ。



問.32

部落差別(同和問題)の解決に向けて、どのようなことが必要だと思いますか。
(3 つ以内で選択してください)

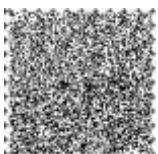
n=828



今回の調査結果では、「差別しないよう、させないよう、個人が自覚すればよいと思う」が40.0%で、前回調査結果を7.2%上回っています。「インターネットにおける差別的な書き込みをする人を処罰すべき」が前回調査結果の13.7%から26.0%に倍増傾向にあります。

その他の意見

- ・ 行政の方で問題にしないよう
- ・ そもそも長い歴史の中で、どうして部落差別(地区)になってしまったのか？学校の授業でも理解できず。
- ・ 現在では差別は見られない。
- ・ 知らない方が多くいます。必要以上にやりすぎも…と思う。学校教育の中で、人権教育をしっかりとやる事が大切かなと思う。
- ・ マスコミ等のつたえ方
- ・ 同和問題で困ったことが起きた人が、その経験を知ってもらい、伝えられる場面を増やす。



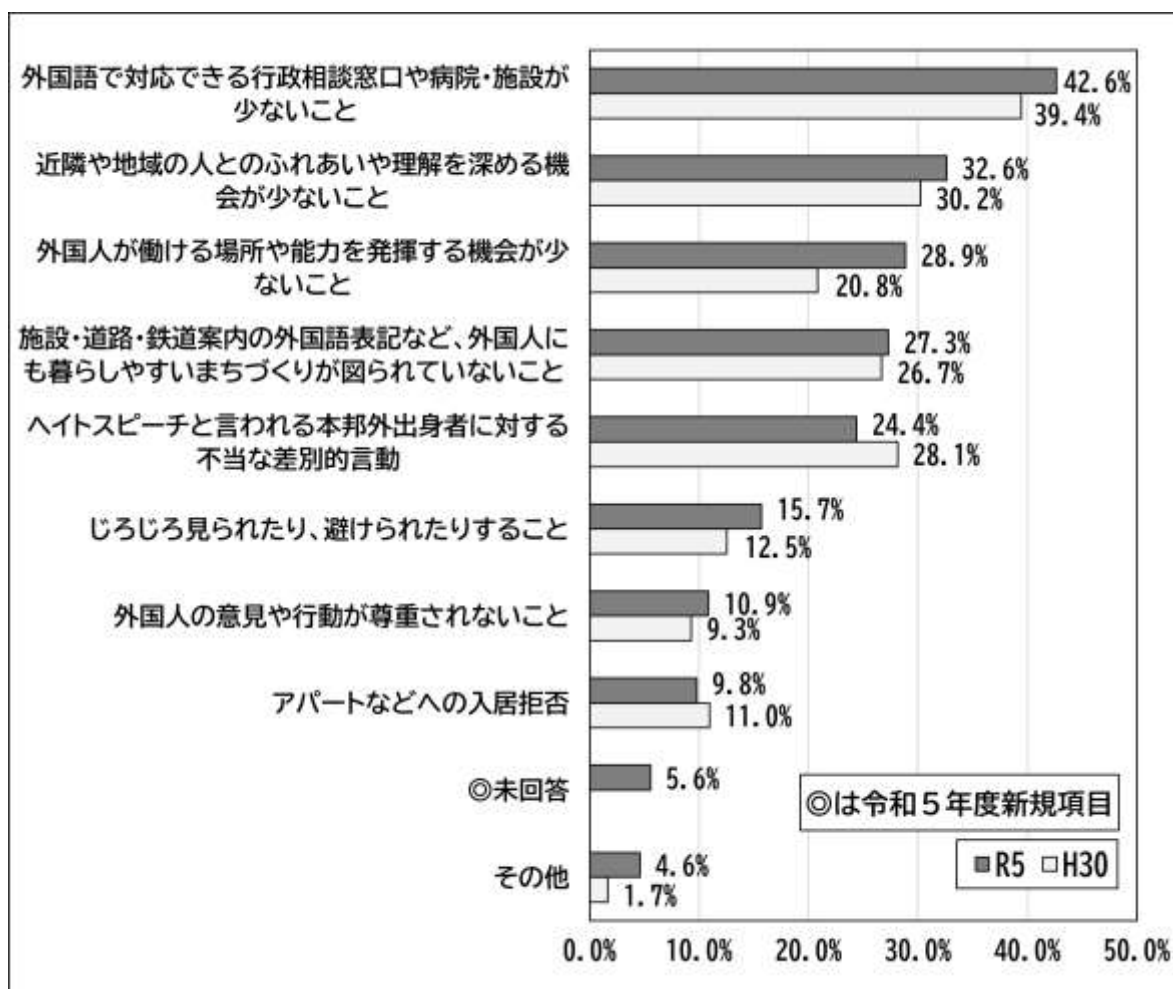
8 外国人の人権について

問.33

あなたは、外国人の人権に関することで、どのようなことが問題だと思いますか。

(3 つ以内で選択してください)

n=828



今回の調査結果では、「外国語で対応できる行政相談窓口や病院・施設が少ないこと」が42.6%で最も高い割合を占め、前回調査結果を3.2%上回っています。次いで「近隣や地域の人とのふれあいや理解を深める機会が少ないこと」が32.6%で2.4%、「外国人が働ける場所や能力を発揮する機会が少ないこと」が28.9%で8.1%、それぞれ前回調査結果を上回っています。

その他の意見

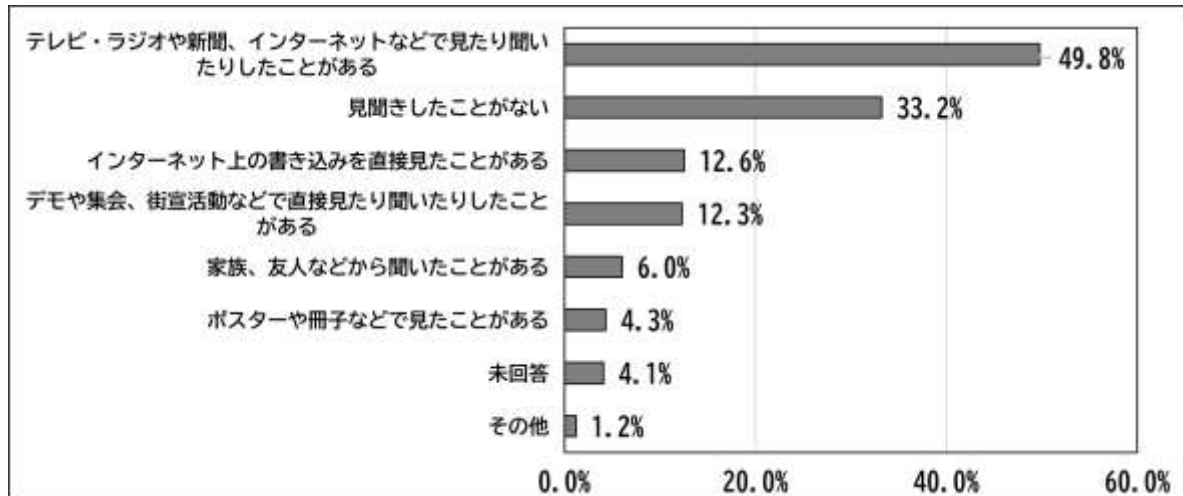
- ・ 行き過ぎた外国人への福祉サービス
- ・ 外国人の方も日本で暮らしているのだから日本での生活方式になれば。
- ・ ルールを守らない人も多いと感じる。こわさを感じる。
- ・ 外国人の方がどのような人なのかわからないので、普通に接する。
- ・ 外国人との交流場をもうける事が必要だと思います。



問.34【令和5年度新規質問事項】

あなたは、ヘイトスピーチと言われる本邦外出身者に対する不当な差別的言動を見聞きしたことはありますか。(あてはまるものをすべて選択してください)

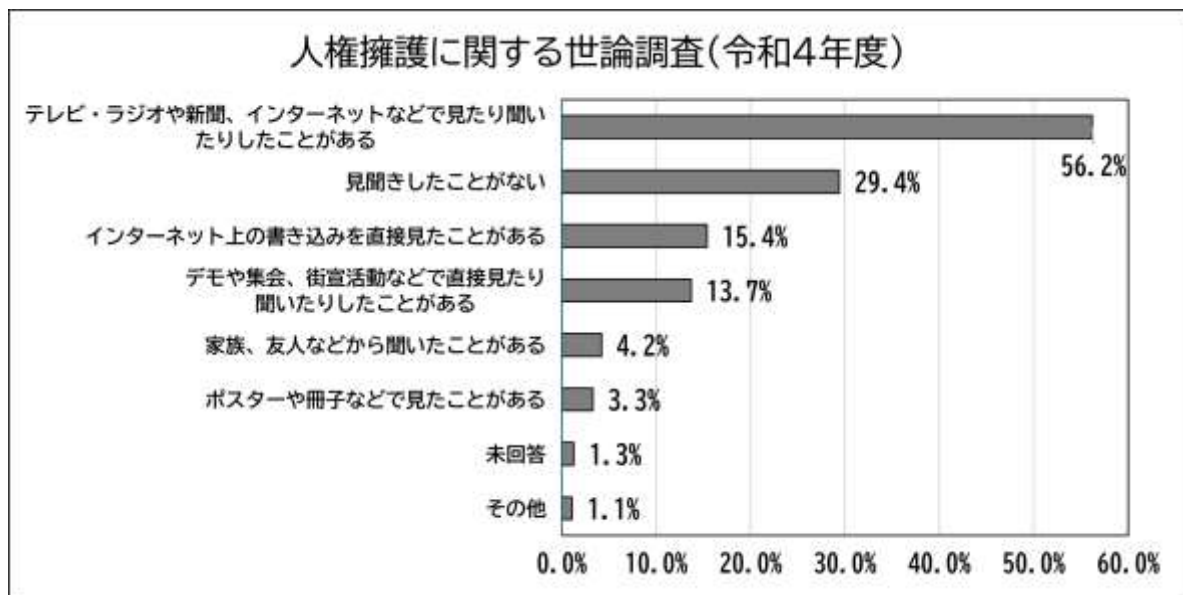
n=828



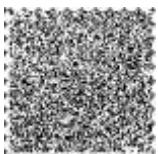
今回の調査結果では、「テレビ・ラジオや新聞、インターネットなどで見たり聞いたりしたことがある」が 49.8%で最も高い割合を占めました。次いで「見聞きしたことがない」が 33.2%でした。

その他の意見

- ・ 市内にはいない
- ・ 一度もない



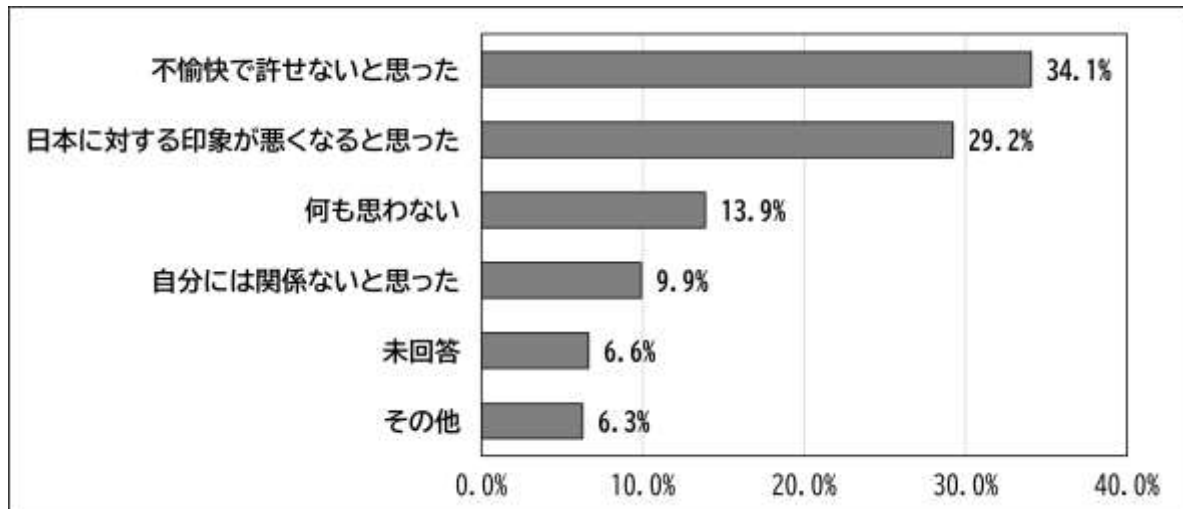
出典:内閣府 令和4年度人権擁護に関する世論調査
内閣府の「人権擁護に関する世論調査」の結果では、同じ質問に「テレビ・ラジオや新聞、インターネットなどで見たり聞いたりしたことがある」が 56.2%、「見聞きしたことがない」が 29.4%となっており、おおむね、今回の調査と一致しています。



問.35【令和5年度新規質問事項】

あなたは、ヘイトスピーチについてどのように思いますか。(1つ選択してください)

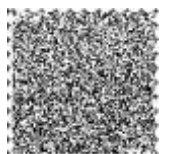
n=828



今回の調査結果では、「不快で許せないと思った」が 34.1%で最も高い割合を占めました。次いで「日本に対する印象が悪くなると思った」が 29.2%でした。

その他の意見

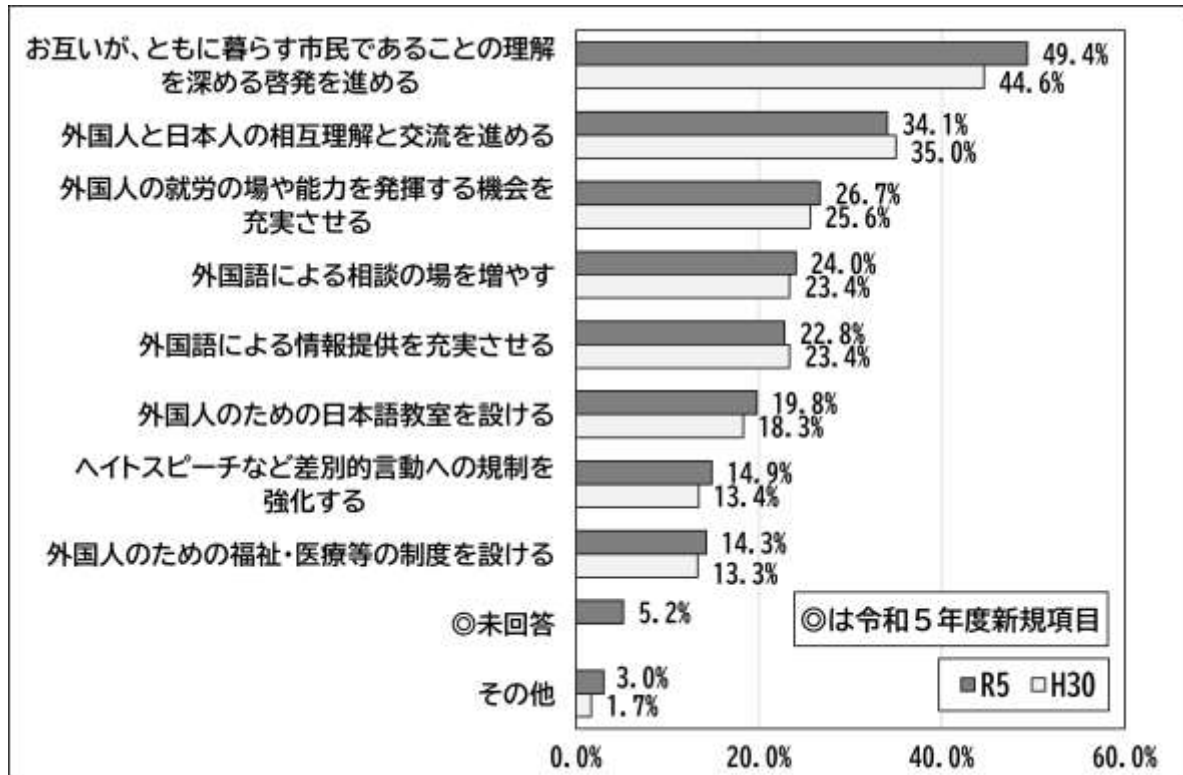
- ・ 不快で、集団を扇動したり、本人に直接酷い言葉を投げかけたりすることは絶対許されないが、対象となる人が絶対にいない(家庭内など)状況で偏見を口にしたり、自分の頭の中で思ったりすることに関しては否定はできないと感じる。
- ・ 見聞きしたことがないためわからない。
- ・ ヘイトスピーチがよくわからない。
- ・ 言論弾圧につながりかねないと思う。
- ・ ヘイトスピーチを行う人が、何故そのような行動をするのか知りたい。
- ・ 相手の事を何も知らない人がする事。



問.36

あなたは、外国人の人権を守るためには、どのようなことが必要だと思いますか。
(3 つ以内で選択してください)

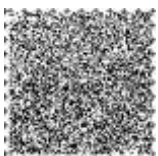
n=828



今回の調査結果では、「お互いが、ともに暮らす市民であることの理解を深める啓発を進める」が 49.4%で最も高い割合を占め、前回調査を 4.9%上回りました。次いで「外国人と日本人の相互理解と交流を進める」が 34.1%となっています。

その他の意見

- ・ 日本の法律を守ってもらうことの意識の向上
- ・ 外国人を差別するつもりはないけれど、外国人の犯罪が多くなっているのも、あまり日本で暮らしてほしくないと思ってしまう。何度か外国人の人から、迷惑をかけられているから。
- ・ まず自分の意識を変える。
- ・ 日本の常識(夜は騒がない事)を理解して生活する。



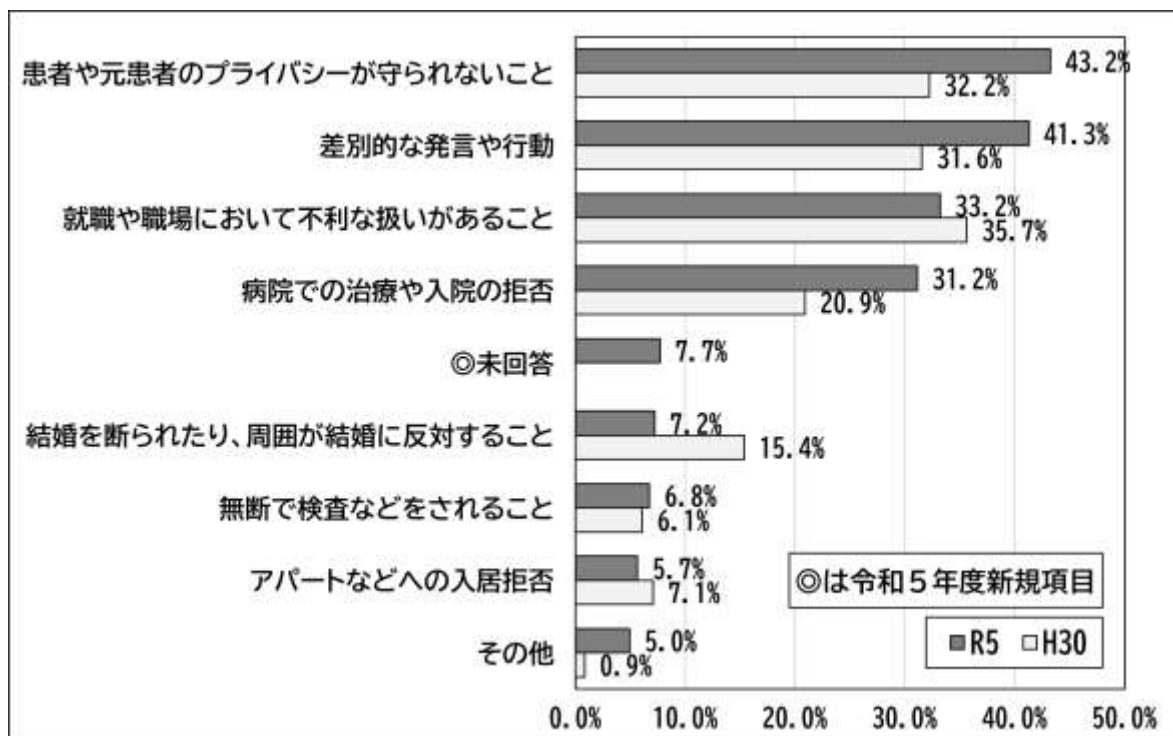
9 感染症に関する人権について

問.37

あなたは、感染症に関する人権について、どのようなことが問題だと思いますか。

(3 つ以内で選択してください)

n=828



前回調査結果では、「就職や職場において不利な扱いがあること」が35.7%で最も高い割合を占めておりましたが、今回の調査結果では、「患者や元患者のプライバシーが守られないこと」が43.2%で最も高い割合を占めています。

その他の意見

- ・ 特に人権問題を感じない。
- ・ どのような問題が実際あるのかよくわかりません。
- ・ 正しい知識を広めていないこと。
- ・ 感染症の人は他の人に感染しないような状況におかれてもしかたないと思う。
- ・ 過ぎる不安をなくすこと。

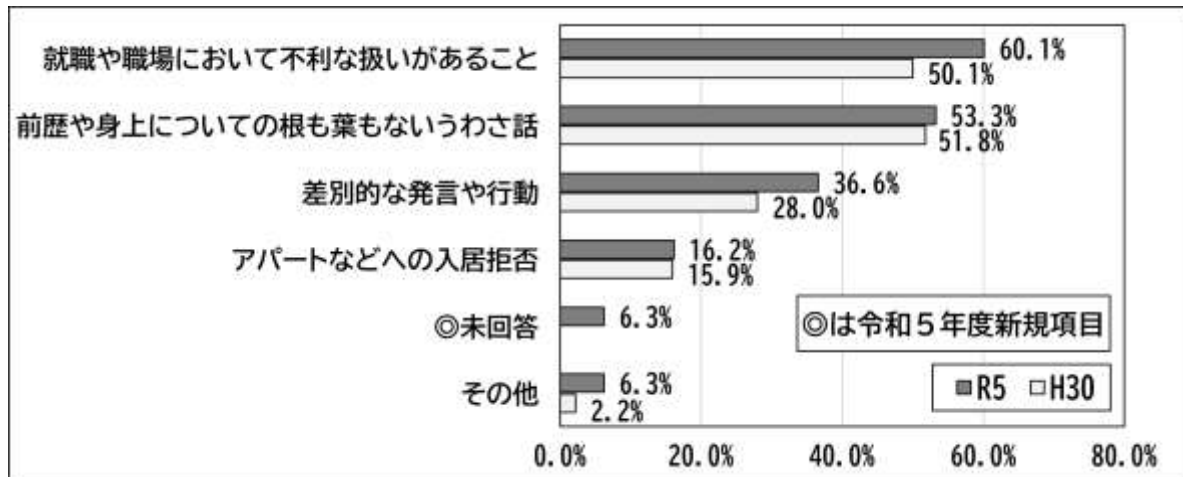


10 刑を終えて出所した人の人権について

問.38

あなたは、刑を終えて出所した人の人権に関することで、どのようなことが問題だと思いますか。(3 つ以内で選択してください)

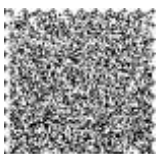
n=828



前回調査結果では、「前歴や身上についての根も葉もないうわさ話」が 51.8%で最も高い割合を占めておりましたが、今回の調査結果では、「就職や職場において不利な扱いがあること」が 60.1%で最も高い割合を占めています。

その他の意見

- ・ 例えば、社会になじめなかったことが犯罪につながる大きな要因だったのならば、刑を終えて更生したように見えたからといって再び同じように社会にその方を戻しても同じことが繰り返されてしまうと思うので、社会になじむことが難しくても例えば刑務所や少年院などでは上手くいっていたならばそこに近い環境の職場を作ったり、似た境遇の方が住む居住地を用意したり、などの選択肢が用意されると良いと思う。
- ・ 怖がることもしょうがないと思う。犯罪は怖いです。一言で人権についてはこの問題は言えません。
- ・ 刑を犯した人の罪の内容にもよるので難しい問題
- ・ 刑をおえて出所した人の人権も必要だと思うが、再発防止にどの様にてだてをしてくれているのか？子供をもつ人等は幼児愛者等、近くにすんでいる等、情報が必要。出所した人に再発させない為の工夫も必要だと思う。
- ・ 出所したこの人は絶対に安全だとまわりの人達に伝える事も必要だと思います。
- ・ 刑を終えた人とひとくりにされると何と答えていいかわかりません。悪人ならば不利な扱いをされても致し方ないと思う。やむにやまれず犯した人ならばしっかりと社会復帰にフォローがあるべき。
- ・ 性加害に関しては海外のようにGPSではなくても居場所の把握も必要。再犯率を下げる努力がまず第一。この再犯率が下がれば、出所後の対応もかわる。

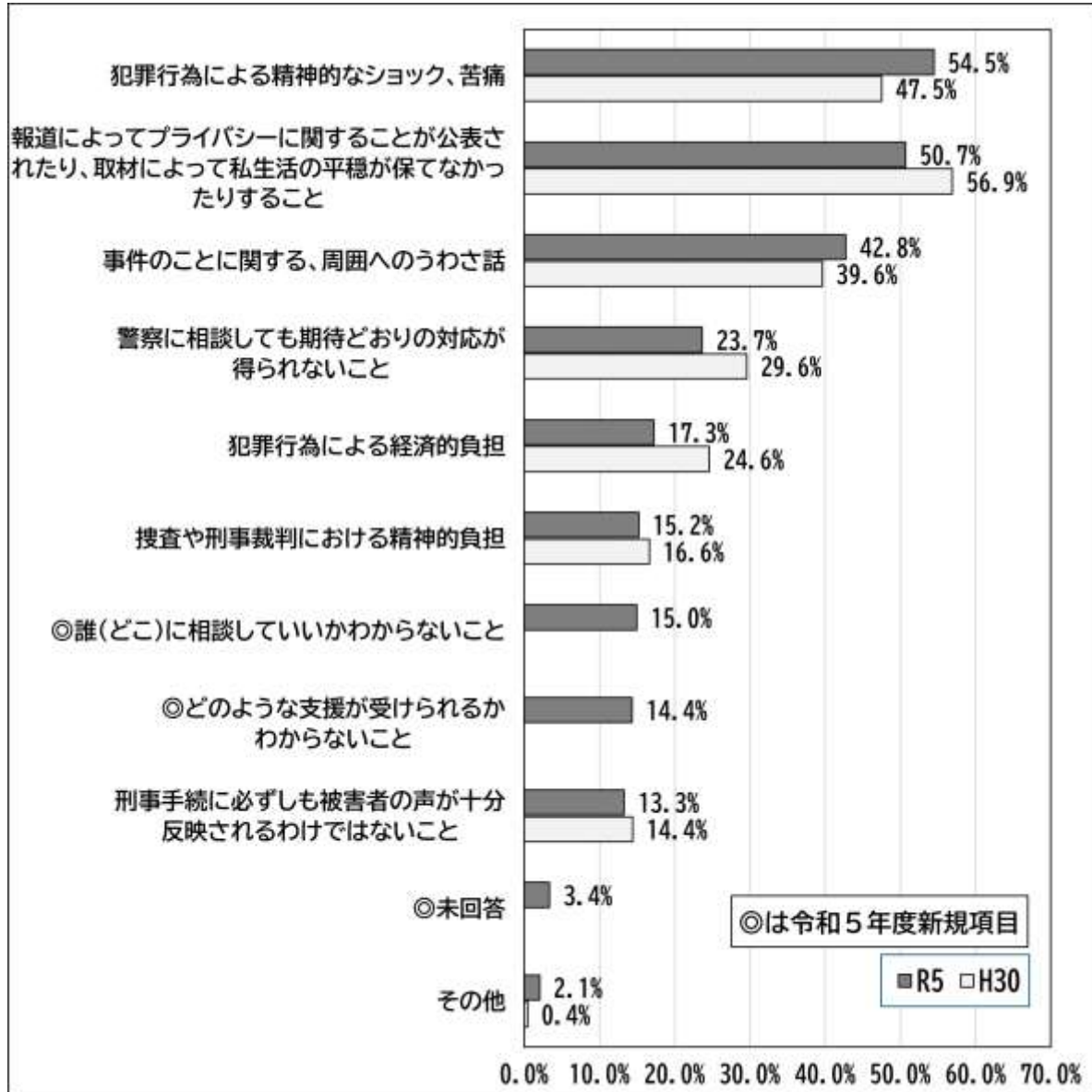


11 犯罪被害者などの人権について

問.39

あなたは、犯罪被害者やその家族の人権に関することで、どのようなことが問題だと思いますか。(3 つ以内で選択してください)

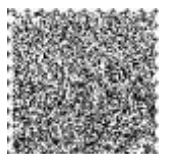
n=828



今回の調査結果では、「犯罪行為による精神的ショック、苦痛」が 54.5%で最も高い割合を占め、前回調査結果を 7.0%上回っています。なお、前回調査結果で最も高い割合を占めていた「報道によってプライバシーに関することが公表されたり、取材によって私生活の平穏が保てなくなる事」は 56.9%から 6.2%下回り 50.7%でした。

その他の意見

- ・ 加害者に甘い事(法律が)
- ・ ほとんど全てあてはまると思いますが…。

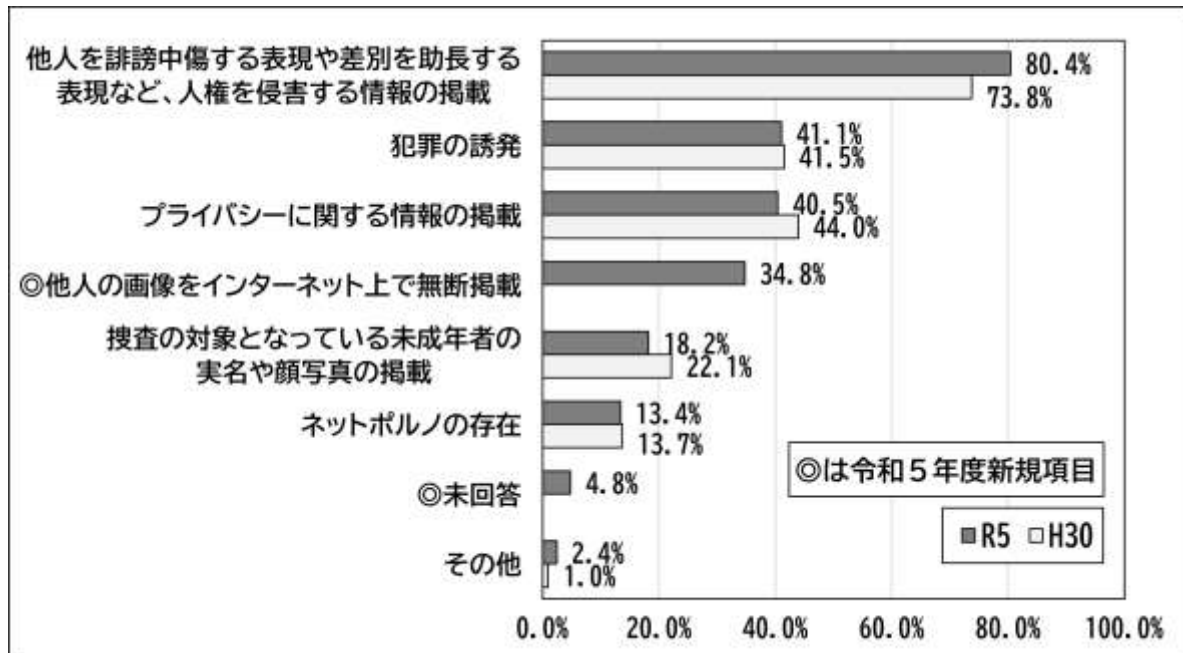


12 インターネットを利用した人権問題について

問.40

あなたは、インターネットを利用した人権問題について、どのようなことが問題だと思いますか。(3 つ以内で選択してください)

n=828



今回の調査結果では、「他人を誹謗中傷する表現や差別を助長する表現など、人権を侵害する情報の掲載」が前回同様最も多く、80.4%となっており、前回より 6.6%増加しています。

その他の意見

- ・ 誹謗中傷がえいえんにつづく。
- ・ 利用しない。
- ・ AI によるフェイク画像
- ・ 利用する人が「人権にふれている」と気づかず書きこんだり拡散していること。自分が問題の当事者であるという意識がないこと。
- ・ 匿名が許されていること。
- ・ すべて

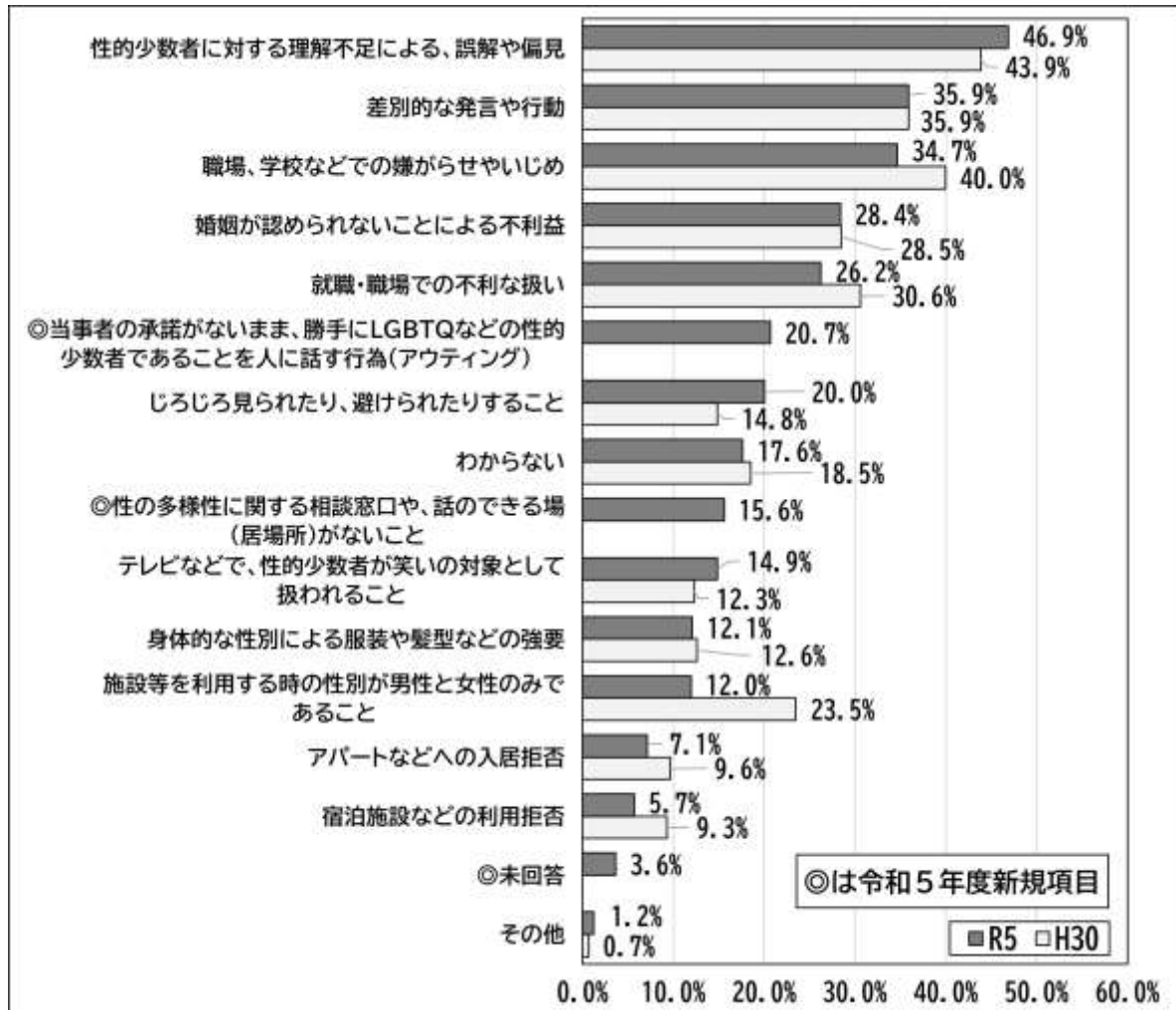


13 性的少数者の人権について

問.41

あなたは、LGBTQ などの性的少数者の人権に関することで、どのようなことが問題だと思いますか。(あてはまるものをすべて選択してください)

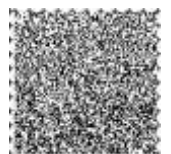
n=828



今回の調査結果では、「性的少数者に対する理解不足による、誤解や偏見」が46.9%で最も高い割合を占め、前回調査結果を3.0%上回っています。

その他の意見

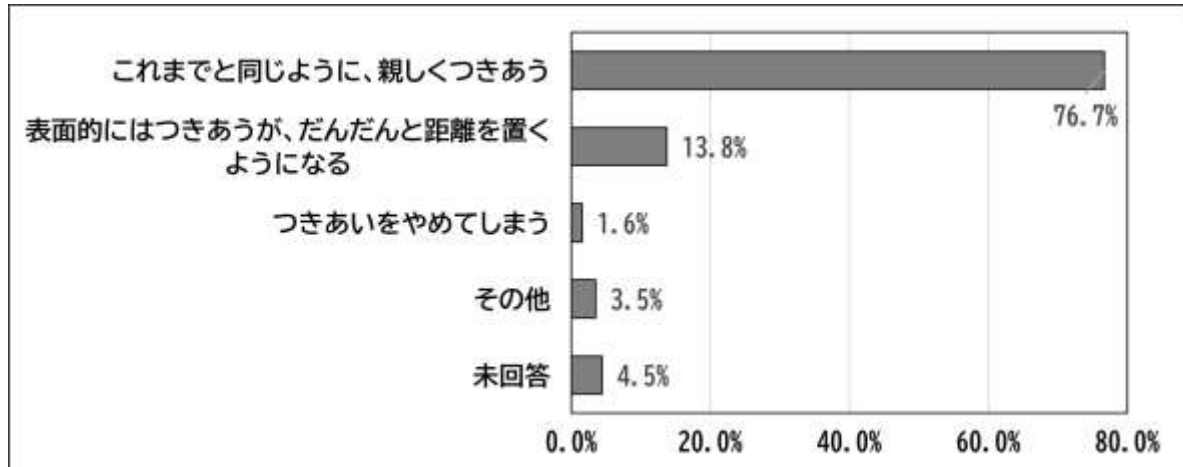
- ・ テレビ番組の情報ニュース番組での多数事件、事故、死亡事件
- ・ ファッション感覚でトランスジェンダーを公言し、一貫性の無い人間がいる事。生物学的な性別と心理的な性別を同位に議論している事。
- ・ 極々少数の人間のために血税を使いすぎ。いいかげんにしてもらいたい。
- ・ 性的少数者(当事者団体等)の幅広く、議論を尽くすべき。
- ・ 性的少数者と言われる人に会ったことがないため
- ・ 肉体的形象によって両性を区別する事
- ・ 身体的な性の人のみの利用が良い
- ・ 認知度が低い



問.42【令和5年度新規質問事項】

もし家族(親・子・配偶者など)、親しい知人、近隣住民、職場の同僚などが、性的少数者であることをあなたに告白した場合、あなたはどのように思いますか。(1つ選択してください)

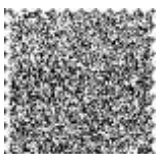
n=828



今回の調査結果では、「これまでと同じように、親しくつきあう」が 76.7%で最も高い割合を占め、次いで「表面的にはつきあうが、だんだんと距離を置くようになる」が 13.8%となっています。

その他の意見

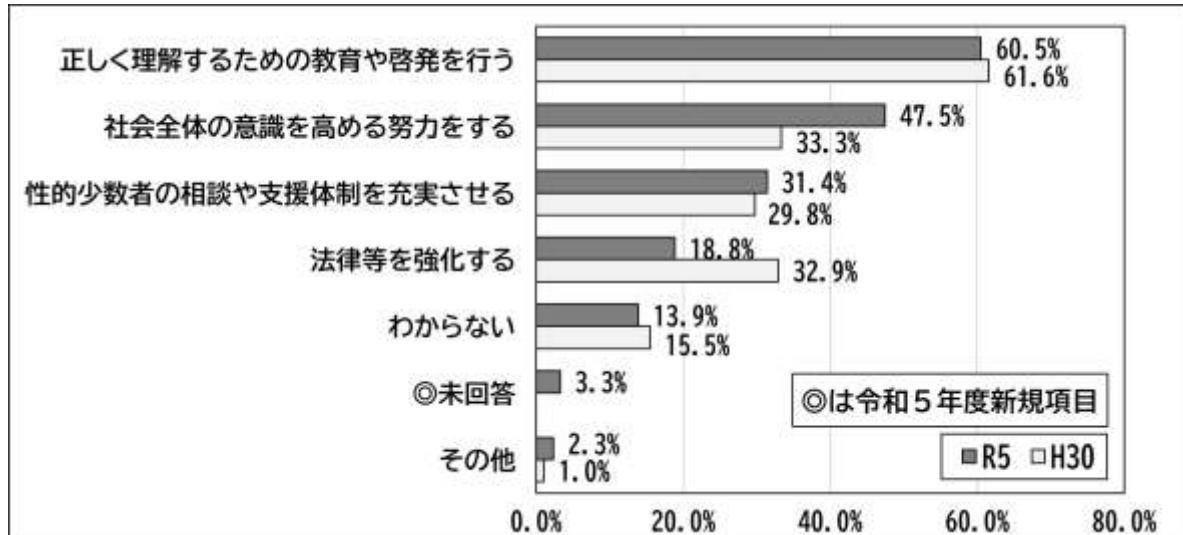
- ・ もし、家族から告白があった場合、どのように行動し、理解してよいか悩む。
- ・ その人との関係によると思います。
- ・ 相手の態度、行動に判断対応する。
- ・ 聞かない。
- ・ 自然の流れにまかせる。
- ・ その人との近しさによる。
- ・ これまでと同じようにつきあいたいですが接し方がわからなくなるかも。
- ・ 戸惑うが付き合うと思う。



問.43

あなたは、LGBTQ などの性的少数者の人権を守るためには、どのようなことが必要だと思いますか。(3 つ以内で選択してください)

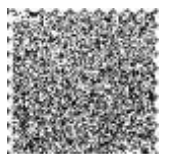
n=828



今回の調査結果では、「正しく理解するための教育や啓発を行う」が 60.5%で最も高い割合を占めていますが、前回調査結果を 1.1%下回っています。次いで「社会全体の意識を高める努力をする」が前回調査結果より 14.2%上回り 47.5%になっています。

その他の意見

- ・ LGBT 法は廃案すべき。逆に性的犯罪が増える。日本国は、そもそも性的少数者に対して寛容である民族。
- ・ 教育が必要だけれど LGBTQ の人たち自身もたとえばトイレの共有等に LGBTQ の人たちに対して LGBTQ 以外の人たちも恐怖心を持っていることを理解する必要もあり、お互いの立場を考えることが大切。
- ・ 特に必要ない。
- ・ 法律とかおしつけがましくではなく自然にいれればいいのでは。
- ・ 性的多数者の人権も守られる社会がないと建設的な話し合いも無理であると思う。

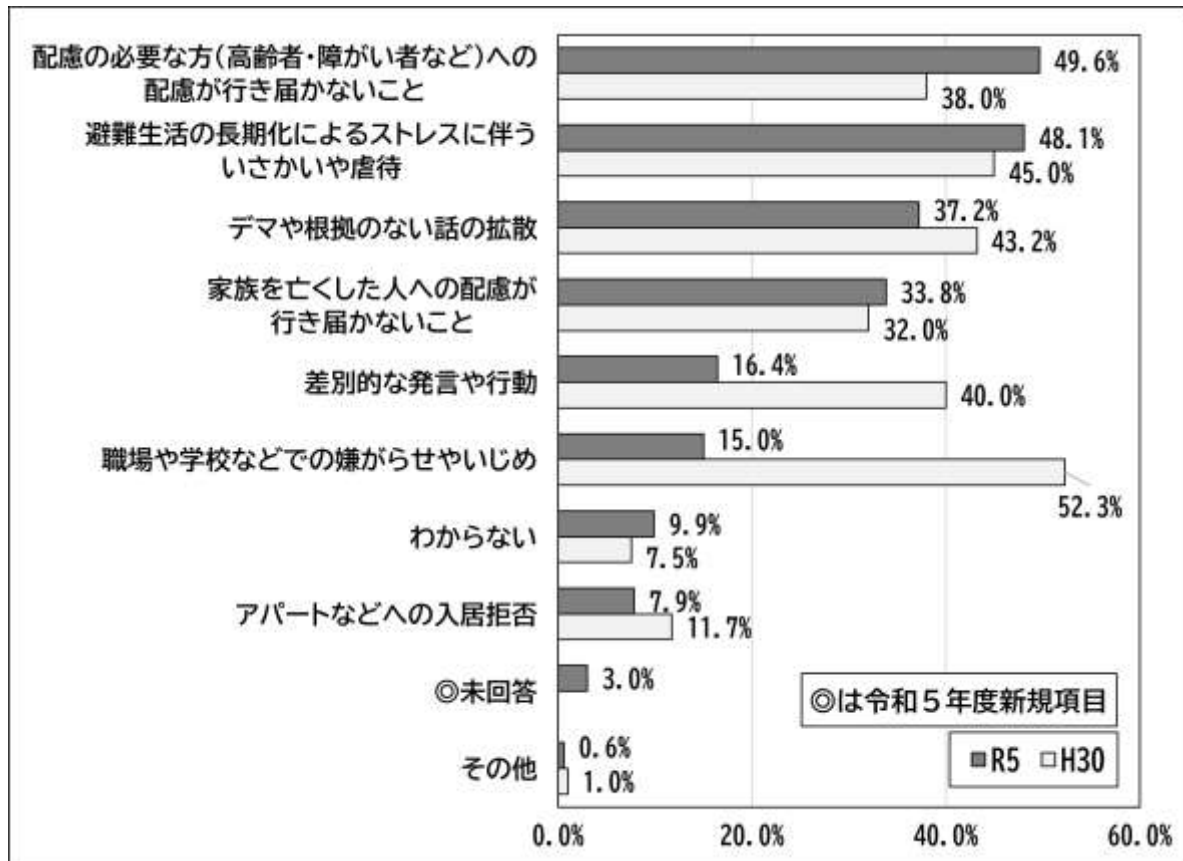


14 災害に起因する人権問題について

問.44

あなたは、地震や集中豪雨などの自然災害により被災した方について、どのような人権問題が起きていると思いますか。(あてはまるものをすべて選択してください)

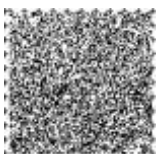
n=828



今回の調査結果では、「配慮が必要な方(高齢者・障がい者など)への配慮が行き届かないこと」が 49.6%で最も高い割合を占め、前回調査結果を 11.6%上回っています。なお、前回調査結果で最も高い割合を占めていた「職場や学校などでの嫌がらせやいじめ」は 52.3%から 37.3%下回り 15.0%でした。

その他の意見

- ・ 一時期は大変な思いをします。しかし、その後の行政のバックアップにより、前より良い生活をしています。
- ・ 明日は我が身を知らない阿呆がいる現実



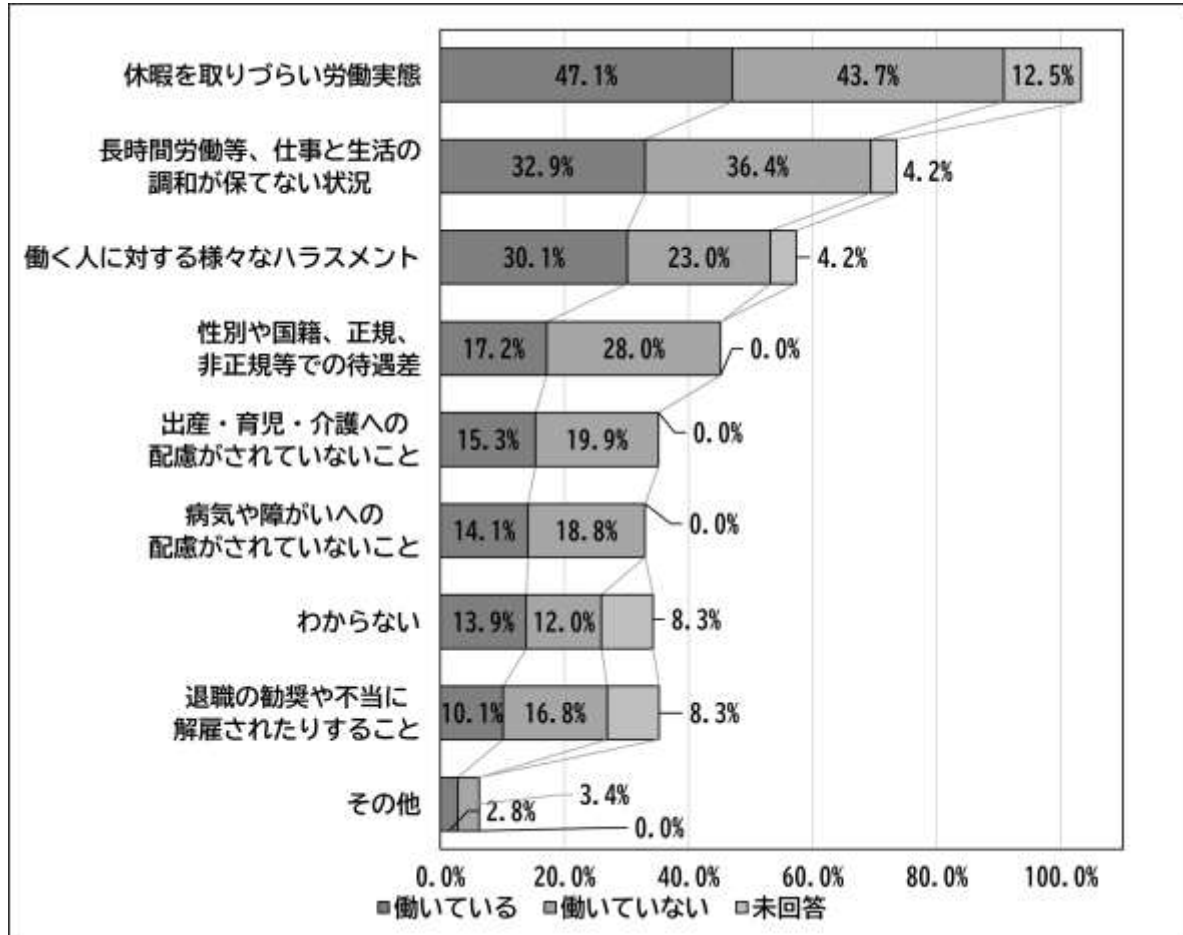
15 働く人の人権について

問.45【令和5年度新規質問事項】

働く人の人権について、どのような問題があると思いますか。

(3つ以内で選択してください)

n=828

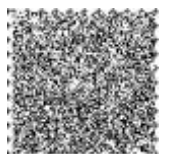


今回の調査結果では、働いている、働いていないにかかわらず、回答の傾向は同様の割合を示しています。

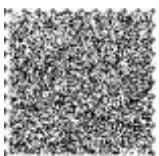
「休暇を取りづらい労働実態」、「長時間労働等、仕事と生活の調和が保てない状況」が、30%から40%台で多い傾向にあります。

その他の意見

- ・ 会社の考え方や体制が影響する。働いていた会社はしっかりした体制がくまれていた。(制度など)
- ・ カスタマーの要望が著しく高い上に支払いを極力少なくしようとするせいで、人件費が上げられずサービス残業が常態化し奴隷のような働き方を強いられている人が多い。
- ・ きちんと賃金のしはらい、きちんと働いている人達と、てき当に働いている人達の賃金と同じ事がいけないと思います。
- ・ カスタマーハラスメント
- ・ 給与が低い。保障があまりされていない。



- ・ 高齢者の低賃金
- ・ しっかり会社側が見てほしいです。
- ・ シルバー人材で働いているが(私 76 才)十分に話を聞いてもらっていないので働きづらいです。
- ・ 立場によって仕事と過去につけたパワハラ。けっきょく要領のいい人がいい思いをする。
- ・ 人間関係
- ・ 働く人の意見が中々届きにくい。
- ・ 非常に良い環境で働かせてもらっているので、人権なんて考えたこともない。
- ・ 病院キムでコロナ対応をして感染しても有休を使って休まなければならないこと。
- ・ 満足しています。
- ・ 自営業のため、自分で決めるしかありません。
- ・ 日本人特有の同調圧力



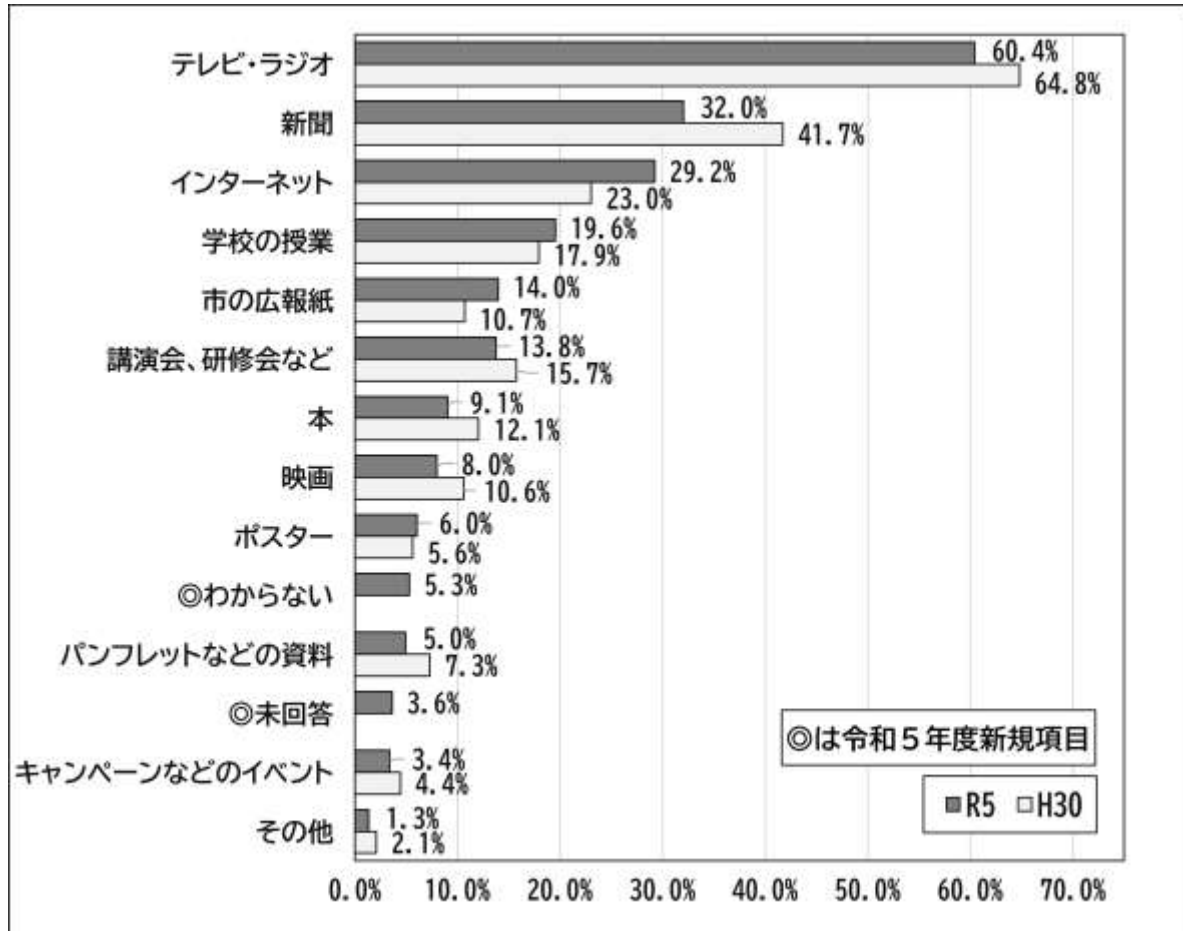
16 人権問題の解決のための方策について

問.46

あなたは、これまで人権問題に関する知識や情報を何から得ましたか。

(3 つ以内で選択してください)

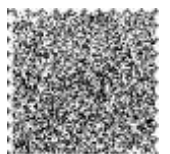
n=828



今回の調査結果では、「テレビ・ラジオ」が 60.4%、「新聞」が 32.0%、「インターネット」が 29.2%で上位を占めています。テレビ・ラジオ、新聞は前回調査結果を下回り、インターネットが上回っています。

その他の意見

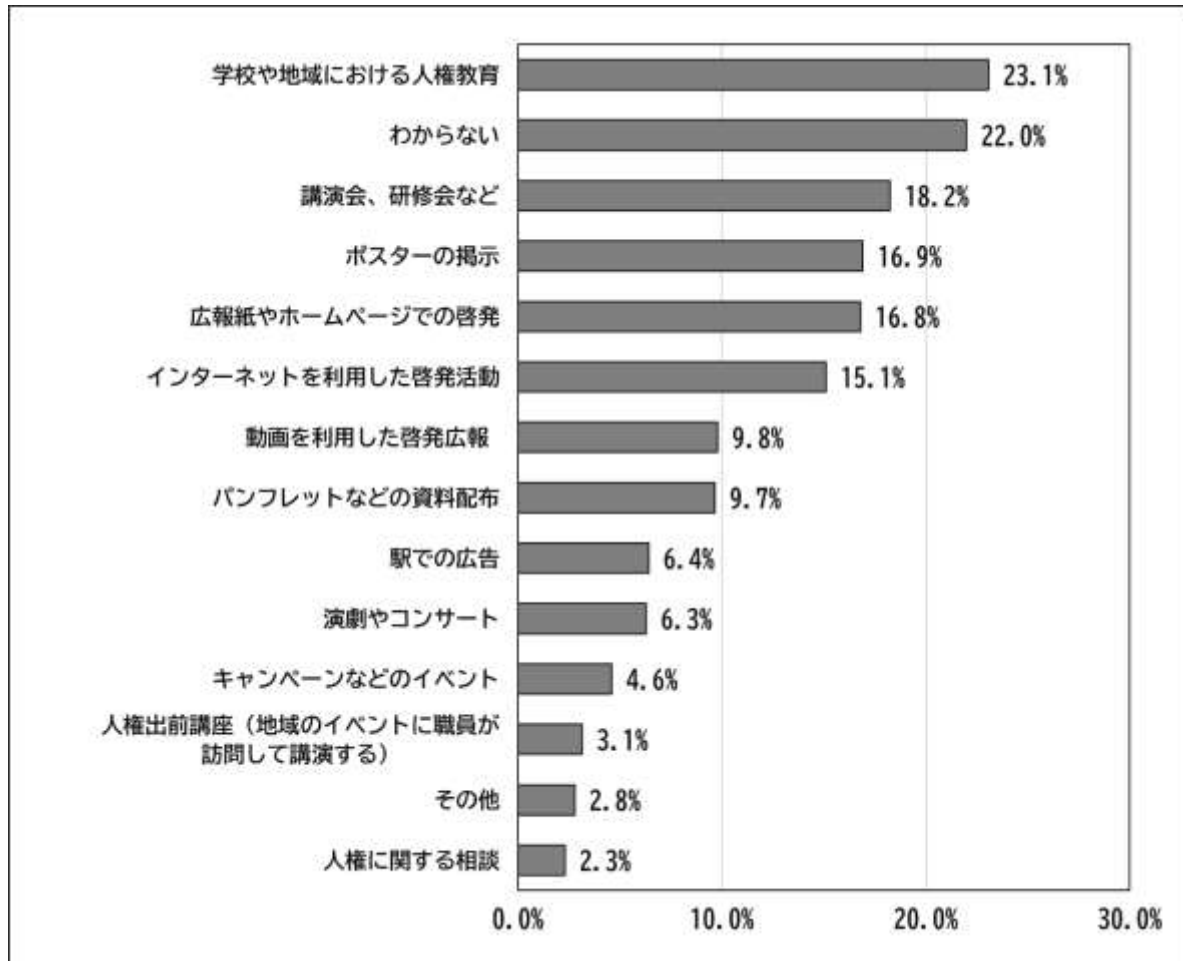
- ・ 今のところ何もない 勉強したいと思う。
- ・ 人権問題を色々と考えた事ありません。
- ・ 家族や知り合い
- ・ 会社での教育



問.47【令和5年度新規質問事項】

人権についての理解を深めていただくために行われている取組のうち、あなたが見た、または参加したことがあるものはどれですか。(3 つ以内で選択してください)

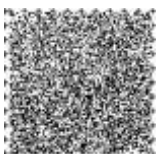
n=828



今回の調査結果では、「学校や地域における人権教育」が 23.1%で、最も高い割合を占めています。次に多いのは、「わからない」の 22.0%、「講演会、研修会など」の 18.2%となっています。

その他の意見

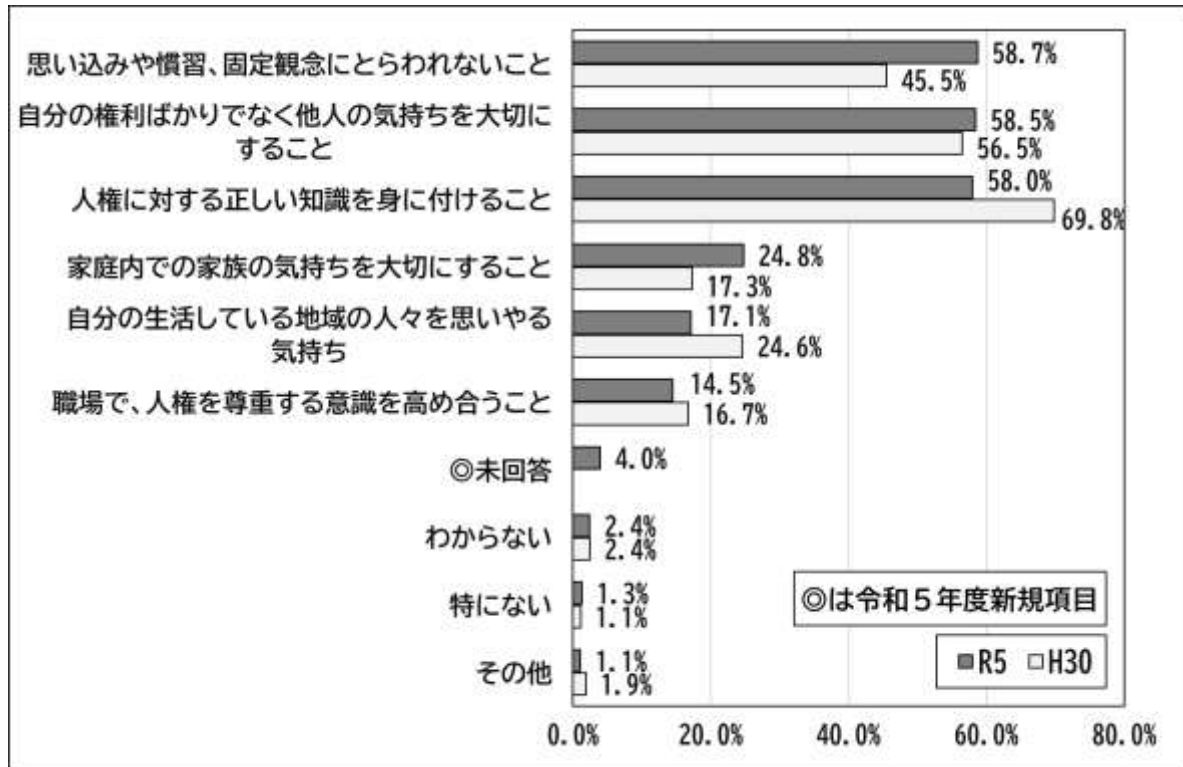
- ・ トイレに TELNo.が書いてある紙があった。(相談の)
- ・ 仕事上でそういう方と話をしました。
- ・ いつどこでという明確な記憶はありません。
- ・ 特別にありません。
- ・ テレビ・新聞
- ・ 本で見て



問.48

あなたは、市民一人一人が、人権を尊重し合うために、心がけたり、行動すべきことはどのようなことだと思いますか。(3 つ以内で選択してください)

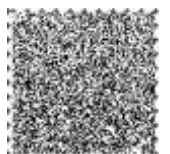
n=828

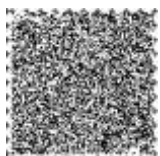


前回調査結果では、「人権に対する正しい知識を身につけること」が最も高い 69.8%でしたが、今回の調査結果では 58.0%で 11.8%下回り上から3番目となりました。最も高い割合を占めたのは、「思い込みや習慣、固定観念にとらわれないこと」が 58.7%で前回調査結果と比べ、13.2%上回りました。次いで「自分の権利ばかりでなく他人の気持ちを大切にすること」が 58.5%で前回調査結果より 2.0%上回りました。

その他の意見

- ・ 相手は人だと意識すること
- ・ 幼児からの教育と教育者の教育
- ・ 皆、生きている上で 上も下もないことを理解すること
- ・ ルールを守ること(例:ゴミを道にへいきで捨てる。ゴミ出しのルールを守らない)、挨拶をすること。
- ・ 自分自身が何かしら人権を尊重していない部分があることを発見するようにして、それを認めるようにすること。
- ・ 他の権利を侵害しない事。常識の教育(善悪)





Ⅲ 調査回答者の属性



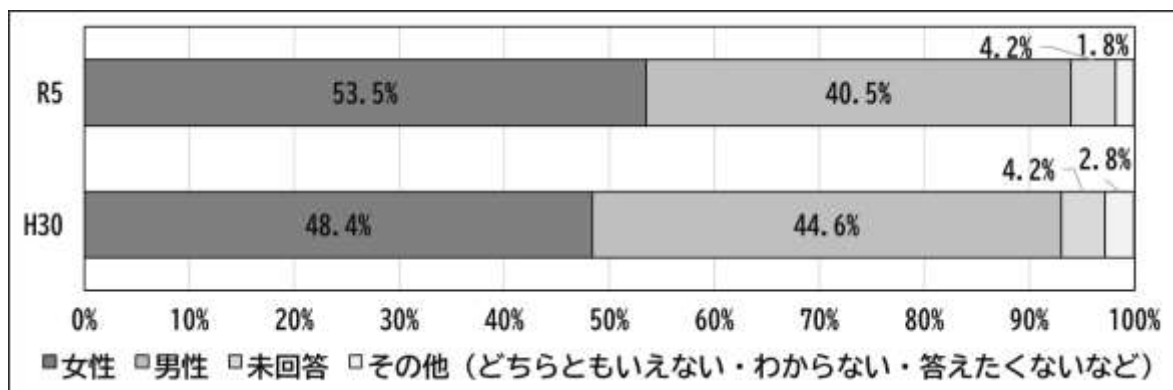


Ⅲ 調査回答者の属性等

問.49

あなたの性別を教えてください

n=828



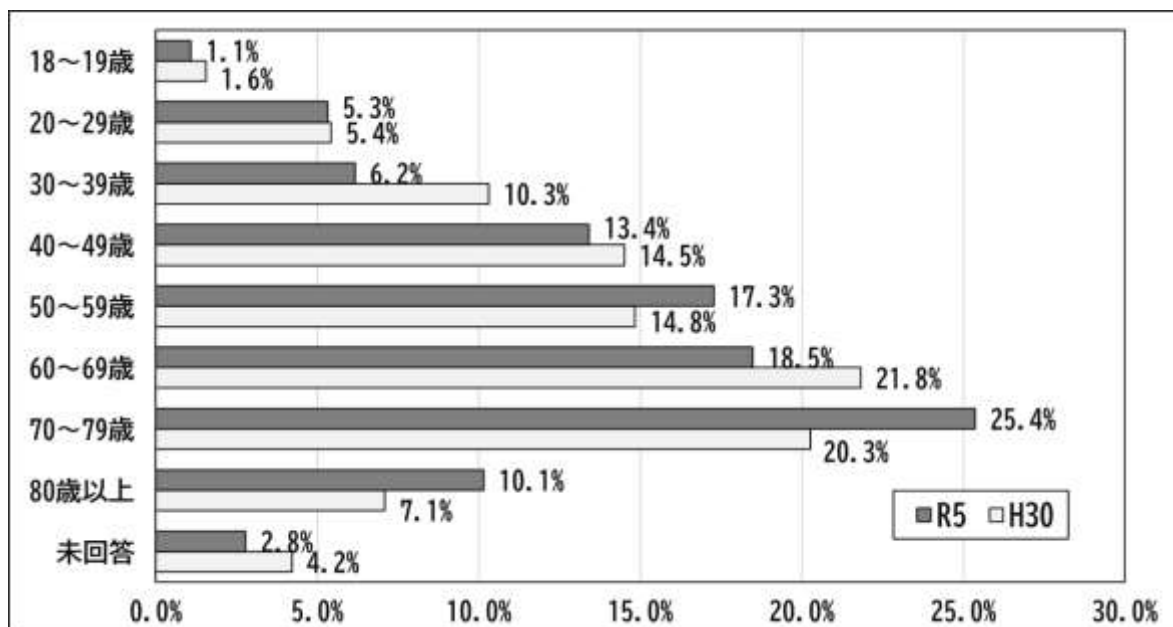
今回の調査結果では、女性 53.5%、男性 40.5%、前回の調査では女性 48.4%、男性 44.6%であり、女性回答者の比率の方がやや多いです。

なお、令和5年10月1日時点での野田市の18歳以上人口の男女構成では男性 50.0%、女性 50.0%であるため、やや女性の比率が高い調査となっております。

問.50

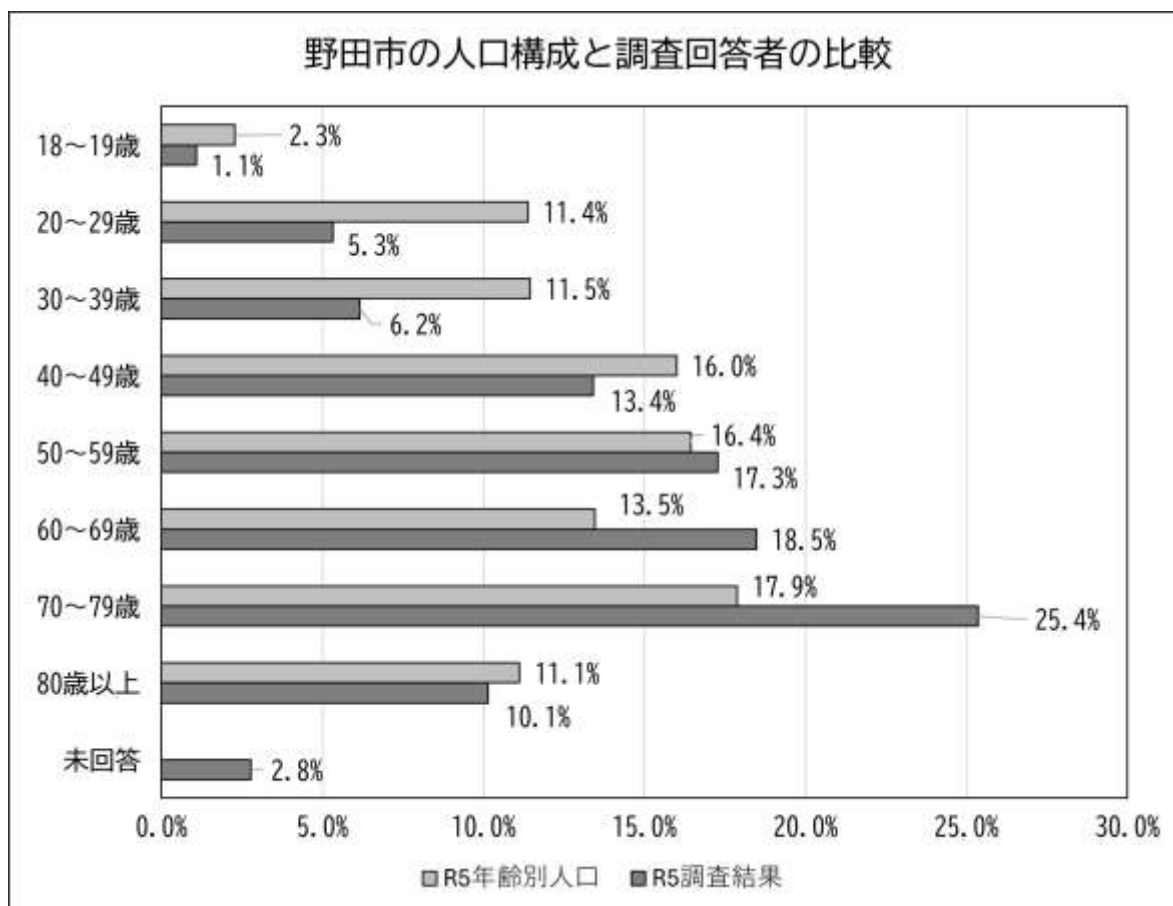
あなたの年齢を教えてください(令和5年10月1日現在の満年齢)

n=828

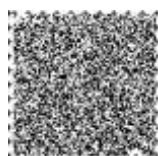


今回の調査結果では、「70～79 歳」が 25.4%で最も高い割合を占め、前回調査結果を 5.1%上回っています。なお、前回調査結果で最も高い割合を占めていた「60～69 歳」は 21.8%から 3.3%下回り 18.5%でしたが、今回の調査結果でも 2 番目に高い割合となりました。





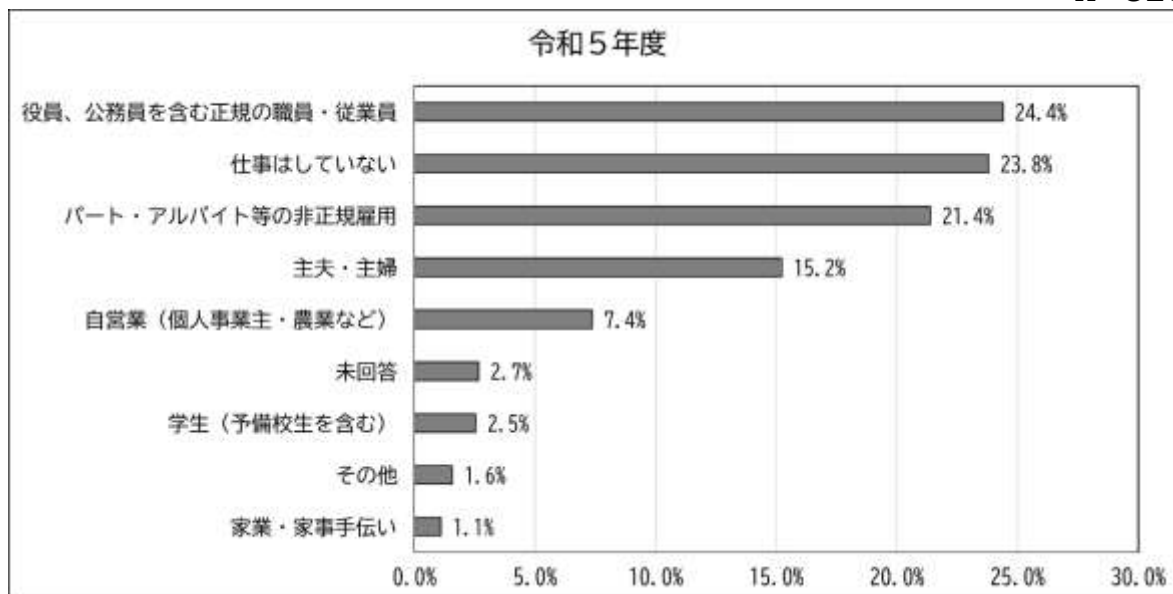
野田市の人口構成と調査回答者の年齢分布を比較すると、50歳から79歳までの回答者が人口構成と比較して多くなっています。



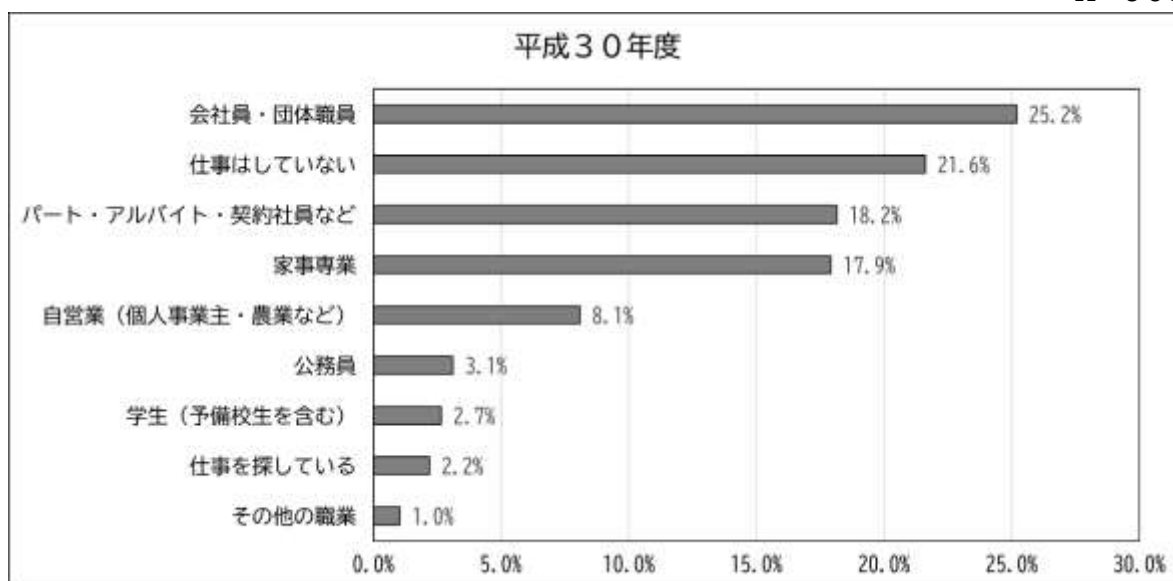
問.51

あなたの現在のご職業は。複数の職業をお持ちの方は、主な収入となる職業をお答えください。(1つ選択してください)

n=828



n=903



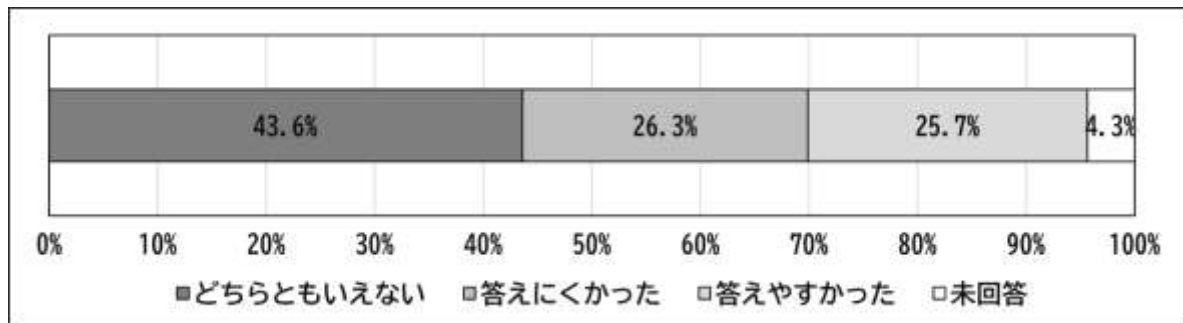
令和5年度、平成30年度ともに、正規雇用、無職、非正規雇用の順となっています。



問.52【令和5年度新規質問事項】

今回の調査の答えやすさはどうでしたか。(1つ選択してください)

n=828



今回の調査結果では「どちらともいえない」が 43.6%で最も高い割合を占めました。なお「答えにくかった」が 26.3%で、「答えやすかった」の 25.7%より 0.6%上回りました。

問.53

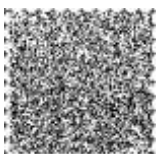
問.52でそう感じた理由を教えてください。(自由記述・原文のまま記載)

【どちらともいえない】

- ・ 知らない事、考えた事のない話題にふれたため。
- ・ 意味がわからなかった事があり、経験したこともなくどう答えていいかわからない。
- ・ 自分の考えと同一のものを正しく選ぶことは難しい。
- ・ 質問の選択で同じ様な内容文で迷った。
- ・ 同じ様なことをきいている。
- ・ 良く考えて回答しようとする、意味が同じようで大切に思えてしまい、まよってしまった。
- ・ 自分の全く知らない人権がありました。どの様な事なのか、詳細に記されていてほしかった。
- ・ わかりづらい部分があった。長すぎる。
- ・ 人権に特に考えることがなかった。
- ・ 質問の中で、分からない言葉があったから。
- ・ 判断できない問いもあった。三つにしばれないものもあった。同じような文章でどれにしていいいかわからない(微妙な違いがわからない事も！)

【答えにくかった】

- ・ 人権についてそこまで真剣に考えていなかった、数の多さに驚いてしまった。
- ・ 共感が出来ても、自分がその渦中に居ないし、今後も考えにくい。でも、差別はしない。
- ・ 当方の常識不足。

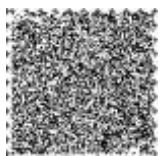


- ・ 知識が疎く問いの内容を深く理解できなかった為。
- ・ 説明文をもう少しわかりやすくしてほしい。
- ・ 選択肢に当てはまらない答えが多くあったため。
- ・ 難しく質問が分からなかったです。
- ・ 選択する事が3つ以内など、重要度を選べない。どれも問題とする事が多く列記されていてえらべ、というには無理がある。
- ・ 質問の数が多い。答えに迷うものもあった。
- ・ 当てはまる項目の選択肢が少ない。多様化に伴い様々な選択があって良いと思う。
- ・ 一概に言えない事だし、考えに近い物を選ぶのは、とても迷いました。

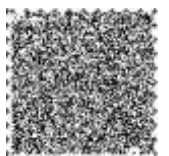
【答えやすかった】

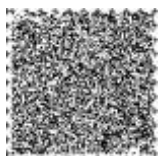
- ・ 人権を守るため、問題点が各項目ごとに詳しく書かれていて答えやすかった。
- ・ 問いがわかりやすかったのも。
- ・ 丸をつけるだけだったから。
- ・ 問いに対しての回答項目が多く答えやすかった。
- ・ 質問の回答が、細かく示されていたので、答えやすかった。
- ・ 回答項目が具体的に記されていたので答えやすかった。
- ・ 答えが豊富にあり選びやすかった。





IV 自由意見





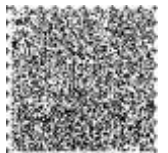
IV 自由意見

問.54

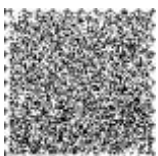
人権に関することについて、ご意見・ご感想などをご記入ください。

(抜粋:自由記述・原文のまま記載)

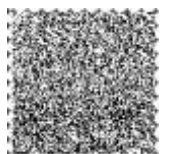
- ・ 思いやりの気持ちを持つ事が大事だと感じた。
- ・ 人権と一言で言っても様々な面があり、それぞれを正しく理解していくことは大変であると感じている。
- ・ アンケートに回答する中で、選択肢を見ながら考えさせられるきっかけになったので、市民全員がこのような何かしら考えさせられる機会に恵まれるといいなと思いました。(数年前に引っ越してきた者です)野田市は全体的にお店の方々や住人の方々の雰囲気が高く、個人的には近すぎず遠すぎず適度な距離感で接してくださるので住みやすいのですが、職場環境としては都内などに比べると人権にまつわるコンプライアンスの意識が低いと感じて働きにくかったので、そこが改善されれば本当に最高の街だなと思っています。
- ・ こういうアンケートを取るのはいいいことだとは思いますが、集計結果がきちんといかされるのか少し気になります。せっかくアーバンパークラインの高架が進んでいるのに、ホームドアを設置していないとか、予算もあるのでしょうが障がいのある方が通う学校があるのに配慮が足りないと思います。
- ・ 他人を思いやる気持ちをもって時どき自身を反省し、生きて行くことは、全ての事に良い結果をもたらすのではないかと思います。
- ・ 人権は、個人の感じ方次第なので、何が良くて、何が悪いと一つの意見ではまとまらないと思います。難しい問題ですが、教えないといけない問題ではあると思うので、もう少し現状を把握できればと思いました。
- ・ 人権は、世界中、人種間で解決しにくく、表面に出てきた LGBTQ などとは色々考えさせられる事があり、特に解答はむずかしい。



- ・ 人権尊重と言われているが、権利ばかり主張し、義務を果たさない人間が多くいる。利己的な人が多い中で、利他的な考えを持つ。人のためにという考えから相手に対する思いやりが生まれ、個性尊重にも発展するものと思う。物事的考え方にしても相手の立場に立ち、相手の立場に立った物の見方が必要である。個を思いやる心が人権尊重へ繋がると確信する。
- ・ 人権について、理解しているようで理解していないことが多いと考える。今後、いろいろな場面において勉強していこうと思う。又、これからの人生、家族を尊重し共に努力していければと考える。
- ・ 自分も含め、一人一人が生きやすい、暮らしやすい社会になっていけることを望みます。相手の立場に立って考え、多様性を受け入れることが出来るようになればいいと思います。
- ・ 人は皆平等には出来ないかも知れないが、そこに向かって動く事が重要。
- ・ これらのデータを集めて、何が変わるのかを知りたいです。
- ・ 野田市はせめて、国連の子どもの権利条約について批准すべきだと思います。虐待による死亡事件により明るみになった子どもの人権に関する認識の薄さをきちんと自覚すべきだと思います。
- ・ 人権、特に言動の自由をはき違え他者に対する差別や侮辱には、目にあまるものがあります。まず、相手を思いやれる地域を作り、他者に優しい日本になる事を願っています。強制的な法律の改正など、米国の様に差別に対する重大さを日本人も持ち、利他の精神でさらにこの地域からよくなる様、一人一人の人権問題に対する認識を高め、より良い国になれば、この先も、この国に住めると思います。
- ・ 幼児、幼稚園ごろから、人権教育を取り入れ、いろいろ経験した方が良くと思います。人には思いやり・尊重、できる人を育てる。



- ・ 法律や罪で現状をかえることよりも、教育を変え、1人1人の考え方や意識が変わっていく方が、根本的な改善につながると思います。まず、小学校のしくみを変えていくのが大切かと思います。(先生の意見がぜったい、子どもに発言権があまりない、大人の決めたルールは絶対、話し合いがない)
- ・ 自分が高齢になった今、子供たちの人権をとにかく守ってほしい虐待だけはあってはならないと思う。
- ・ 人権と一口に言っても多種多様であることを再認識。交流会などがあれば参加してみたいと思った。今後広報誌をよくよんでみたい。
- ・ 確かに人権を尊重し、少数の人を守っていくという意識は、非常に大切だと感じる。しかし、それを尊重しすぎるがあまり、その他の、多数を制限しすぎる社会になりすぎるのは、よくないことだと思います。何事もバランスが大切だと思います。
- ・ このアンケートで性別や職業を問う必要はないと思う。その時点でバイアスが生じてしまうと思った。
- ・ 私は女性人権に対する政治のあり方に異論あり。外国が女性起用が 2 割だから、日本にそうすべきと言う政治家。文化や環境の違いも考えずに、日本は日本のやり方があってしかるべき。又、労働力不足を女性で補う為に、外へ進出を求めているが、人権は暖かい家庭で育成すると思う。特に子供には母親の愛情が大事。経済的に時間等、親子が共に過ごせる環境作りが必要と思う。
- ・ 意識の調査をする前に様々な人権に関する啓蒙活動も市では大してしていないように感じます。先に活動だとは思いますが、いかがでしょうか。
- ・ 自分の知識(認識)不足を感じた。自分や周囲の人で差別が行われていないかっこ気づいていないだけかも知れないが)のできちんと考えたことがなかった。

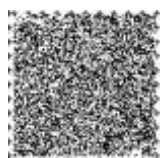


- ・ 人権問題はとても難しいと思います。戦争もその1つかもと思います。人が人と仲良く、相手の事を思いやる心があれば戦争にはならない。人が人として生きる権利でもあると思います。
- ・ 災害はいつ来るかわかりません。災害時、プライバシーや人権が守られる避難所があるといいなと思います。普段生活をしていて野田市は人権差別が少ない地域と感じています。(外国人の方が多く住んでいるイメージ)これからも人に自慢できる野田市であればいいなと思います。
- ・ どのような方も、皆、同じ人間であるという事を思っています。差別のない世の中になってほしいです。
- ・ ゆっくりと話し合っ、少しずつ変化していくべきだと思う。人間は言語を持つから。
- ・ ひとりひとりが大切にされること、個性が尊重されること。・自分と同様に周りの他の人達のこと大切に思う気持ちをみんながもつことが基本だと思います。自分も日々心がけます。
- ・ 先日、野田市役所においてパワハラ騒動(問題)があったのだから、民間と同様、職員の資質や能力を高めるべきだと思う。
- ・ 今回問題に対してわかっているつもりでしたが・・・もっと感心をもち勉強しながら生きていきます。
- ・ それぞれ、違う考えに人が同じ対処法では良い結果は得られないと思う。個々の善良な思考と行動が必要だと思う。
- ・ 人間は誰も、いつ障害や少数派(差別される側)になるかわからないので、いつ自分になっていように支援体制を整えておくべきだと思います。
- ・ 今後更に人権尊重の意識が高まる世の中になってほしい。
- ・ このような機会をいただき、考えさせられました。
- ・ 人権とは自分を大事にし、相手を思いやることが土台であると思います。まずは家庭という小さな社会からと感じています。また「主婦は働かなくて羨ましい」「家事を担ってくれる夫を持つ人は羨ましい」という発言は全て固定観念からの感想。どの選択も個々の自由を尊重すべきと考えます。



- ・ 外国人に対しての手紙など(市役所関係)英語やその国の方の言葉で書いた物を送るべきだと思います。(早急にしないといけない手続きができない)意味のない事はしないでほしいです。みんながみんな、日本人に助けてもらえるわけではないので、字を(日本語)書いたり読んだりできる人も少なくないのです。
- ・ 個々の性格が左右すると思う。(人権への考え方は…)
- ・ 人権のない国が多いこと。戦争、女性差別から。
- ・ 人間が人間として素直に生きる為には、様々な制約があるものだと感じました。よかれと思って行動した事が、相手を傷つけてしまう結果になってしまう事がある様に、とてもデリケートでむずかしい問題だと思います。
- ・ 今回の様なアンケートを読ませるだけでも、意識は、少しずつでも変わると思います。定期的に継続する事が必要だと思います。今後とも、宜しくお願い致します。
- ・ むかし、同和であることで、差別された事もありましたが自分がしっかりしていたら乗り越えられる。言った人も、何も気にしなく、普通に接してくれるようになった(1つは結婚後)(1つは、職場に入社したとき)今は何の問題もなく、過ごしていただける事に感謝しております。
- ・ 外国の方は生活が違うのか？説明が足りないのか？理解していないのか？理解しようと思っていないのか？判らない所が有ります。





野田市人権・男女共同参画に関する市民意識調査
報告書

令和 6 年9月

野田市福祉部人権・男女共同参画推進課
278-8550 千葉県野田市鶴奉7番地の1
電話 04-7123-1342(直通)
04-7125-1111(代・内線 2577)

